夕刊 滿洲日報 五月十三日
(大正十二年一月二十九日第三種郵便物認可)

けふ大詰の特別議會

野黨最後の肉薄

藤澤議長巧に野黨の裏をかき 開會一分間で休憩

【東京十三日發電】政府與黨は總ての多數の力を以て豫算案、法律案全部を一氣に通過し三週間に亘る會期も豫定のプログラム通り進んで愈々十三日特別議會最終日を迎へた、この日衆議院は特に午前十時三十四分より本會議を開いた、野黨は最後の日まで追擊の手を緩めず三土前藏相を先陣に一騎當千の闘士が經濟決議案に依つて掉尾の肉薄をなすはずでこの外十日から持越された懲罰問題、尾崎行雄氏の小懲問題決議案も引つかゝつて居り、議場は如何なる最後の波瀾を見せるやも知れぬ形勢である

藤澤議長 去る十日の本會議にて一身上の辯明中深澤豐太郎君に對し議長は度々注意を促し中止降壇更に退場を命じたが、之に服しなかつたので議長は深澤君を懲罰委員會に附します、寺田市正君外五名は一身上の辯明を取消されました、之より暫時休憩します

と休憩を宣しさつさと引揚ぐれば野黨側は裏を搔かれて啞然たるものがあつた、時に十時三十五分

合理化の方針は統制と能率増進

俵商相、質問に答ふ　けふの貴族院本會議

【東京十三日發電】最終日の貴族院本會議は午前九時十七分開議、流石に議場は八分通りの盛況を見せ宇垣陸相を除く各大臣も全部出席し緊張味を漂はせる、劈頭林博太郎伯(研)より日程變更の動議が提出され日程第二乃至第十五を先議する事となる、日程第二、請願委員報告、委員長清岡長言子の報告あり、次いで追加豫算案全部即ち日程、第三より第十七までを一括上程し林博太郎伯の報告あり次いで豫算案に對する質問に入り

田中館愛橘氏(無所屬) 政府は色々の合理化運動を企圖してゐる樣であるが單なる概念だけでは合理化は實現出來ぬこれが研究機關の設置とか學究の獎勵とかに關する政府の力の入れ方がどうも足りぬ樣に思はれると冒頭しローマ綴りの原稿を讀みながら人造絹糸、發動機、海軍研究、トーキー等を例して各種研究機關の充實を力說して政府の所見を訊す

俵商相 政府の産業合理化計畫の根本は企業の統制物質方面の能率増進等であるがまだ學術方面の研究にまで及んでゐない將來は其處まで行きたい

井上藏相 帝大、文部省等の研究費は餘つてゐない將來漸次增したいと思つてゐる

志水小一郎氏(研) 政府は統帥權問題に對し殊更に不得要領の態度を執つてゐるがこれは徒らに國民を憤激せしめ議事の進行を妨げるものである(とて同訓案決定の經緯「憲法第十一第十二條等につき行はれた問答の內容を繰り返し」政府は斯かる態度につき反省せぬか

と叱咤する

濱口首相之に對し殆ど從來屢々なせると同樣の答辯を試み要するに今回の協定については政府が全部責任を負ふと突き離せば志水氏なほも前回の質問を繰返して首相に迫り「首相は軍政と軍令との關係を知らぬものだ」と罵り「斯くては軍令部も參謀本部も不用と云ふことになる」と憤慨する

石渡敏一氏(交友) 私は豫算分科會で軍政と軍令との關係その他につき質問せんとしたが政府委員は答へることが出來ぬといふので首相の出席を求めたが、遂に出席せず、質問の職責を盡すことが出來なかつた、之は十二日のことであるが首相は之を如何に見るか

濱口首相 昨日宮中に參內したりした關係で出席出來ず遺憾であつた

(病氣缺席を舉げて)要するにこの內閣は軍部大臣が一人も居ない內閣と同樣である

濱口首相 軍備に關する御希望は承つて置く憲法の解釋に就ては微妙な關係があるから判り申し上げられぬ

花井氏 統帥權と編成權に就ては學說が色々あるといつて明言せぬが私は立憲政治上の實際運用の事をいつてゐるのである首相が憲法上の解釋を避けねばならぬ苦衷には同情するが早くこの苦衷を取除き立憲政治本來の立場に立たねばならぬと意味深長な提言をなして質問を終り引續き

坂本俊篤男 登壇して回訓問題に對する政府の處置に對し遺憾の意を表しこれにて質問を終り追加豫算案全部を一括して起立に依り採決し大多數を以つて可決これにて現內閣最初の豫算の可決確定を見る次で日程第十六、昭和三年度歳入歳出總決算同特別會計歳入歳出決算報告、第十七、昭和三年度國有財產增減計算書報告を一括上程委員長報告通り可決承認し零時十七分休憩

宇垣陸相の登院

宇垣陸相は內閣側と政府委員と打ち合せの結果十一日午前病後始めて登院し貴族院本會議に出席した、寫眞中央宇垣陸相(右)幣原外相(左)小泉遞相【貴院本會議大臣席にて】

花井氏最後の政府攻擊

花井卓藏氏(交) 首相は內閣成立當初の施政演說において軍縮問題に關し「單に軍縮制限にとゞまらず實質的縮小を期するに在り」と述べてゐるが、之は陸海軍共通のものであるから六年度の豫算に陸軍縮小の豫算を提出することを說明するであらうと信ずる、尙は今回の海軍協定の結果どれだけの經費を節約し得且つこれを如何に使用するか

濱口首相 彼の時の軍備に關する分は主として海軍を指すものである、ロンドン協定の結果六年度に於いて保有すべき我海軍は五萬噸を減ずる事になつてゐるがその結果どれだけの經費が減ずるか今申し上げられぬ、然しこの剩餘金は主として負擔輕減に當てる積りである陸軍整理に就ては目下軍政調査會で研究中であつて成るべく六年度豫算に計上したい意嚮である

花井氏 政府は統帥權と編成權に關し卑怯な態度を執つてゐるが何故勇敢に解決しやうとせぬのであるか憲法第十二條の編成權は明かに政府の權限內にあることを明確にする事は立憲內閣の責任ではないか(と鋭く本問題の解決を要求した上陸相の……

議會通過の諸案と政府の施行方針

院內閣議で大體決定

【東京十三日發電】政府は十三日の貴族院本會議を以て政府提出案は全部通過することになるので次の閣議にて通過案の整理をなすが十三日の院內閣議にても大體左の決定を見た

△五年度豫算、特別會計豫算の兩追加豫算案は六月一日より實施されるが、豫算を伴ふ法律案の施行にも關係するから速かに上奏御裁可の手續を執る

△豫算を伴ふ法律案
一、義務教育費國庫負擔增額案
一、關稅改正法案
一、製鐵所特別會計に關する法律案
一、賠償金特別會計改正法案
一、朝鮮私鐵補助法改正法案
一、輸出補償法案

の六法律案は追加豫算公布と同時又は公布後に公布すべきもの故五月末までに上奏御裁可の手續を執る

△豫算を伴はぬ方法
一、盜犯等防止處分法案
一、北海道土功組合法案
一、汚物掃除法改正案

の三案は速かにその手續を執るべきが、盜犯防止案は特に施行期日の定めなきため直に公布の手續を執つても効力の發生は公布の日より二十日の經過を要するので六月中ばの見込みである

財部全權あす出發

會議の書類整理も大體完了し 今後の方針をも決定

【ハルビン特電十三日發】議會は閉會し財部全權の希望するロンドン條約は幸ひ政爭の具とならず濟むべきコースを辿つた、而して入日來滿鐵理事公館に靜養してゐた財部全權は一行と共に

明十四日 出發に決定したが軍縮條約が假令政爭には引つかゝらなかつたにせよ果して海相の責任を生むことなく圓滿に解決するだらうか、全權は出發に先立ち大體左の如く決意した模樣である

本問題の諸點は軍部と樞府方面の範圍に現在は縮小されたが若し軍令部長が最初の聲明の如く辭任するに至れば相當困難を來すので先づ軍令部長を說得したうへ海相としては歸京後直に元帥、軍事參議官會議の參集を請ひ今回の會議における經過と補充計畫案、最後の回訓、日米比率等に海相が全權としての責任を說明し諒解を求める意思である

そのため北滿ホテルでは左近司中將、岩村大佐は全權の報告書を作成するため會議の書類整理を急ぎ連日連夜理事公館で協議を遂げ漸く

大體完了 した、全權は十更に及ぶこともあつたが

最終日の議會風景

のんびりした空氣　何となく名殘惜氣

◆…【東京特電十三日發】今議會もいよく十三日最終の日になつた、今日を限りの傍聽人は未明三時、四時頃から早くも押しかけて貴衆兩院の外側に蜿蜒長蛇の列を作つた、その中入場を許された者は僅かに何分の一かに過ぎず、他の大部分は交替の幾人かゞ出て來るのを根氣好く待ちかまへて居る。

◆…慣例とあつて貴族院は午前九時、衆議院は同十時開議の豫定先づ貴族院では追加豫算の委員長報告に對し田中館ローマ字博士のいともんびりした質問が牛の涎のそれの如くだらくと續いて貴族院特有の無氣さを漂はせる、今議會の最重要案を審議してゐる緊張味は何處にもなく、議場もさながら缺けた櫛の歯の如く僅に定員數を維持してゐるに過ぎない

◆…衆議院は去る十一日の混亂の後を受けて各派交渉はまだ開かれず、議事は果してどう進められるか見當もつかぬうちに、開議して直ちに休憩、藤澤議長はあっさり「政友派の深澤君を懲罰に附す」旨を宣したが、流石に名殘惜げの漫談を交はし今議會のドタバタもどうやらこのまゝ無事に幕を下しさうな氣配だ

關稅協約實施期の取消を日本に提議

王外交部長の失態越權を責め 立法院臨時會議決定

【南京十二日發電】本日立法院臨時會議は午前十時より開催、胡漢民氏議長となり日本關稅協定につき討議し、王正廷氏より協定中問題となれる諸點につき
一、協定調印全權の資格は國民政府から與へられた
二、効力發生期を調印後十日後とせるは支那側より提議せるもので實行期の遲れるのは支那側に不利である
三、批准交換の規定を設けなかつたのは予の今日まで締結せる條約は批准され居り今度も同樣と思ひ特に立法院に諮らず予の全權としての裁量で極めた
四、互惠稅品目は財政部と稅則委員會で審議したもので支那に取つて不利でない
五、無擔保外債整理承認は國民政府の無擔保外債整理辦法に照らして處置した

と答へたが、立法院側は之に滿足せず
全權は條約締結權はあるも批准權はない、若し日本の批准なき時は支那はどうする

と純理論で王外交部長を追及し、立法院長胡漢民氏は

貴下の辯明は諒とするも貴下の今回の失態越權は立法院として絕對承認し得ぬ、この事は追つて沙汰する

と宣告し、王部長は重ねて

自分の粗忽に對しては政府の命を待つ

と述べ險惡なる空氣裡に十一時二十五分散會したが、午後「第五條調印後十日目より實施」の項の取消を協議し王部長に同條の改訂方を日本に提議するやう命令する に大體態度決定したと傳へられる

內部不統一暴露

蔣主席に裁斷を仰ぐ

【上海十二日發電】過日調印の日支關稅協定は胡漢民氏一派の王正廷氏攻擊から俄然國民政府の內部不統一を暴露し、立法院は王外交部長に交涉やり直しを命じたと傳へられるが、一部では協定はこのまゝとし王正廷氏の專斷につき引責辭職せしむることに主力を注く立法院の策動と見られてゐるしかし協定全文は蔣介石氏の承認を得たものなので蔣介石氏の歸京するまでには辭表提出等のことはなく國民政府部內でも胡漢民氏等の策動に快からざる者もあるので暗鬪を續けたまゝ蔣介石氏の歸京を待ち最後の裁斷を仰ぐことゝなるであらう

政友代議士會

【東京十三日發電】政友會は十三日午前九時半より院內に代議士會を開催、森幹事長より經過報告の後、植原悅二郞氏より日支關稅協定につき緊急質問を、又大口喜六氏より英貨借替につき政府に質す必要あるを述べ十時過散會した

民政代議士會

【東京十三日發電】民政黨は十三日午前十時代議士會を開き院內の處理一切を院內總務に一任して最終日に臨むことゝし、次いで富田幹事長より十四日午後四時東京會館に最終議員總會を開く旨報告ありて散會した

附帶決議案文

【東京十三日發電】研究會常務委員並びに公正會特別委員は十三日午前十時義務教育費國庫負擔法中

今回は起たず代つて三土前藏相をして提案理由を說明せしめ東武、高山長幸、兒玉右二氏等の補說を選り贊成演說をなさしむる事となつた

改正法律案に對する附帶決議案文を左の如く決定した
義務教育費國庫負擔法の改正は同法の精神に基き義務教育の完全を期すると共に地方費の輕減を圖るにあるを以つてその使用方法及び支出に就ては特に嚴密なる監督をなし國庫負擔法の精神を有効適切に實現せられん事を望む

附帶決議つきで義教費案を可決

貴族院特別委員會

【東京十三日發電】貴族院の義務教育費特別委員會は十三日午前十時二十分開會討論に入るや劈頭野村益三子(研究)より別項の如き附帶決議案文を朗讀し「附帶決議を附して承認することゝしたし」と提議し斯波忠三郎男(公正)贊成し他に異議なく遂に附帶決議を附して原案可決午前十時三十五分散會

義教費案の附帶決議趣旨

【東京十三日發電】研究會では十二日貴族院本會議散會後院內に政務審査部第一(大藏)第三(文部)の聯合會を開き論議紛糾の後左の如き附帶決議を附して義務教育費增額案を通過せしむる事を申し合せその旨十三日の總會に報告する事となつた附帶決議の趣旨は左の如くである

一、貴族院は義務教育費國庫負擔法中改正法律案を認むるに當り全額負擔主義若しくは半額負擔主義等の主義を認むるものにあらず
一、政府は將來本案の實施に際し財政の緩急を圖るの要ありと認む

豐田大佐等着哈

六日京城に齋藤總督を訪問し軍部方面に對し先づ齋藤總督を通じて諒解を求める等、尙一行に遲れて十五日歐亞聯絡で通過する千代田大佐、齋藤外務省情報部長は京城で全權と一緒になり一路歸京する

河相外事課長海相訪問

【ハルビン特電十三日發】財部全權は十四日午前九時十五分發列車で歸京の途に就く事に決定した、尙全權一行の豐田大佐外五名は十三日來哈した

【ハルビン特電十三日發】關東廳河相外事課長は十二日財部全權を訪問し長官の代理として病氣を見舞ひ約二時間に亘り會談した、全權は同夜武藏野に入木、軍司氏等を招待し清宴を張つた

若槻全權

十二日佛國出發

【ネープルス十二日發電】ロンドンより歸國の途にある若槻全權は十二日夜北野丸に乘船當港解纜日本に向つた出發に先立ち氏は新聞……した

東京市長辭職承認

【東京十三日發電】東京市會は十二日午後四時より各派交涉會の後午後六時十五分開會、堀切市長の辭職を滿場一致を以て可決し助役の辭任に關しては田中助役の辭任を認め、白上助役を市長代理として居殘らしめることを決議し同四十五分散會したが、引續き全員協議會を開き各派市長詮衡委員の選當を協議するところがあつた

記者と會見し
余は佛伊間の協定は近く成立するものと確信する、兩國とも極めて厚意的意嚮を有してゐる
と述べた

經濟決議案

三土氏が說明

【東京十三日發電】政友會は今議會の總決算として最終日の十三日に上程さるべき經濟決議案の提案理由の說明を犬養總裁自らこれに當るべき筈であつたが同總裁は既に議會開會劈頭國務大臣の演說に對する質疑演說に獅子吼したので

國際聯盟理事會

報告される重要問題

【ジュネーヴ十二日發電】第五十九回國際聯盟理事會はいよく本日會期十日間の豫定で開會せられた、今次の理事會は來る九月の聯盟總會を經ての最後の理事會であり前年の總會以來の成績を調査して總會に報告するもので頗る重要視されてゐる、今次の理事會で調査される事業は主としてイギリス勞働黨內閣の主唱になる計畫であるが、その經濟方面の物は大なる困難なく即ち二年乃至三年の關稅休戰案は僅に一年の間現存の商業條約を安定せしむる協定を得たのみで終られ、又國際勞働局を通じて全ヨーロッパの炭礦勞働時間を決定せんとの努力も全く失敗となつた、イギリス勞働黨內閣の提案に依る聯盟規約を不戰條約に適應するやう改訂する案は本日まで何も角も成功である、特別委員會は聯盟規約中平和解決の總ての努力が失敗に歸した際加盟國が戰爭し得るとの規定を削除し理事會の權限を擴大し戰爭排斥平和方法に依る紛爭解決及び聯盟的仲裁々判等の規約改訂を硏究しこれを今次理事會に報告することになつてゐる

廿日前後に南北兩軍主力戰

本月中に勝敗決せん

【北平十二日發電】馮玉祥氏は十日附隴海線方面總攻擊準備令を發した、正式攻擊令は十五日に發せられる筈で山西軍五ヶ師團も濟氏の指揮下に歸德方面に集中しつゝあり南北軍の主力戰は二十日前後となるべく本月中には勝敗の數略明かとなるべし、尙馮玉祥、閻錫山、鹿鍾麟氏等の各總司令部は中央軍飛行機の爆彈投下を避ける爲め土穴の中に置かれてある

北平に中央黨部

新政府組織の第一步

【北平十二日發電】反蔣介石各派代表は明日當地で擴大黨務會議を開き北方政府組織の第一步として先づ中央黨部を設立する事となつた、新て兎角危ぶまれてゐた左右兩派の態度も對蔣の共同目的の爲め殆ど意見の一致を見るに至つた

聯盟總會

九月十日開會

【ジュネーヴ十二日發電】國際聯盟事務局は來る九月十日開會の第十一回聯盟總會につき本日關係各國に對し招請狀を發した

天津海關の對抗策

山西派の乘取に

【北平十二日發電】天津海關乘取に失敗した山西側は飽くまで目的を達成せんとしてゐるが海關側では右に對し海關制度維持のため斷然稅關を閉鎖し一時天津の輸入を杜絕せしめても可なりとの最後の對抗策を決定した

支那出征部隊第二回行賞

【東京十三日發電】支那事變出征部隊の論功行賞については陸軍省と內閣賞勳局で慎重審議をなし漸く過般第一回(第六師團)の發表をなしたが、此程に至り天津部隊約一千五百名の審査を完了し十二日上奏の手續を執つたので十三日午後か十四日朝ごろ行賞第二回の發表を見ることゝなつた

ばいかる丸

十四日午前八時半大連港外着の豫定

人事

▲樺山愛輔氏(軍縮會議顧問伯爵)十三日出帆香港丸にて內地へ
▲井上輻之助氏(工大學長)同上
▲河盛安之助氏(實業家)同上
▲長沼英夫氏(大連憲兵分隊長)同上
▲吳延請氏(金城銀行支配人)同上渡日便船にて米國へ
▲李廣氏(北平大學敎授)同上
▲京都桃山中學校一行百三十名同上內地へ
▲德島女子師範一行三十名同上
▲福山師範一行六十五名同上
▲岩間德也氏(滿鐵囑託)十三日出帆天津丸にて上海へ
▲服部侶三氏(朝鮮銀行上海支店長)同上
▲シーベルズ氏(新任濟南獨逸領事)同上
▲旅順師範學堂一行十三名同上
▲米國雜誌記者團一行十八名十三日入港榊丸にて來連
▲桑谷保藏氏(盛京時報副社長)十三日出帆の天津丸にて同文書院創立三十周年記念式へ出席のため上海へ
▲神野良隆氏(青島新聞取締役)同上

大觀小觀

政友會が經濟決議案を出す。大に宜し。ただ決議しただけでは、景氣は恢復せぬと知るべし。

◇

政府も、議會も、徒らに名を爭ひ時日を空過せば、飢ゆる者は死に至らん。若かず、何ンなりと經濟策を實行せよ。流儀は兎に角、仕上を拜見せん。尤も、何か事をせば、必ず文句あるは世の中。

◇

文句といへば南京政府、日支關稅協定に四の五のといふ。今に始めぬことながら、全權沙汰などいふに至つては沙汰の限り。

◇

完全な法規も存在せぬところに總權とかいふに至つては、事が支那だけに寧ろ滑稽。

◇

それよりも、南北の抗爭は軍閥の總籠ではないか。何ぞ徹底的にこれを懲治せざる。北方聯合軍は徐州、鄭州、開陽の線より南軍を驅逐し來るではないか。

天氣豫報

十四日(南西の風)晴後曇

	午前	午後
滿潮	十一時十五分	十一時三十分
干潮	五時四十分	五時四十分

屍山血河
沙河會戰の跡をつぶさに御研究
小丘に立たせられ講話御聽取
秩父宮の御動靜

【奉天特電十三日發】遼陽に御一泊あらせられた秩父宮殿下には十三日朝八時遼陽驛御發、日露戰役の最後の勝敗を決した沙河を挾んで日露兩軍が對峙した沙河會戰の戰蹟御研究のため特別列車にて同四十五分沙河驛に御着、機關銃の彈痕蜂の巢の如く殘る驛北端の建物を御覽あつて驛の東南附近の小丘に立たせられ驛附近の戰鬪につき三宅參謀長より第六師團の主力戰について香月少將よりそれ〲御講話を御聽取、日露兩軍が屍山血河の跡である鐵道北岸の地獄松原の松林を眺めさせられた、わが軍が苦戰した驛の東一里半の萬寶山戰蹟お成りはお取止めとなつたが同所より東に展開たる奉天平原の彼方、五月の空にみはるかす萬寶山々上の記念碑を眺めさせられつゝ增田砲兵中佐より萬寶山戰鬪につき御講話を御聽取、沙河會戰につき陸大生としての御研究を遊され同十一時二十五分沙河驛御發、奉天に向はせられた

日支官民奉迎裡に
正午、奉天驛に御着
直ちに奉天神社、忠靈塔に御拜

【奉天特電十三日發】われ等が幾日かお待ち申しあげた秩父宮樣をこゝ奉天の地にお迎へする日は遂に來た、前日來の砂風も今十三日朝はハタとやみ、空は澄渡つて雲影も見ない、燃ゆるがやうな並木の新綠は和やかな初夏の陽に葉裏をひらめかして心ありてか今日の喜びを語るが如くである、驛前より大廣場に至る

御道筋 の兩側には軍隊、在鄕軍人、將校夫人、篤志看護婦、赤十字社員、青年團および醫大、敎職員以下中、小學生徒、一般市民等實に五千名整然と堵列し、感激に溢れてひたすら御着を御待申し上げたが、お召車御到着十分前になれば奉天驛第三ホームには森岡總領事代理、鈴木、荒尾兩少將、村田卅三聯隊長、小倉地方事務所長其他、支那側は張學良氏代理王樹常、省政府代表陳文學其他の要人通譯陶尚銘氏等續々入り來り御着車を御待ち申し上げた、殊に士官學校出身の支那武官十數名が殿下と御同窓といふので奉迎したのは特に

異彩を 放つた、かゝるうちを特別列車は靜々と進んで豫定の場所に止まつた、諸員奉迎裡に殿下には御召列車最後部より市川鐵道部次長の御先導にて御下車、遼陽までお出迎へ申し上げた森島領事の御紹介にて王樹常以下支那側代表に握手を賜ひたるのち地下道より第一ホームに成らせられ、列立せる陸海軍將校、領事、小倉奉天地方事務所長以下、稻葉醫大學長以下各學校長、敎授、臨時地方委員議長以下

二百名 の有資格者に列立謁あり、總つて貴賓室に步を運ばせられ鈴木、荒尾兩少將に謁を賜ひ、午後零時七分驛を御出發、松井警部の前驅、中谷警務局長、二宮憲兵隊長、三宅參謀長等を隨へさせ本間御附武官の陪乘にて滿鐵差廻しの零號ビック型自動車に召され浪速通りを奉天神社に向はせられた、折柄吹き起つた旋風の裡に奉迎堵列者は粛として御迎送申し上げた、かくて午後零時十分奉天神社に御到着、山内神官御先導、森島總領事代理、守田民會長の御誘導にて

御禮拜 を終らせられ、境内御參道にて奉迎申しあげた七十歲以上の高齡者に御會釋を賜ひつゝ同十四分御出發、ヤマトホテル前より右折して富士町を忠靈塔に成らせられ、小倉地方事務所長の御先導にて懇ろに英靈を慰められ小倉所長より忠靈塔建設の由來を聞し召されて御退出、再び富士町を經て同二十二分御假泊所ヤマトホテルに入らせられた

森島領事謹話

遼陽まで御出迎へ申上げた森島領事は殿下がヤマトホテルに御入りの後語る

沙河では一般陸大生と共に約二時間に亘り御起立のまゝ日露戰史を御研究遊ばされた、私は車中に伺候して十分間ほど在滿鮮人問題等を御說明申上げたが、殿下には車窓より奉天名物の砂塵を御覽あつて「奉天は埃の多い處だ」とのお言葉があつた

官有土地疑獄事件
大連市長らに波及か
小田澄道氏の召喚訊問により
俄然、檢察局が大活動

噂々傳へられた日華土地株式會社々長吉村吉郎らに絡る官有土地拂下疑獄事件はその範圍頗る廣汎に亘り、加ふるに時の高官、有力者をめぐりデリケートな關係を有し幾多の土地疑獄中最大疑獄と見られ、大連地方法院檢察局では愼重な態度を持し、先づ吉村吉郎及び市內霧島町一二七番地錢莊業中村德藏らを阿片小賣所設置に絡る詐欺被疑で收容爾來鋭意內偵の步を進めつゝあつたが、十三日遂に檢察局の活動を見るに至り市內西廣場元高等演藝館主小田澄道氏を召喚、長時間に亘る證人訊問を行つた、この總業事件は遂に直下遡及し前大連民政署長で現大連市長田中千吉氏を初め市內有力者數氏の身邊にも波及するものと見られてゐる

幽靈會社を創立
土地拂下の運動
問題は田中氏の言質

事件の內容を探聞するに、さきに別事件で收容中の吉村吉郎氏は昨年末まで大分縣に於て前關東長官木下謙次郎氏の勢力多分に加はれる大分日々新聞社長の椅子にあつたが、木下氏が關東長官として來任すると同時に新聞社長の椅子を辭して來連、木下長官を頼つて利權獲得に

奔走し た結果、昨年一月初旬、木下長官の添書を持參し當時大連民政署長たりし田中千吉氏と會見、州內における官有土地の獲得を懇願した、而して傳へられるところによれば、その際田中民政署長は吉村氏に對し滿洲に因緣淺き吉村氏に官有土地を拂下げることは世人から利權運動と見られる恐れあり、幽靈會社でよいから有力者の名を連ねて土地建物會社を創立されよ、然らば適當の便宜を計るであらうとの言質を與へたと云はれ、依つて吉村氏は小澤太兵衞氏ほか數名の

有力者 を發起人に立て、資本金百萬圓、拂込金二十五萬圓の形式で日華土地建物株式會社と稱する幽靈會社を創立、事務所を目下收容中の市內霧島町一二七番地錢鈔業中村德藏方に置き、おもむろに利權運動に取りかゝつた

支那人に賣却
約十萬圓を利得

先づ土地拂下請願に當つては市內秋月町、王陽街方面の官有土地五千三百餘坪を物色し、日華土地建物會社の敷地名義でこれが拂下方を大連民政署長の手許に提出した、而して田中署長が如何なる理由の下に手續きを取つたか、裏面の消息は司直の取調べをまつより外ないが、兎も角拂下願書の提出されてから間もなく四月と六月の二回に分つて拂下げを受けたものであるが、目的を達した吉村らは豫て計畫通り轉賣し漁夫の利を得んと企て、買手を物色中、小田澄道氏がいち早く聞き傳へ當時浪速ホテル滯在中の吉村氏を訪ね、買取方を交涉した結果、小田氏が官廳に納入すべき二萬圓を立替へ、前記拂下を受けた官有土地のブローカーをなす契約を行ひ、一坪十七八圓見當で全額約十萬數千圓で支那人某々等に賣却し詐欺的行爲により莫大の利益を收めたものといはれてゐる

檢察局の廊下で
竊盜被疑者が服毒自殺
犯した罪の呵責に耐へかねて
附添巡査の隙を窺ひ

犯した罪の呵責から檢察局の廊下で附添巡査の隙をうかゞひ毒藥を嚥下、自殺を圖つた犯人がある―市內對馬町松本清吉(二?)は竊盜被疑者として十二日午後五時庄司刑事の手で拘引檢察局において一應取調を行ひ

留置場 に拘留せんとして巡査附添ひの下に檢察局の廊下に出たところ、犯した罪の呵責から豫て用意の猛藥昇汞一包を洋服のポケットから取り出し、巡査の目をかすめて嚥下し留置場に入るや「水々々」と訴へるので監視巡査が何氣なく冷水を與へたが、間もなく監房內で苦悶のうめきを洩らしつゝ「政子――假名――濟まぬ〲」と口走りつゝ顏色蒼ざめ苦悶してゐるを發見し、大騷ぎとなり、當直主任星警部は直ちに香取警察醫を呼びせよ應急手當を加へ、大連醫院に收容したが既に手遲れで同夜七時十分ごろ「濟まぬ〲」と

妻の名 を呼びつゞけつゝ絶命した、急を聞いて驅つけた妻政子が變り果た夫の姿に取りすがりヨヽとばかりに泣き崩れたのも哀れであつた

妻の手前を
竊盜を働き繕ふ
徒食するをふかく恥ぢて
覺悟の自殺の清吉

自殺を圖つた松本清吉は四月初旬三越ほか數軒で竊盜を働き大連署に檢擧され、同月十二日送局と同時に宅下げとなり、爾來不拘束のまゝ大連地方法院檢察局春木檢察官事務取扱の手で取調べ中であつたが、取調べ明白となり十二日令狀を執行、檢前屯刑務支所に收容されんとした矢先、覺悟の自殺を圖つたものである、同人は昨年九月某所を解雇され以來就職に

奔走し たが思はしからず妻政子――假名――の働きで生計を立てゝゐたが妻の手前徒食するを深く恥ぢ最近頗る焦燥し、遂に惡いとは知りながら竊盜を働き、得た金で妻の手前をつくろつてゐた清吉が絶命の際「濟まぬ〲」と口走つてゐたのはこの間の消息を物語るものといはれてゐる

米國雜誌記者團
賑々しく來連
華かな婦人を交へ一行十八名
けふ上海から榊丸で

來滿を傳へられた米國著名雜誌記者團一行はレヴュー・オブ・レヴュー社主筆リンゼイ博士夫妻を初めとして十八名、華やかな婦人連も入り交り明るい旅の話材を撒きながら十三日入港の榊丸にて來連した、一行は去る四月十二日日本の櫻花に限りない憧れをもつて横濱に最初の一步を印したものであるが、その後日本の山に川に數々の

思ひ出 を殘して七日長崎を出帆、八日に上海着、四日目に大連を目指して來たものである、一行中のリーダーとも見るべきリンゼイ氏は鼻眼鏡に晴れやかな微笑を絕えず浮べながら記者に語る

一行の目的は日本の風景人情、近代支那の世相を出來るだけ詳しく見るためで、日本においては春の好季節に惠まれしかも各方面であらゆる歡迎を受け一行は滿足し切つた、殊に

日本は 模倣國で諸外國文化の模倣に對し日本人獨特の國民生活があると聞かされてゐたが事實來て見てそれは巧くコンデンスして全く自分のものにしてしまつてゐるのは驚いた、それに美しい風土にやさしい人情は自國に好い土產が出來たと思つてゐる、上海においては期間が短かつたのであらかじめ打合せ政界、學界その他各方面の知名士に面會出來て結構だつた、新興支那の目覺しい活躍ぶりも一驚に値すると思ふ、支那に對し米國政府は同情をもつて見てゐるが、元來自分の考えとしては南北支那がどうしても統一されねばうその樣な氣がする、國內戰爭で混亂してゐる際ではないと思ふ、なほ一行は奉天から北平に出る考へだ

一行は 今十三日一旦ヤマトホテルに入り、午後一時四十分埠頭ビルに至り屋上より紺野案內係の說明で埠頭を觀察、同二時半滿蒙物資館、三時半星ヶ浦ヤマトホテルにおいて宇佐美鐵道部長のティーパーティに出席夜は七時より滿洲館における仙石總裁の歡迎宴に臨む筈で、十四日はヤマトホテルを午前十時發、龍王塘水源池を視察の後旅順に至り正午關東廳官邸における歡迎宴に出席、午後二時より

博物館 日露戰役記念館、戰蹟等を觀察のうへ歸連、午後六時半よりヤマトホテルにおける晩餐會及び舞踏會に出席、十五日は午前八時四十分ヤマトホテルを出て同九時發列車にて奉天へ向ふ筈である【寫眞は左端リンゼイ博士とその一行】

一行の氏名

▲レヴュー・オブ・レヴュー社リンゼイ氏夫妻▲ネーションビヂネス、ライター社メイ氏夫妻▲トラベル社フイリップ氏夫妻▲ワールドトラベラー社ノークロラス氏夫妻▲紐育士會雜誌ロツクーヂ氏夫妻▲タウン・オブ・カントリー社パーリウス夫人▲ニユーヨークタイムス社バレラト氏夫妻▲バーバースマガヂン社フツトマン氏▲アトランチツクマンスリー社セヂユイク氏夫妻▲アドラ社ホーラ氏夫妻

オートバイと衝突

市內西通り一二、室內裝飾技術者田中義信は十三日午前八時ごろ讃家電大連運動場前停留場附近をオートバイにて疾走中、前方より來た自轉車乘り市內西通り渡邊商店雇人李昌文(二?)と正面衝突し、双方とも跳飛ばされて治療二週間を要する重傷を負ふた

辻強盜
格鬪のうへ捕ふ

十二日午後九時二十分ごろ市內惠比須町四番地先を擧動不審の大男が金袋を携ぎ階を縫ふて走つてゆくを大連署の梅村刑事が追跡、張込の警戒で格鬪のうへ逮捕し、本署に連行取調ると、この男は市內常盤町無職王吉恩(三〇)といひ同夜逮捕された現場から東方約三丁の處で通行中の小崗子鑑政街二三番地雜貨商永盛興方店員王喜興(二〇)の金錢を強奪逃走中の辻強盜と判明した

松花江の汽船引揚に
歐洲サルベーヂ潛水夫ら來連

十三日入港榊丸にて上海における歐洲サルベーヂ會社のマーシイ氏ほか潛水夫三名が來連したが、彼等は松花江の防備艦隊司令アグライフ氏の依頼を受け今日まで松花江に沈沒した十八隻の大小汽船引揚事業に携はるため、引揚機も持參し結氷期までには仕事を完成したいといつてゐた、なほ右沈沒船中には數百萬の銀塊を積載してゐるものもあり、これが引揚げに就いて巷間種々の取沙汰が行はれてゐる

紀州蜜柑の問屋筋狼狽
共同販賣所設置の阻止運動

大連に於ける紀州蜜柑の取引は從來大連市營卸市場組合員中の大手筋十一名が殆ど一手に引受けて取引してゐたが、原產地の卸元では今回取引の都合上大連に共同販賣所を設置し之れを直營するとの議起り目下準備中で今秋までには實現するやの模樣なので、これを聞知した大連の問屋筋では大いに狼狽し自衞上右設置の防遏かたく大谷、吉田兩商店、協和洋行、金生祠、同昌號、同德號、の七名は阻止運動のため七日秘密裡に紀州へ向け出發した、なほ前記原產地の共同販賣所の設置が實現すれば市場改善上に相當のショックを與へるものと觀られてゐる

邦人を傷く
きのふ北崗子で
多勢の苦力

大連管內甘井子井田某方山田任三(三?)は、十二日午後八時ごろ市內北崗子海岸護岸工事場附近を通行中、同所で作業中の多數の苦力が同人を嘲笑して投石したのに端を發してつひに大亂鬪を演じ、山田は石塊、棍棒をもつて毆打され全身十數ヶ所に打撲傷を受けた、一方山田はこれを防がんため所持してゐた小刀やうの刃物を振り廻し、苦力田忠芳(二〇)の胸部に刺傷を負はせたが、小崗子署では目下關係者取調中

慶大選手
出場に決定
極東大會豫選

【東京十三日發電】日本學生陸上競技聯盟主催の極東大會における慶大チームの出場停止によつて慶大選手の極東大會出場を危ぶまれ斯界の眞大關心として注視の的となつてゐたが、關東陸上競技會では慶大の山本、小野、津田、齋藤、板橋の五選手に對し極東大會全日本豫選へ出場の資格を與へられたいと全日本陸上競技聯盟に推薦したので、同聯盟では十二日午後六時から開いた極東大會準備委員會に於て協議の結果、これを承認することに決定した、これによつて慶大からは既に關東豫選に通過せる北本阿武二選手を加へた七名の優秀選手を全日本豫選に送ることが出來全國ファンの期待が報いられたわけである

關西大學生
鮮滿踏破
大連着は廿日頃

關西大學山岳部々員山下八壽男、佐藤元一、石井三郎の三君は去る三月四日釜山を發し徒步にて朝鮮半島を縱斷し四月十九日新義州に到着、再び徒步にて奉天經由五月二十日ころ大連到着の豫定であるが、一行は一日行程約三十哩で釜山、京城、元山、金剛山、新安州、新義州を經て奉天より南下のコースをとり、當地關大同窓會では三君到着後歡迎會を催す由

艶色生膽祕譚（110）

伊藤松雄作　河原塚龜太郎畫

品川沖（六）

「熱燗――お仙？」

右近は怒るかと思ひのほか、靜かにおちぬらしく眉をひそめた。

「追分泊でな、右近殿、よもや知らぬとは仰有るまいが」

「存ぜぬ喃」

ポンとつツぱなしてニヤリと笑つた。

「え？」

「異なことを云はるゝ」

「いゝや淺沼屋へ泊られたことがござらうがな」

「おお、あの朝のことか！」

右近は膝さへたてゝクックッと笑つた。

で、碓氷峠の權現前、休息茶屋あづまで聲かけられた女を想ひ出したのである。

「龍川殿は其女の御縁邊かた？」

龍川は不意をつかれて柄にもなく顏を顰めた。

「右近殿、御存知かな？御兄上左近殿に命までと戀して居る女人のござるを」

「ほう、大底察しはついて居る、態度かそれがしを兄と見間違はれて居る女、それ先程申した」

「おゝ、それ、お仙でござるよ」

「ふうむ！」

「そこで御相談ぢや、右近殿、一芝居、濡れ場でござるが、おうちなさらぬか？」

「なんと仰ある？」

龍川は膝を出して笑つた。

「お仙めを貴殿が思ふまゝ翫弄なさるのぢや」

「え？」

右近は左近の一味とのみ思いこんで居る龍川の言葉だけにそのまゝは信じなかつた。

「お疑ひかな、さやう、それがし以前は御兄上左近殿とも志をひとしうした折もござつたがいまは敵

「いま一度、芝山内に於てめぐりあはれたこともござるよ、御存知かな、鶴籠の怪異が行はれた朝のことでな」

そこへ酒が運ばれた。

龍川は唇をつぐむで考へこんだ「右近の言葉を信ずるならば、お仙はいまだに左近をのみ戀慕ふて、しかもめぐり逢の日を求めてゐるに違ひない、ようし、この右近へ巧にとりいり左近の身代りとしてお仙を囚へてやらうか、しかも一方この右近の行方をつきとめたと典多野の娘紗香にしらせ、恩を賣るも上策々々、ふン、討つ討たれるは御勝手次第だ」

龍川は急におちつきはらつて盃をとりあげた。

處が右近はまたから考へてゐた「左近を知つてゐるからにはこやつ一通りならぬ男に違ひない、龍川！とやら云つたな、おお、湯島あたりに住まふ阿彌陀醫者か、さすれば成程、兄左近が一味徒黨の一人であらうよ、よしこやつを巧に抱きこめば兄の住家は勿論、その消息も知れるに違ひない」

そこで二人は互の思惑をひたかくしにしつゝ酒を酌むだ。

隠まく醉ひが廻つた頃である。

味方も同然でござるよ」

「ほう！」

右近は力負けがした形ちである

「敵味方と云はれるか？」

「左樣！」

「では、それがしと兄左近との間柄を御存知でさうせあるか？」

「さゝう、よくは存じませぬが」

龍川わざつと言葉を濁したが、紗香のことにふれてはならぬからであつた。

「これは愈々面白い、奇遇ぢや、それがしは双生兒とは申せ兄左近を仇敵とつけねらつて居る間柄である」

龍川いよく右近が自分の思ふ壺にはまつて來たことをよろこばずにはゐられなかつた。

キネマと演藝　昇之助の初日を聴く

選れて昇光の「御所」から聽く、見受けた處十七八で、此の前來た呂玉を思はせる樣なタイプである。充分一杯に張つて、大きく語つて居た處大受けであつた。しかし、少し喉を痛めて居たらしく、幾分苦しさうで、きのどくであつた。

三味線小登昇、非常に達者なもの小登昇の「朝顔」前席で昇光の三味線を勤めて、直ぐ太夫に早替り御苦勞千萬、キビくした語り口殊に人形の語り分けは極めて巧みであつた、其の上大物新六の三味線に引き立てられ、一段と光彩を放ち、滿場をウナラせたのは大出來。

放駒の「櫻田快擧」を聽く、有村次左衛門生ひ立ちの場であつたが義太夫と異り、浪曲である爲氣分が一轉して非常に面白かつた。最後に一語、言葉の異ひが有つたが誰も氣附かず、面白く聽いて居た。義太ゝ浪曲、今までにない面白い取合せである。

昇之助をきく、レコードでは深いナジミではあるが、實演は初めてである。吾々同好者としては常て接した事のない、本格的な淨瑠璃に接した感があつた。非常な力演で、クセやケレンのない、眞直ぐた處は、先きに來た團司、小住一行とは又別な甘い味を持つて居た。

昇之助の十八番「太十」を期待する（ヤ）

梅若流謡曲會

梅若萬三郎氏の高弟、鵜飼喉權九郎天野米太郎兩氏の來連を機として梅若流岳謡會主催、同綠葉會、同丁々會、同白水會後援のもとに來る十七日午後六時から市内浪速町扇芳亭において謡曲演奏會を開催するが會費一圓、番組は

▲素謡＝鞍馬（渡邊三作、國政興三郎）賴政（久世哲三、長顯俊三）角田川（長顯五六、天野米太郎、鵜喉松讓、岩村機處）山姥（天野梅郎、鵜喉權九郎、渡邊如岳）▲仕舞＝清經（久世哲三）碇の段（天野米太郎）附祝言

演藝日記

▲五月十一日　大連神社祭禮に遠慮して十一日から開演した歌舞伎座の昇之助一行、八時前に大入滿員、總藝のドウスル連の間で盛んに二十年前の女義太夫盛なりし頃の江戸黒ひ出話がはずんで居た。常盤座の「アスファルト」俄然好評を博して久しぶりにあのモダンな入口の柱に古風な大入の札が立てかけられて居る。

◇◇愛戀序曲◇◇　松竹蒲田作品、重宗務監督、柳咲子、八雲惠美子主演、島田嘉七、木村健兒、二葉かほる助演、戀に破れし美しく優しき乙女の、切なくも苦しき春宵桃色の物語り、帝國館上映中【寫眞は島田嘉七と柳咲子】

ラヂオ

大連　JQAK　五月十四日午後七時

▲英語講座「第四課」大連商業學校　上村又一

▲トリオ　ハイドン作品三〇番ヴアイオリン岩崎寛、アレグロ・アンダンテ、セロフランツ・スカルスキー、ピバーセ、ピアノニコライペトロフ

▲新内「石川五右衛門雛子賣の段」彈語り原出しげ

▲脚本朗讀「或る日曜」田代藝二

▲料理獻立

▲天氣豫報

▲ラヂオ體操

東京　JOAK　十四日午後六時二十五分

▲講演「狂犬病の豫防に就て」警視廳技師龜甲林助

▲大角力觸太鼓東京大角力呼出連中

▲小唄一、五月雨二、わしが在所　唄小唄幸兵衛三、耕鹿の子三味線同幸遊四、やくのは野暮同幸喜美五、神樂ばやし六、吉三

▲狂言「ロッレ」シテ多々良俊三、アト吉野總三郎、コアト村田駒吉

▲常磐津「お染久松」淨瑠璃常磐津仲太夫、同豐太夫、同兼喜太夫三味線同小和佐、上調子同都糸治

呼話

連鎖街常盤座では斷然洋畫主義を採る事に決定し、來週の呼物には獵奇映畫として内地で好評を博した「サイレント・ハウス」か又はドイツの怪異的性映畫かを入れやうと計畫中▲その常盤座の經營者はかねて内地で募集中であつたが、約二十名近く集まつたので、本月末か、おそくとも來月上旬には大連へ着く豫定▲「大忠臣藏」で壓倒的人氣を呼んで居る大日活では今度正式に全滿日活映畫配給權を得たので、近日中に多數のプリントが到着する筈で▲其配給打合せの爲近日中に林氏が沿線へ出張するとの事▲青島、天津方面へ旅行中であつた兩帝國館主、及び中野松竹事務員は昨日團通したが再び今日出帆の天津丸で青島へ借金取立てに出發をした▲目下常盤座で好評中のアスファルトを持つて來たウーファー代理店の川喜田氏は今日出帆の香港丸で目出度内地に歸つて行つた▲十二日の市内各館は三業組合の爲に協定の上料金を割引し、慰安日のねーさん方を優待した

KOBAYASHI & CO TOKYO

LION TOOTH PASTE
ライオン歯磨チューブ入

滿洲ペイント
塗料
顔料
大連
上海
天津

滿日地方版

奉天

奉天神社に 金三百圓御下賜 畏き邊りの御思召

奉天神社の沿革あたりでは今回奉天神社の沿革並に現狀を聞召され特別の思召を以て金三百圓御下賜の旨七日御沙汰があつた、皇室におかせられては神祇崇に重きを置かせられることは今更云ふまでもないが我滿洲の神社までに大御心を注がせられることはいとも畏れ多き極みで殊に御下賜金の如きは內地における官國幣社でも容易のことにあらず、然るに我が奉天神社にかく御下賜あらせられた事は殖民地としては之を以て嚆矢とする

奉天物産を 獻上

林總領事は十三日御來奉の秩父宮殿下に支那菓子五疋、奉天時產の滿蒙毛織會社毛布三枚を獻上することになつた

御物御肌附 奉納式

市內彌生町菅原九一氏の奉納に係る明治天皇御物御肌付きを奉天神社に奉納することになり去る七日その奉納式を行つた又遼速通井上植氏は奉天神社々殿前に金燈籠一對を十日獻上した該金燈籠は價格二千圓の立派なもので之と共に燈明料として二百圓を獻納したと

兩警部補を 警務局長が賞揚

右自動車強盜を逮捕せる岸、島田兩警部補に對し關東廳警務局長から岸、島田兩警部補の勇敢機敏により匪賊を逮捕したることを感謝す特に貴官より賞詞ありたし又湯崗子にあつた中谷警部局長から時を移さず勇敢なる活動により兇賊を逮捕し幾多の難件を解決せると共に將來の禍根を絶ちたることは實に欣快の至りなり不日親しく報告を受くるの機會あるを樂しむ との感謝電があつた又奉天署長事務取扱立川警視は右兩警部補に對し金一封を贈りその功を表彰して急を派出所に報じた勇敢なる運轉手李世海に對しても金一封を表彰する處あつた

自動車強盜自白 各方面を荒した罪狀

十一日午後四時五十分ころ市內日吉町三番地兩替店東莱銀號事徐瑞方に自動車で乘りつけその中の一名は同店に入り拳銃を發射して金品を強要中運轉手李世海(三〇)の機轉で急を報じ一物をも得ず逃走の途中一名は西塔大街三丁目農方に於て射殺され一名は逮捕され自動車強盜は射殺された方は小關大什字街盛京旅館止宿無職宋紹武事宋道治(三〇)逮捕された方は同宿李明德(三〇)と稱し李明德につき嚴重取調べの結果左の如き附屬地荒しの自動車強盜であることを自白した

△二月九日午後二時半千代田通り兩替店天長信事侯子郊(四一)方に侵入し六十六圓十錢を強奪△同月二十三日午前八時四十分浪速通八番地兩替店長發銀號事趙某方を襲ひ七百七十五圓を強奪△三月二十八日午後二時半頃千代田通十一番地兩替店富林號に侵入五百六十二圓三十錢を強奪△五月九日午後三時十分頃千代田通四番地兩替店天和東事馬錫九(五九)方に押入り仲買人陸雪齋(五四)を射殺店員李景元(一四)を負傷せしめて逃走し該金は山分けして遊興その他に費消してゐたものである

尙宋が鮮農宅黄鳳鎬方に侵入せる際拳銃で黄を射殺し潛伏してゐたが警官隊のため包圍され花々しい交戰となり惡運つきて遂に射殺されたものである

奉天局の 放火犯人 支那側無罪放免

去る三月二十八日奉天郵便局における竊盜放火事件で騷ぎした犯人同局小使李以清は既報の如く奉天署で取調を終へ一件書類と共に支那側に引渡した、しかし去月廿四日附で遼寧省瀋陽地方法院檢察官與雷年、書記官趙星鑑は證據不十分として無罪放免となり釋放されたと

…局內の不用品拂下げにつき入札を行つたがその際係員は立會人を避け別室で開封し之が落札者を決定したとのことで一部では情實關係があるのではないかと睨んでゐる

◇

滿洲醫大幹事森景龍氏令妹美雪孃(二四)は今回良緣あつて大迫信忠氏(二八)と結納整ひ來る十八日奉天神社に於て盛大な華燭の典を擧げることゝなつたが新婦は大連神明町高女出身の才媛新郎は滿洲醫大出身目下遼陽醫院內科に勤務中であると

町の便り

奉天滿俱對醫大の野球戰は十一日午後三時から新グラウンドに於て擧行されたが結局九對一のスコアで滿俱が大勝した

◇

鐵道事務所經理係ではこの程奉天一…

人事

▲岸本海軍中將 十一日大連より過奉釜山へ
▲香月旅團長 十一日過奉遼陽へ
▲大倉喜七郎氏 十二日來奉
▲早川滿々哈爾公所長 十一日過奉四平街へ
▲森島領事 十二日遼陽へ十三日歸奉
▲小倉地方事務所長 十一日歸奉

哈爾賓

高田對東拓紛糾 漸く圓滿解決 高田の經營は東拓で 松浦氏十日名古屋館に招宴

高田ボロヂン對東拓との家屋引渡問題に關する訴訟事件は圓滿和解したので、十日午後七時から名古屋館で松浦鎭作氏は官民四十數名を招待し一夕の宴を開催したが高田ボロヂンの一切の經營は東拓によつて處理されること、負擔は其儘となつてゐて如何にするかは第二の問題であるが、幸ひ今回圓滿に解決したことを謝する旨の挨拶あり これに對して

八木 總領事は來賓を代表し本問題は算盤の勘定と感情が交錯し、且つ舞臺が國際的のために前司法領事三田君は博士論文の價値がある位だと稱してゐたそれが更に角和解したことは當局として誠に悅ばしいことである と一場の謝辭に代へ和氣靄々裡に九時半散會した

三河地方の虐殺は 白系の逆宣傳 將來は問題の地とならう

近着のイズウエスチヤ紙に、黑龍江省三河地方に於て昨年大虐殺事件があつたのは赤軍の全然關係せぬ問題で、當時カクペリー、ウランゲルの白派の殘黨が支那の援助を受けネストル僧正が背後にあつてボルドウズイロフ將軍が指揮者となり自ら三河地方を襲ふたものである、三河地方にはソウエート領から約五百のコサツクが移住し自由農を經營し、廿五萬留の產額を有し農牧の業も非常に發達してゐたので、萬福麟氏は彼等に歸化を進めたがいづれも希望せず、其の結果白系の軍隊は萬氏の支援を受けて露支紛爭に乘じ一掃しようと試みたものである、この顚末は既で米副領事リーストン氏の手許にも確證が擧げられてゐる、ズイコフ、ペシコフ等の白派殘黨は今も尙各地に出沒しつゝあると、ハイラル駐在のイズウコフスチヤ特派員エヌ、イズエリエは報道して來たと當時の慘虐は全く白系の暴虐であると反宣傳をしてゐる、將來…イル側面と共に三河地方も亦問題となるであらう

上水道に着工 いよ／＼今年度から 財源は市公債に據る

ハルビン市政局では愈々上水道の敷設を本年度から着工することになつたが、八分利附市債により財源を得るに決定したと十二日豫備設計に當る由

吾等の町を語る 哈爾賓

邦人相互の排斥を止せ 先決問題は商取引の改善と訓練

事務所々長 築島信司氏談

「いつ御着任でした」「昨年の六月末辭令を貰つたのだから丸一ケ年にならない」「ぢやこちらは一年生ですネ」「ウムそんなものだナ」――ソウエート東支幹部を招待した席上、東支と滿鐵は世界の幹線交通路で、ハルビンは其の尖端にある、だからお互はもちつもたれつで交際しようとユモラスな比喩で赤い國の人々を鐵道連絡とヒユマニーズムで動かした滿鐵事務所長築島信司氏

◇

「カントーラの窓から視つめた點でもこちらの事務所は色々の關係があつてネ、在外指定學校である小學校の委任經營もすれば日本病院の補助もする、恰度南滿の附屬地にある一部の滿鐵の使命をもつてゐる上に、鐵道連絡の國際的立場にもあり、邦人居住者との關係から對外的の運輸事務を執ると云ふ八百屋だよ」この八百萬の神を祭つて最近小口金融組合の創設方を中小商工業者は希望してゐるが所長の意見は……「法規の關係上、南滿と同樣の金融組合を造ることは出來ないが、加藤君が何等かの方法で中小商工業者救濟のため創設して欲しいと當局に請願してゐる筈だ、デ、若し滿鐵に加入組合同樣金融組合を設けることに本社からの命令でもあれば、意見だけは陳情する準備はある、それが邦人――この町を明く、正しくする因由ともなれば結構な話だから――賴母子講と云ふ小口金融機關も相當發展し七十件數に達するさうで、一人で二、三口加入し盥廻し式にかけ落してヤリタリをつけてゐるさうだが、金利が高く困つてゐる、これが廻して行ける間はよいが、鶴の嘴となつたら將棋倒しだからこれ程危險なものはない、だから是非一つ小口金融機關を眞面目に育て上げたいものだと考へる」

◇

石コロの町にふさはしい、堅實な石疊から改めて行かねばならぬとの主張である、一つ一つ確固に敷いて積んで行かうと云ふのである

◇

「それよりも問題なのは日本人が日本人を、互に排斥してゐることだ、排日は支那人の專門とのみ考へてゐた僕は驚いたネ・近い例が果實問屋の代表とか水產物の組合代表が來ての話に、私等の取引は日本人を求めてゐるのではなくて支那人に販路を擴張するのが目的です、日本人は危ないし、商內をしても、現金の支那人よりは高く賣らねば引合ません、支那人のよい得意先を世話して下さい――とあつた、成る程其の點から云へば、商賣別に國境を造る必要はないが、何も日本人が日本人を排斥せずともよいと思ふのだ、これでは產業の合理化では議論倒れ、結局現實とはピツタリとピントが合はない」

◇

「在滿邦人がこの調子では我らの愛する町の發展は六ケしい、これを聞いて何だか悲しい氣持がした、日本人中には支那の惡い向もあるが、購入組合の生れたのも商取引を圓滑にせんためだつたがこれでは何にもならない、何とかしてかう云ふ點を改め、統制し、合理化したいものだ、それには日本人の商取引に對する改善と訓練が先決問題だと思つた、支那人で失職者の多い滿洲だ、日本人は今一つ相互に一致せねば行詰りを自分から招くわけで、この町の發展も望み少ない譯だネ」

鐵嶺

海軍記念日の 祝◦賀◦順◦序 餘興は其儘廿八日に持越し 駐箚隊を慰問する

來る五月二十七日の海軍記念日は恰も二十五周年なるを以て鐵嶺海軍記念日同樣盛大に祝賀したいとの希望から、過般地方事務所に於て各方面の有力者相寄り協議の結果、全市民の大行進及各種作り物等を省き左の如き方法で祝賀會を催すに決定した

▲午前八時半 小學校に講演會
▲同十一時 神社に於て祭典
▲正午 公會堂に於て祝賀宴
▲午後四時 公會堂に餘興演藝

祝賀宴は會費一圓五十錢とし一般の參加を勸誘し、夜間の餘興演藝は各方面の有志者に出演を望むと尙當地海軍出身者を以て組織する二七俱樂部では此意義ある記念日を兒童に記憶せしむるため東鄕元帥の大肖像畫を寄贈すると、而して祝賀餘興は翌二十八日晚駐箚隊にて公開し駐箚隊を慰問する、主催者は領事館、民會、地方事務所、商工會議所、在鄕軍人分會、青年團、愛國婦人會、警察署等で費用は全部主催者が分擔し盛大な慰安會を開催すると

日語學堂生徒が 公安局員を毆る 支那劇場清樂茶園で觀劇中 警察で學校側を取調べ

去る十日夜鐵嶺日語學堂生徒數名が雨町支那劇場清樂茶園に觀劇に赴いたが、不圖したことから一生徒と支那側公安局員と口論を始め遂に格鬪となり生徒側では多數をたのみに對手を取圍み散々毆打負傷せしめたる騷ぎあり、公安局から鐵嶺に出張したときは生徒一同寄宿舍に引揚げた後なので、公安局から學校側に對し犯人の引渡し方を要求し來り

學校側 でも生徒一同を取調べたるも全部口を緘して語らず要領を得ず、遂に警察署の取調べとなつて目下關係生徒全部に就き嚴重取調中である

響渡る快い銃聲 紺碧の空晴れて ◇…賑つた十一日の射擊會

鐵嶺在鄕軍人分會及青年團主催の射擊會は十一日午前九時より衛戍病院東方の假射擊場で擧行された當日は近頃に珍しい快晴で郊外散步の氣分も手傳つて參加者頗る多く紺碧の空に心持ちよい銃聲を響かせ、特に午後からは參加者何れも秘術を盡し競射し午後三時一般射擊を中止し三十點以上の

高點者 をして決戰射擊を爲さしめた結果、第一種は四十一點の中川君が第一位を占め第二種は三十七點で鈴村君が榮冠を得、在鄕軍人會滿洲支部及奉天支部寄贈の特別賞並に香月旅團長寄贈の特別賞以下廿等乃至十五等まで一種二種入賞者に對する賞品授與があつた、婦人の參加者一名もなかつたのは聊か物淋しい感があつた

三上和知師 兒童修養講演

今十四日鐵嶺小學校では奉天の三上和知師を招聘し午前午後の二回に兒童修養講演會を開催すると、鐵嶺修養團では同師の來鐵を好機とし今晚七時から家庭教育研究所で同師を聘し向上講演會を開催、團員は勿論一般多數の來聽を希望すると

アラビアの披露 最に

開業せるカフエーアラビアでは今回開業披露としてヒイキ客を公會堂に招待目下興行中の映畫「仇討淨瑠璃坂」を無料觀覽せしめる由從つて今晚の公會堂はアラビヤの優待券所持者は場內整理の爲め大小人を問はず十錢宛を受け其他の觀客は規定の大人七十錢、軍人四十錢、小人二十錢を申受くと

古老連が昔話 陸軍支庫の廿五周年に 近く興味ある座談會

鐵嶺陸軍支庫は最に創立廿五周年內祝を行つたが、愈々近く記念として鐵嶺支庫に關する座談會を開催するに決定したる由、會は鐵嶺在二十五年乃至鐵嶺の歷史に通ぜる人を招待し、日露戰役後鐵嶺が開放されて以來鐵嶺に關する歷史或は支庫に關する物語を座談し記錄を作製する筈である、二十五年の長年月だけに珍聞奇談續出し興味ある座談會となるであらう、尙當日は特に大連陸軍倉庫長松本主計正も出席の爲め來鐵する筈と

苹花滿開 熊岳城は農園から農園。果園から果園と果てしもなき苹花の波である。早生のリンゴは既に落花に近いが。中生晚生のリンゴも滿開に近づき。今年は昨年に數倍したベツタ咲きに滿作をも豫想せられ各農園はほくほくの態である【寫眞は滿開の苹花園】

長春

昨年中の火事 件數は記錄破だが 損害額は非常に尠い

昭和四年中に於ける長春の火災件數は五十八件(內四件は附屬地外)である、之は記錄破りで最も多かつた三年度より一件多い、然し損害額は前年の三分一の四萬三千四百六十一圓である、邦人の失火件數は比較的少なく十二件、他は支那人である、原因はやはり煖房裝置の不完全が多い、月別に見ると四月の十一件が最も多く、十一月の九件が之に次でゐる

脫營して強盜 遂に逮捕さる

十一日午後一時二十分頃停車場派出所勤務伊豆田巡查が日の出町一丁目十六番地々先きを警邏中擧動不審の一支那人を發見し取調べた所此奴は寬城子駐屯步兵第七十團の兵士で脫營して附屬地外に於て強盜を働きゐたものにて、十一日には寬城子に於て強盜を働き更に附屬地に於て一働きせんものと入り込んだものであると

家庭研究會の 事業決定 會員は百八十名

長春家庭研究會の一年間に於ける事業は左の如く決定した 洋服裁斷講習四十三回、刺繡十七回、編物十四回、西洋料理十回、日本料理六回、支那料理五回、講演十六回、見學一回 尙現在會員は三月末現在百六十四名、その後の新入會者を合して五月八日現在百八十名だと

入船町に 拳銃強盜 鮮人方を襲ふ

十二日午前零時二十分頃市內入船町二丁目朝鮮人洋服米所事崔潤玉方に二名の支那人強盜押入りブローニング拳銃をつきつけて家人を脅迫し現金百七十六圓五十錢を強奪逃走した、長春警察署では直ちに非常召集を行ひ追跡したが未だ犯人逮捕に至らない

開原

開原校兒童の 修學旅行

開原小學校にては左記日程により奉天撫順本溪湖方面へ修學旅行をなすが參加兒童は九十餘名、付添訓導は池田、吉村、關、竹山の四先生なりと

△十五日 開原發九時二十八分、奉天着十二時十分忠靈塔參拜、城內、北陵其他見學(奉天泊り)
△十六日、奉天發九時三十分、撫順着十一時、露天掘、大山坑、其他見學、撫順發十五時五十五分、奉天着十七時十分(奉天泊り)
△十七日 奉天發九時、本溪湖着十一時四分、煤鐵公司其他見學、本溪湖發十七時十八分、奉天發十九時四十五分、開原着廿二時四十八分

本溪湖

川島會頭赴連

川島實業會々頭は十五、六の兩日大連に於て開催の全滿商議聯合會に出席の爲め赴連すると

大倉男 來溪 十二日奉天へ

大倉男は十日午前十一時の急行列車にて大倉組幹部河野久太郎、川本靜夫氏等を隨へ着溪、驛頭には煤鐵公司日支社員全部及び日支官民等多數出迎へた、男は直ちに煤鐵公司事務所前の本溪湖俱樂部に入り晝食後、煤鐵公司の本溪湖礦の視察を初めとなし、構內を巡視、同夜は社員の慰勞宴を張り、十一日午前出發南坎鐵山を觀察し午後五時着列車にて歸溪、同夜は本溪湖及沿線の官民多數を鶴友俱樂部に招待して饗宴を張り、十二日午前十一時發列車にて奉天に向つた

消防隊の演習

十日午後零時三十分警鐘によつて召集された消防隊員は直ちに所定の任務に就き、放水作業防火栓の取調べ其他を行つたが成績極めて良好で警察官も各戶に防火宣傳に努めた

撫順

新發電所の工事 着々として進捗す 來る九月末には完成の見込

撫順炭礦の機械化、電化の徹底を計る原動力供給の大使命を負ふ新發電所は諸工事着々進捗、既に一部機械の据付も了し本年九月末には完成最少限五萬キロワツトの發電が可能となり、既設發電所を合するとその供給能力は州外一となるが、その曉はその餘剩電力を奉天、鐵嶺、遼陽は勿論北方は遠く開原まで南は鞍山までも延長供給される筈で、從つて是等沿線も全滿一安價な電燈、電力料に浴し得る譯である

十萬圓で 給水塔と タンク

近く第三發電所橫に高さ百二十尺の給水塔及び工業用給水タンクが臨時豫算十萬圓を以て建設される從來各所で使用される工業用水給水方法は、工業用水源地よりまづ大山坑の貯水池に誘水そこから配水してゐたが、近年坑內掘鑿張の爲め鐵管通過各所の地盤に陷落、龜裂で時々斷水のやむなきに至るので完全に給水する爲め、從來の大山坑貯水池は全廢し、前記の給水塔を建設、水量の調節、水壓の平衡を保ち作業圓滑を計る豫定である

電車々庫 十月中に 移轉を終る

全撫順各系統の電車を收容、且修理し得る電車々庫は現製油工場と發電所の中間に建設される事となり、昨今基礎工事が晝夜兼行で急がれてゐるが、右落成は十月初旬、同月末までには完全に移轉される筈である、因に新車庫移轉後も現電車區轄系統の變更は矢張行はないと

營口

徵兵檢査は けふ大石橋で

營口管內居住の昭和五年度の在留徵兵適齡者の身體檢査は十四日大石橋小學校に於て執行される

善導大師遺跡 參拜團

淨土宗の善導大師遺跡參拜團一行は青島、天津、北平、大連、旅順を經て當地には來る十八日來り、新羅市街港灣及び宗教狀態を視察し即日湯崗子に向け出發すと

けふ午前斷水

水道會社では三家子送水管切替作業の爲め十四日午前零時より同五時まで新羅市街の斷水を行ふ

醫院職員更迭

營口醫院內科醫月野正流氏は撫順醫院に轉職し後任として長春醫院長拜田英之氏任ぜられ西分院長宮崎哲夫氏も同じく撫順醫院に轉じ後任として公主嶺醫院長加藤榮氏任ぜられた

長崎縣人會

營口の長崎縣人會にては十一日牛家屯に於て縣人家族會を開きたるが來會者七八十名餘興の福引、寶探し等ありて盛會であつたと

第三萬世丸入港

岡崎汽船會社所有船第三萬世丸は遼寧省政府へ納入の小銃彈、機關銃、小銃、飛行機計九百三十一梱を神戶から積込み十四日入港河北驛より平奉線にて奉天に送る筈

安東

大人氣の競馬 馬券賣上は新記錄

絕好の日和と日曜日に惠まれたる安東春季競馬第五日目は朝來より場の周圍はファンを以て埋まり無慮數千と數へられたが第四日の引續き競馬と當日の成績左の如し

第四日目

▲第八競馬 新抽 千四百米 一着 由良ノ助 二分三七秒二 二着 富越 三着 日ノ出 配當 三圓二十錢
▲第九競馬 新古呼 千六百米 一着 武勇 二分十九秒三 二着 瑞穗 三着 稚美 配當 四圓二十錢
▲第十競馬 新抽 千六百米 一着 雲仙 二分三六秒四 二着 榮飛 三着 放駒 配當 七圓二十錢
▲第十一競馬 各抽 千四百米 一着 白鞍 一分五八秒 二着 千兩 三着 扇城 配當 四圓六十錢
▲第十二競馬 新抽甲 千二百米 一着 行竹 二分一五秒二 二着 滿山 三着 老櫻 配當 四圓四十錢
▲第十三競馬 新抽 千二百米 一着 旭 二分一三秒二 二着 富士 三着 村雨 配當 四圓十錢

第五日目

▲第一競馬 新抽 千六百米 一着 豐州 二分五八秒 二着 村雨 三着 老櫻 配當 三圓二十錢
▲第二競馬 各抽 千六百米 一着 巴 二分二一秒二 二着 日正 三着 玉林 配當 三圓八十錢
▲第三競馬 新抽 千八百米 一着 陸海 二分四七秒四 二着 放駒 三着 由良ノ助 配當 四圓十錢
▲第四競馬 各抽 千六百米 一着 飛鳥 二分一六秒 二着 扇城 三着 勝姬 配當 十圓三十錢
▲第五競馬 新抽 千四百米 一着 滿天 二分一五秒二 二着 立花 三着 玉錦 配當 八圓九十錢
▲第六競馬 新古呼牝牡 千八百米 一着 稻葉 二分三六秒一 二着 飛電 三着 なし 配當 八圓十錢
▲第七競馬 新抽 千六百米 一着 伊呂波 二分三一秒二 二着 榮飛 三着 立山 配當 五圓五十錢
▲第八競馬 各抽 千八百米 一着 津駒 二分三十秒二 二着 惠以 三着 千兩 配當 十一圓三十錢
▲第九競馬 新抽 千四百米 一着 朝風 二分二二秒一 二着 岩手 三着 千鳥 配當 五圓九十錢
▲第十競馬 新抽 千六百米 一着 天勝 二分十四秒 二着 生駒 三着 白鞍 配當 六圓四十錢
▲第十一競馬 新抽 千四百米 一着 清美 二分一五秒 二着 鳴戶 三着 富越 配當 四圓二十錢
▲第十二競馬 新抽 千六百米 一着 正宗 二分三一秒二 二着 山蝶 三着 雲仙 配當 七圓五十錢
▲第十三競馬 新抽 千六百米 一着 松葉 二分四二秒四 二着 春市 三着 一司 配當 三圓三十錢

選手協定 州外相撲大會

滿洲柔人相撲州外大會は來る十八日鞍山に於て開催されるが安東よりの出場選手及監督は左の通り決定した

▲選手 川崎、本山、三島、阿部、吉岡、下釜、松本、池田、和泉、福元外豫備三名
▲監督 町井、中森、網貫

なほ當日の馬券總上高は二萬六千二百七十七圓の最高記錄を作り全部終了までには十萬を突破するものと見られてゐる

馬賊の掃蕩 省政府から命令

安東公安局においては最近遼寧省の命令に依り東邊道管內各地に每年橫行する馬賊討伐方法を、今年は各地駐在軍警と連絡を執り徹底的に掃蕩すべく既にその案を作り夫々通知を發した

清水氏結婚

故和田維次郞氏の長女鎭江孃は今回山本高一、北田榮太郞兩氏夫妻の媒妁で清水正之氏との間に婚約成り十二日安東神社に於て華燭の典を擧げ同夜スミレにて披露宴を催した

兒童デー賑ふ 二千餘の小學生が晴の競技

滿鐵社會課主催の春季兒童デーは十一日午前七時より大和、朝日、曙校各校二千數百名の兒童に依つて行はれたが、之れより先き各校兒童は各校小旗を手にして安東神社に參拜、同九時六道溝新設運動場に到着、井上地方事務所長の開會の辭について直にトラツク競技に移り最後の各校高等科男女組のリレーは應援團の血を沸かし、同十一時よりは尋三以上の男兒の相撲が開催され孰れも小國民の勇ましい元氣を見せ正午豫定のプログラムを終り萬歲を三唱して解散した、當日は天候極めて良好で一般父兄の參觀が多かつた

大石橋

名僧智識 遙々內地から 二十餘名が 十八日來石

來る十五日より三日間大連明照寺において支那の高僧善導大師一千二百五十年遠忌法要を嚴修するため母國の名僧智識二十餘名の團體參拜する事となつた、なほ右の名僧達は奉天に於て行ふ日支合同大法要に參加する筈で、來る十八日大連を發し奉天に向ふ途中當大石橋に下車し娘娘廟、龍泉寺、神社、忠魂碑等に參拜する旨奉天遠忌大法要總務今村善勝師より龍泉寺に通知があつた

瓦房店

果樹組合總會 けふ事務所にて

滿洲果樹組合に於ては今十四日午前十時より組合事務所にて第十三回定時總會を開催し、左記事項につき協議する、當日は滿鐵會社農務課長又は代理者列席する筈なりと

一、生產果實の共同販賣に關する事項
二、果樹藥品共同購入に關する事項
三、昭和四年度決算及五年度豫算に關する事項
四、役員改選に關する事項
五、組合の新規加入に關する事項
六、組合マーク設定事項
七、其他果樹園經營上の必要事項

松樹區々長 劉雲閣氏に決定

松樹區々長滿端周氏死去の後任は劉雲閣氏を十日附にて西村地方事務所長より指名せられた

驛待合室で出產

十一日午前六時ごろ驛待合二等室で三十歲前後の鮮婦人が急に腹痛を起したので驛員及び警官等が介抱したが何うやら出產の模樣なので產婆に賴んで手當を加へ男の子を分娩した、この鮮人は新市街に居住してゐる朴氏であつた

ガンヂーの逮捕と反英運動の前途
別に激成はすまい 今回の運動は局部的

反英不服從運動の巨頭マハトマ・ガンヂー氏は五月四日ジヤラルプール（ボンベイ州）附近で遂に逮捕された、彼の下に奮鬪してゐた彼れの息子、主だつた領袖株など十數名が、いづれも逮捕監禁されてゐる今日、彼のみが逮捕を免れてゐた事は寧ろ不審に思はるるほどであつた、ガンヂー氏の逮捕はインド政府が彼の行動を危險視し、最早無拘束のまゝ放置し得ざるものと認めた結果である、彼の逮捕によつて、反英運動は一時的にせよ終熄するであらうか、それともインド人の反感を買ひ、その敵愾心を刺戟して一層猛烈となりはしないか。これが當面の問題である、ボンベイには五日動員令が下つた、何時事變の勃發を見るかも知れないからである、既にガンヂー氏に代る指揮者として前パロダ高等法院判事アバス・チヤブヂ氏が選ばれた。

政府の肚裡

ガンヂー氏は非軍事的反抗運動の第一着手として、去月六日以來鹽專賣法破棄を斷行しつゝあつたが、同廿六日に至り、同志の者に予は數日を期してダラサナ村（ボンベイ州）の鹽專賣所倉庫を襲撃せんとす、諸氏は來り從つて予を助けよとの通告を發した、それより九日目にガンヂー氏が逮捕されたところをみると、官憲は事前に彼の不穩行動を抑制したのかも知れない、インド政府は先づガンヂー身邊の者を逮捕し、彼を孤立無援の地に陷らせて後、彼自身を逮捕する段取であるとも傳へられてゐたが、政府は或は此鹽倉庫襲撃の計畫を口實に其の段取を實行したのかも知れない、更に想像を逞しうすれば、ガンヂー氏自身も投獄される事はかねてより期待し、或は希望してゐた事であり、自己の入獄によつてインド人を奮起せしむる考へであつたかも知れない、ガンヂー氏は逮捕後、汽車及び自動車によつてプーナ（ボンベイ市の東南七十五哩）のエラワダ監獄に護送された、而してその監禁期限は政府が適當と思惟する時までといふ極めて不確定のものだといふ。

八年前にも逮捕

ガンヂー氏は今から八年前即ち一九二二年の三月にも騒擾罪として逮捕投獄された事がある、當時インドはヨーロッパ大戰後の影響を受け、物情騒然として反英思想頻りに動き、各地に暴動が起つた

ガンヂー氏は其頃すでにインド人の宗教、法律、政治、教育其他日常生活の指導者としての地位に立ち、國民崇拜の的となつてゐた、而してその反英的言動はインド人に對し非常な感化力があつたのである、然し當時彼の投獄は何等の反響もなく不穩も起らなかつた、彼は一九二四年二月刑期の三分の一を終つた時釋放されたが、其頃ガンヂー氏の對英非協同運動は一向振はず、自治派は內訌を生じ、インド教徒と回教徒とは共同の敵を忘れて互に爭つてゐる有樣であつた、其後自治派がインド議會で多數を占め、インド人の不滿が多少とも緩和さるゝに至つて、ガンヂー氏の勢力は非常に衰へた、ところが昨年イギリス政府がかねてインドに約束した自治領の地位に關し不徹底の態度を示したのが動機となつて、自治派は政府と議會とを信頼しなくなつた、而して自治領の地位よりも完全なる獨立を希望する事となり、ガンヂー氏の再起を迎ふるに至つたのである、今度の反英運動は主としてインド教徒を主心とする「全インド國民會議」なる政治團體の支持を受けてゐるもので可なり勢力はあるが回教徒其他の宗派は寧ろ親英的態度を取つてゐる、從つて運動は決して全インド的のものではない。

小說を持出して被告から抗辯
二十年前の殺人嫌疑で懲役 山東の法院で珍裁判

濟南にある山東高等法院ではツイ先日、二十年も前の暗殺嫌疑者を懲役十年公權褫奪十五年といふ判決を下したが、之には治外法權撤廢を叫んでる青年支那としては相應しからぬ珍事實が織込まれてゐる、事の起りは辛亥革命當時といふから民國元年我が大正元年の出來事、其頃の執權者袁世凱は革命運動者を毛虫の如く嫌つて、目星い運動者をドシ〱

暗殺やら 銃殺やらで其の手足をもいで行つた、日本士官學校の第一期留學生で革命運動の先覺者たる吳祿貞氏も其の例に洩れなかつた、そして直接の下手人は誰とも判らず今日に及んで居た、處が山東省泰安に豪奢な生活をして餘生を送つてゐる張光武といふ老先生が、もと袁世凱の衞隊長をして居たといふ廉で、吳暗殺の實任者は彼だといふ事が誰からともなく傳はつて、遂に國民黨山東省黨部と濟南市黨部から訴へられて

裁判沙汰 になつた、張先生が果して其の下手人かどうか、裁判官も流石に革命初期の物騷な世の中の出來事を調べ盡す事は出來なかつたが、兎も角黨人萬能の世の中だ、黨部がさうだと認定して訴へたのだからそれに違ひあるまいといふので、張先生を有罪にしてしまつた、張先生は大いに憤慨したが、百の辯明も肯いて貰へぬので、到頭清朝沒落を種にした消史演義、滿淸稗史といふ

二小說を持 ち出して自分はこの小說にある通り何等關係はないと陳述した、最後の判決の時裁判長の歐陽煦先生は厳かに口を開いて

張光武は反革命の目的を以て團體を組織し、共同殺人をなしたによつて有期徒刑十年、公權褫奪十五年に處す

と判決を言ひ渡して徐ろに其理由を述べ

被告は消史演義、滿鮮稗史を提出して無關係の證左としてゐるが、之はいづれも私人の著述で記載する所却々詳細であるが、之を以て被告の無罪を證明するに足らぬ

と一蹴してから

本犯罪は本法公布以前の事であるが、當然既往に遡及して處斷すべきである

と斷つて居る、刑法の完成實施されたのは此の二年前であるから、張先生は十七八年前に遡つた推定論で冷たい牢獄の人となつて仕舞つた。

罪の深淵から蘇生る
免囚保護の爲仁會に救はれた人々

免囚保護のため大連に爲仁會が生れてからもう彼是十年になる、旅大の刑務所から出る者は大抵一度は此處のお世話になるのであつて日鮮支人合せて一年に約五百名、このうち日本人が百五十名乃至百八十名あると云ふから創立以來世話した者は全部でザツと五千名內外、經費は關東廳、滿鐵、大連市役所等の補助金及會の附帶事業收入（脫衣取扱料や不動產の收入）で支辨され一ケ年約七千圓と云はれる、處が過去十年間に正業に就かせてゐる者は、鮮支人の方は判らないが

日本人 は十人にも足りない、然し最近の三年間には五人も正道に復したといふから內地の免囚保護所に比較しても恥かしくない成績だ。一名は前科（詐欺橫領）三犯の洋服職人で、爲仁會に二年間居るうちに眞面目に稼いだ貯金千五百圓ばかりを資本に洋服店を開業し、今は數名の職人を置いて可なり盛んに營業してゐる。店員あがり窃盜前科二犯の某は爲仁會に一年間保護されてゐる間に五百圓ほど稼ぎ出しこれを資本に市內で乾物屋を開業、今では何不自由ない暮しをしてゐる、特筆すべきは橫領前科一犯の某青年で一年の刑期を終へる間にすつかり悔悟し同會の主管者池內主事の世話で前に勤めてゐた浪速町の某大商店に店員として復活したが

主人が 極めて物の判つた立派な人物であるのと前科を償ふ眞心からの努力とでその前科青年の位置はズン〱向上し僅か一年半ばかりの間に支配人にまで出世し重要な人物になつてゐる、他の一人はまだ爲仁會に居るが煙草の行商に精を出し、もう三百圓程の貯蓄も出來てゐるといふ、最後の一人は某大會社の事務員になつたがこれも全く眞人間になつたものと見られてゐる、池內氏はかう附け加へた

右のやうなのは砂礫中の珠玉にも比すべきもので十中の八九は折角正業を得ても何かの動機で又罪を犯し深みへ〱と墜ちて行つて終に生涯浮ばれないやうになる、爲仁會では免囚を引取るゝ職が見付かるまでは無料で養ひ、職を發見してやると月十二圓の食費だけ差引き必要な金以外は貯蓄さしてゐるのだが口實を設けては引出して酒食に費して了ふ、辛抱さへすれば職を得た者は會にゐると一年に三百圓や五百圓の貯蓄は乾度出來るのだが、それがなか〱容易でなく又貯蓄も資本に獨立しても、ほんとうに眞人間になり切るものが百人に一人もあれば成績のよい方です

海外消息
ヨーロッパでは結婚が大繁昌 —一等はロシヤだが 離婚も矢張り第一—

ヨーロッパは大戰中失つた人口を埋合はせるため「生めよ殖えよ」の宣傳に日も尚足らぬ有樣、さうした目的から大に結婚を奬勵してゐる甲斐あつて結婚だけは大繁昌である、併し何ういふものか人口はその割に殖えない、結婚の統計を調て見るとヨーロッパ中で戰後毎年平均約三百萬組、それが戰前即ち一九一二年の結婚二百五十萬組に比較すると五十萬組の增加、ヨーロッパ中でも結婚の方で

牛耳つ てゐるのは新興社會主義國ソウエート・ロシヤ、それは結婚が自由なのにも依るが、離婚も御勝手次第だから差引ゼロになり、子殺などは甚だ怪しい、ロシヤの次はハンガリー・ブルガリヤ、ルタセンブルグ・スエーデン、ノルウエーといふ順序、その國に行くとフランスやドイツのやうな大國がズツと後方にあるのだから變つて居る、そして男子が比較的青年時代に結婚するに反し、婦人の婚期が遲れがちなことも著しい奇現象である。

▲フイルム寫眞術（昭和新版高桑勝雄著）—新刊批評—

児童の心理や欲求を最もよく知るものは常に多數兒童に接近せる小學の先生であるが如く、著者高桑勝雄氏は過去十八年間寫眞雜誌の編輯者として、又數種の著書を有する關係上、多數アマチユアの知りたい事、困ること、迷ふ事、求むる事、陷り易い失敗が何んであるかを知悉してゐる、だから本書は此等の欲求や疑問などを持つ素人寫眞家に取つては良き說明者であり助力者であり、更にこれから寫眞家たらんとする人々にとつては懇切で氣の利いた指導者たり案內者たるものである、而して「要らぬ事は省き、出來る丈け平易に、加之に而白く要所の記述は細大洩さず徹底的にして讀めば必ず解り、解れば直ぐ實行出來るやう」に書いてある勿論フイルム寫眞術とは云へ乾板に就ても相當詳しく記述してある（定價二圓、東京市神田區今川小路二ノ一アルス發行）

青葉頃の病氣
初夏の底冷えが痔疾に影響する
…慢性病の多くは此の季節に兎角惡くなる傾向を有する…

樹々の青葉が色濃くなる頃は一種の冷氣を感ずるものでこの底冷が病氣には面白くないものである。慢性病は此の時季に兎角惡くなり易い、それは病人がよく實驗する所である、なぜ惡いかは專門的に研究したら色々の理があるのであらうが、それは別として事實この季節が病氣によくないことは確かである、就中呼吸器病や痔疾が惡い傾向を取ることは一般的に知られてゐる。

痔疾患者は一年中常に惱まされる

痔疾といふ病氣は一年中よいといふ氣候がないと云つてもいゝ、寒ければ寒いで惡く暑ければ暑いで惡い、又春秋の氣候の變り目にもよくないから痔疾患者は病苦から解放されて呑氣な氣分になることは實際上ないことになる。誠に同情に値する病氣である。しかしこの痔疾も患者自身の深い注意と周到な手當さへあればそれ程重症とならずに濟むものであるから病氣を正しく知つて常に適當な攝生と治療とを忘れてはならぬのである

痔疾と云つても症狀は色々で專門家はこれを通常痔核、肛門周圍炎、脫肛、ポリープ、痔瘻等に分類してゐる、出血とか痒痔とかいふのは別に一つの症狀と見るべきものではなく痔核の場合にも裂痔の場合にも起る附隨的現象と考へてよい。

痔疾の根本となる 痔核の出來る譯

痔核といふのは俗に疣痔と呼ばれるもので痔疾中一番多いものである。これは肛門周圍にある痔靜脈といふ血管が壓迫され鬱血した結果瘤狀に膨れ出したもので非常に痛いものである、大小色々で大きいのは大豆より大きく小さいのは米粒よりも小さい、發生する所は肛門の內部又は紅門の周緣である、これは最初の間は極めて小さく別に苦痛も感じないが知らぬ間に段々大きくなり肛門に異物がある感じがする樣になる、排便時などに始めて痛みを感じ觸つて見ると小豆位になつてゐるのを知ることが多いのである、斯うなると起居の折、排便時、運動步行の際などに激しい痛みを生じ一個が二個となり三個となつて益々苦痛が增して來る、紅門內に發生すると排便を妨げる結果、强い怒責を要し無理に押出すため此は肛門外に食み出して押込まなくては元の通りに還納しなくなる。

七顚八倒の苦しみ 痔核嵌頓の症狀

押し込んで還納すれば無事であるが時によると食み出して腫れ上つたまゝ還納しなくなり猛烈な痛みを起して患者を七顚八倒させることがある、これを痔核嵌頓と云つて苦しいものである。又痔核は排便の際や運動步行などの摩擦によつて破れ出血し非常に衰弱を來すことがある、兎に角痔疾の根本ともいふべきものはこの痔核であるから放任してはならない。

痔瘻は危險な重症 體質による療法

ポリープ、肛門裂瘡、脫肛、周圍炎、何れも苦痛は苦痛であるが怖るべきものは痔瘻である、これは肛門の內部即直腸から肛門の外側に當る臀部へトンネルの樣に孔が開き膿を出すもので此のトンネルを瘻管といひ直腸から臀まで全部通つてゐるのと臀肉內で行き止りとなつてゐるものと二種ある、これには單純な痔瘻と結核性痔瘻との二種あつて結核性のものは手術に餘程注意を要するのである。

攝生と注意次第で惡化を防ぎ得る

斯かる怖るべき重症も其の始めは便秘や暴飮暴食から起るのであるから痔疾患者の攝生としては胃腸を害せぬ樣、便通を正しくする樣にし酒や刺戟性食物を避けて病因を作らぬ樣にするのが第一である

痔疾の治療は外科手術による外藥物的には特に卓効あるものはない多くは痛苦を緩和するための鎭痛痲痺劑である。現在世間に販賣されてゐるものゝ中では特色あるものとして『小松ちの藥』がよく知られてゐる、この藥は普通の痔疾藥と違つて單純な痲痺藥を主としたものでなく特殊の主藥を用ゐ、效力は他の痔藥に比して遙かに强い、又他の痔藥と異つた點は一時の痛みを押へるものでなく連用すると漸次に痔疾の各症狀を減退させ患部の組織新生を助ける効があることである、鎭痛作用も優秀で激烈な痛みを消散させる力は驚くべきものがある、從つて患者が自宅で痔疾を手當し樣とするには簡便でしかも安全であり効率も高い理想的の藥であると云へる

新刊の栞
痔疾患者の福音 痔疾の發生と療養に關する、あらゆる注意を述べ、如何にしてこの難病から救はれたかを率直に告白した貴重な體驗數十例を集錄した親切な冊子である、著者は有名な小松ちの藥の發見者故小松喜一郎氏で一般痔疾患者のために無代で頒布されてゐる申込は、東京市日本橋區瀨戶物町玉置合名會社（新聞名を記入の事）

療病顧問

肛門から紐が……
誠に變な事をお伺ひしますが私は最近肛門の內から紐の樣なものが外部に垂れ別に痛くはありませんが何の病氣でせうか （麻布 千木生）

答、それはポリープと云つて痔疾の一種です肛門內部直腸面から球狀の瘤が長い柄でブラ下つて來るものです、痛くなければソツとして置いてもよいですが痛み出すと面倒ですから成るべく內部へ入れる樣にして肛門坐藥か軟膏を使用して收縮する樣にした方がよいでせう、一番いゝのは手術することですがイヤならば小松痔退座劑の如き効力ある藥を用ふるがいゝでせう。

排便が塞へる……
私は昔から痔疾はありましたが便通は別に困難ではありませんでした所が最近排便の時途中で止つて仕舞ふ感じがして大變心持が惡く痛みもありますが何か別の病氣でせうか （橫須賀 途里困人）

答、それは內痔核が惡くなつて大きく膨れてゐるために排便が途中で妨げられるものでせう、放つて置くと色々な害をしますから前にも記した小松痔退座劑を一日二三回挿入して御覽なさい漸次によくなりませう。

肛門の掻痒症……
最近肛門が非常に痒く特に夜間は眠られぬことがあります 療法を御教示下さい、（深川 海草舍）

答、肛門の痒いのは痔に因る場合と寄生虫による場合とありますからよく判り兼ねますが痔のために起る痒さならば塗付藥で大抵治ります小松痔退膏を貼付して御覽なさい

便秘症と痔核……
痔核のために便通が惡いのですが放つて置いても害はないでせうか （甲府 泉生）

答、便秘はあらゆる痔疾に惡影響がありますから決して放任してはなりません、食物と規則正しい生活とによつて緩和することが出來ます、新鮮な青物、果物、牛乳、などは緩下の効があります、又每朝起床後直ちにコツプ一杯の鹽水を飮むのも有効です、それでも駄目なら灌腸によつて排便をはかる外はないでせう、灌腸は無害で有効です。

家庭とコドモ

尊き母性愛
（上）『母の日』の教訓
高崎能樹

五月中の行事に、男の子を祝福する意味の「お節句」と、母親の恩愛を感謝する意味の「母の日」とが定められてゐることは、全く美しい對照の繪を見るやうな感がいたします。……「男の子の立身と母親の恩愛」……とは何處までも相呼應した、切るに切られぬ堅き因果のある問題であることは、誰方も御承諾下さるでありませう。

立派な母親　昔から偉人、聖人の背後には立派な母親のあつた事は誰しも認むる所で、人の子の生ひ立ちは父の力を受くるよりも、母の力を受くることが甚大であることは否み難き事實であります。すべて子供の「善くなると惡くなるとは母親次第」と云ふことは過言ではありません。女は母たることに依つて世界を創造する……と云つた人がありますが、實際世界の活舞臺に立つて働き、次から次へと新世界を開拓し行く偉人は母の手に依つて養成せられるのであります。又「女は男を生む」と申した人もありますが、たしかに男の中の男をも優れたる母がこれを生みもし育てもするのであります。

御覧下さい　あの鵬鶵を！大きな鵬鶵を先頭に、愛づるもの小鵬がこれに從つて青空目がけて勇ましく昇り行くではありませんか？この先頭者たり、教導者たり模範者たる鵬鶵こそ母親でなくて何でありませう。茲にも又無限の理想へ、永遠の榮光へ、子女を從へ行く母親の尊き使命が表徴されて居ります。靜かに搖籃を動かす手、この母の手こそ世界を動かす手ともなる事を思ふ時、母親の心には云ひ知れぬ歡びが湧き起るでありませう。實に榮えある母の任務よ！……と申すべきではありませんか？。然しながら母親の任務は必ず偉大なる人物を育て得し時にのみ果されたものと斷定することは大なる誤りであります。母親の

尊き使命は　子供の運命の一切に係つてゐるのでありまして、不幸にして病弱な子供、精神的異常兒、その他不具不遇の子供に至るまで、一人一人に最善を盡し、愛を注ぎ、生命を賭して行く所に母親の尊き働きが在るのであります。實に母親は子供の爲めに生き、子供の爲めに死し、子供を己が一切として終始するのでありまして、子供に取つて是ほど有難いものは無いのであります。而もその勞苦は多く酬いられず、只犧牲を拂ふのみにて終るはむしろ常の事の至りであります。にも拘らず、母親に於ては飽くまでも愛と眞實とを貫徹し、最後まで背かれても背かずに通すのでありまして、全く神の御心をその儘身に表はしてゐるのであります。されば せめても

母の恩愛に　報ゆる子心を表示すべき爲めに五月第二日曜を期して「母の日」が設けられたのでありまして此の日子女は母親の爲めに慰安の途を講じ、又教會の集會に於ては特に母性の胸に撫子の花を飾り、又家庭に於ては故人となりし母親の記念會及び墓參を營み、職業生活せる青年に於ては郷里の母に慰問の手紙を送ることが常となつてゐるのであります斯く愛と犧牲とに終始一貫する母親の恩愛に對して、心からの感謝をなし、且つ深く記念して忘れまじとすることは、人間の尊い道であるばかりでなく、

力強い慰め　であり、獎勵であります……昔から「孝は百行の本」とも申されて居ります樣に、實際人間の善行はすべて親の恩に感激して、それに酬いやうとする良き態度から生れ出て來るのであります「愛すべく、感謝すべき母を有する者は幸ひである。その首に取つき、足下にひれ伏し、足跡に口つけ、神の如く崇めよ。汝の爲めに合掌して祈禱する母の手に接吻せよ。汝の心より、思念より、瞬時も母を放つ勿れ。母の愛より新しき

生命の力を　吸ひ、天上の力を取り、母によりて汝の生命を潔め、汝と人類との罪を救へよ。天上地下に於て母の名は崇められ、諸界を通じて世界の果より果まで、あらゆる時間と空間を通じて永遠にその名は響き渡る。母の叫びは神の耳に通り、保護と報復のために神を天の玉座より呼び下ろさしめる。母の地位は最も優れたる地位であり最も神聖なる地位である

母はその子の救主であり、又人類のための天來の代理者であり代訴者である。全く他人を信じ得ぬ者も、己の母を堅く信じ、何物をも愛し得ざる者もなほ己が母を愛する」と母を讃美した人がありますが、眞に同感であります。そして

人間は母親　に對する態度が諷ふ時に、周圍に對する態度も又諷ふのであります。斯うして人生は親心に對して子心が共感し又子心に對して親心が共感する事に於て平和と歡喜とが得られ地上も全く天國化するのであります

▲童詩▼
チヨン
大廣場二年　西村靜子

トナリノチヨンハ
ウルサイヨ
ザツカヤニイヤヤ
トウフヤニイヤガクルト
ワンワンホエテ
ウルサイヨ
ワタシガ
ペンキヤウシテルトキ
ワンワンホエテ
ウルサイヨ

大チャンノ モウジウガリ（101）
ハルミチ作　ジラウ畫

チンパンヂー ハ カナシイコヱデ サケビナガラ ジドウシヤ ノ ナカ ヲ カケマハツテヰマシタガ シマヒニ ジドウシヤノ スミニ クツツイテ シマヒマシタ「ドウモ オカシイナ」ヲヂサンハ フシギサウニ アタリ ヲ ミマハシマシタ シカシ ナニモ カハツタヤウスガアリマセン。」

「ヲヂサン ドウシタノデセウネ」大チャン モ フシギニ オモツテ ジドウシヤ ノ ナカ ヲ ノゾクト チンパンヂー ハ ジドウシヤ ノ スミ デ フルヘテヰマス シカシ ブル ハ ウレシサウニ ヲ ヲ フツテヰマス ソノトキ ヒトリノ ドジン ハ「キヤツ」ト サケビマシタ。

ラヂオ英語講座
（大連放送局五月十四日午後七時放送）
講師　大連商業學校　上村又一
（第三回）

Pan Pacific Progress.

Pan Pacific Progress aims faithfully to chronicle the main events of Pan Pacific countries. It is the open forum for a candid expre sion of opinion of contributors on all subjects pertaining to Pan Pacific affairs but the editor is not responsible for the opinions expressed by the individual writers.

Service Bureau—Linked with Pan Pacific Progress is a Service Bureau which is prepared to give expert advice on Foreign Trade Financing. Market Building, Special Surveys Abroad and General Travel Information, at reasonable rates.

Correspondents wanted of prominent people, officials, points of interest, industries, etc.

Subscription Rates—$2.50 per year in the U.S. A.: $3.00 (Gold) elsewhere. Single copies 25c.

Advertising Rates on application.

Address all communications to Pan Pacific Progress. Copy must reach us by the 5th of the month preceding the month of issue.

カメラ遍歷「大連放送局の巻」―その二―

現在のJQAK加入者は全滿で約三千、その二分の一は大連在住者である、最初は鑛石式が大部分であつたが、此の頃ではフアンの耳が發達したのと、セツトが安く買へるやうになつたのとで、鑛石は年々影をひそめ、四球五球が大部分を占めるやうになつた、

◆

大連放送局は御存じの通り大山通りの電話局內にあるが、こゝには受話裝置があるだけで、こゝで接受した談話なり音樂なりは電話線で沙河口にある發振所に送られこゝで始めて無線電波となつてアンテナからブロードキヤストされるのである、

◆◆

JQAKには、三名のアナウンサーが居る、

「JQAK、こちらは大連放送局であります、只今からニユースをお知らせいたします……」

原稿片手にマイクロフオーンの前に立つて、それを讀みさへすればいゝのだからまことに吞氣な商賣の樣だが、眞夏の頃、裸體になつてゐてさへ汗の流れるやうな蒸暑い晩など音響のもれないやうにたてこめた放送室にじつと居ずまひを正して長たらしい講演を聞かされたりすることを思ふとアナウンサーも傍で考へるほど樂なものではないやうだ、

「アナウンサーもこれで中々骨が折れますよ何しろ放送される種目はあらゆるものを網羅してゐるのですからアナウンサーは色々のことを廣く知つてゐなければなりません。音樂上の知識は無論のこと、藝術上のこと、學術上のこと、それに雜な知識まで持たねばならないのですから中々容易でありません、ところが、こゝの放送局には無雜な者ばかりが揃つてゐるので時々トンチンカンなことを言つて笑はれたりします、此の前もプログラムに「小唄"數"」とあるのをアナウンサーが「只今から小唄を放送いたします、曲目は數さんであります」と藝者さんの名をすつかり曲目にしてしまつたりして大恥をかいたりしたことがありました、それから落語などの放送の時傍に居るアナウンサーが話の引合に出されたりするのはまだいゝとして、腹の皮がよれるほどおかしい時でも笑聲をグツと嚙み殺して居なければならないのですから、アナウンサーも中々つらい商賣ですよ」

と、アナウンサーとなる赤嶺氏の談である、

◆◆

次はラヂオドラマなどに使はれる擬音の種明しをしやう、

◇汽船の汽笛、長方形の箱型の笛を力一ぱい吹くと汽船の汽笛そつくりな巾廣い音が「ボー」と出る、

◇犬の吠聲、ワンワンと口で言つた位では容易に犬の吠聲にはならない、そこで醬油の空罐のやうなものに穴をあけて馬の毛を通し、その毛を松脂をつけた皮でキユツ〳〵と强くこすると、犬の吠聲そつくりの音が出る、テレビジヨンではないから、いゝやうなものゝ、やつてゐる格好はまるで犬の聲とは似てもつかないものだ、

◇波の音、これはどこでもよくやる奴で、小豆を箱の中で動かすのである、

◇風の音、ヒユーツといふ颯風の音は小さな笛を吹くことによつて案外簡單に出る、

◇馬の足音、寫眞にあるやうに木の椀のやうなものを兩手に持つてテーブルの上を交互にパツカパツカやるのである、笑つちやいけない、

◇機關銃の音、パラ〳〵〳〵と連續的に發する機關銃の音はバネで押へた木製の齒車をぐる〳〵廻轉することによつて自由自在に出すことが出來る、

◇その他自轉車のラツパの音や鳥の鳴き聲などは小さなラツパや笛でまことに簡單に眞似ることが出來る、

◆◆

擬音の說明はこれで終りました放送局についてのお話はこれで終りであります、では皆さんおしづかに朝のご飯をお上り下さい、JQMN、こちらは滿日編輯局であります、

寫眞說明　（上）＝パカ〳〵〳〵と馬の蹄の擬音　（下）＝「ボーボー」と港に響き渡る汽船の汽笛の擬音

探偵小説 女妖 (88)

江戸川亂歩作
横溝正史

伊藤幾久造畫

古塔の老婆 (八)

浪子は宿へ歸るとがつかりした。お利枝婆さんの後始末をし、一先づ小夏を引取る事になつて、宿へ歸るともう短い冬の日は暮れてゐた。最初彼女は膽本さへ見れば、その日にもパリーへ歸るつもりだつたのだけれど、意外な事に暇どつて、到頭汽車を取逃して了つた。止むなく彼女はもう一晩この村に泊らなければならなくなつた。

小夏は膝の上にすや／＼と寢てゐる。さし當り困るのは、この少女の始末であつた。他に引取り手とてないので、浪子は例の侠氣から、自分が引取つて世話をしやうと言つたものゝ、まだ六つや七つの少女である。彼女の手一つで世話が出來るかどうか、甚だ心もとない事である。

浪子は椅子の中にうづくまつてつく／＼今度の事件を考へ廻らせてゐた。

總ては河内兵部の遺した財寳を中心に、死のやうな爭鬪が演ぜられてゐる事だけは間違ひない。河内兵部の子孫の一人が、この莫大な財寳を獨占せんために、邪魔になる他の子孫を次から次へと殺してゐるに違ひない。

春巣街の殺害者然り、安藤婆さん然り、そして今又お利枝婆さんである。かくして河内兵部とこの兇惡無殘な犯人との間に立つてゐる人物は、悉くその同じ敵手に倒されてゐるものと思はれる。とすれば、この犯人とは何者ぞや。

無論彼も亦河内兵部の子孫の一員に違ひない。浪子はそれを知るために、河内兵部一家の膽本を見やうと思つたのだ。さうすれば、その子孫の中、或は思ひ當る人物があるかも知れない。いや／＼それから膽本を手操つて行くやうに、探つて行けばこの兇惡なる犯人も正體が分つたかも知れないのだ。

然も、相手もさる者、さう易々と尻尾を掴まれるやうな眞似はしなかつた。最後のどたん場に於てまんまと浪子を出し拔いてゐる。それればかりか、行きがけの駄賃として、同じ河内兵部の子孫の一人たるお利枝婆さんをやつつけて行つたではないか。

その大膽さ、巧妙さ、到底鐵藏や浪子などの敵すべくもない强敵だ。

河内兵部にはまだ／＼澤山の子孫があるに違ひない。そして、彼について知るところはないのだ。從つて、恐ろしい惡魔が自分たちを狙つてゐるなどとは夢にも知らないだらう。惡魔はそこへつけ込んで、傍若無人に、恐るべき殺人行爲を行つて行くに違ひない。

さう考へると、浪子は肩の寒くなるのを感ぜずにはゐられなかつた。

此の眼に見えざる强敵――これ程世に恐ろしいものがあらうか。かう言ふうちにも彼の毒手は自分の背後に迫つてゐるかも知れないのだ。

何故ならば、綾小路浪子も亦、河内兵部の子孫の一人なのだ。

妃殿下へのお土產物 撫順にてお求め
銀細工の七寶、支那人形お買上げ
奉天御假泊の秩父宮

【奉天特電十三日發】ヤマトホテルに入らせられた秩父宮殿下には御小憩後午後二時より陸大生としての御勉學につかせられた、此日も朝來風强きためホテルルーフにおける講話場を變更してルーフにおいては特務機關森岡歩兵少佐より「奉天會戰より見たる奉天附近地勢觀察」に對する附近の地形を御指示申上げ二時廿分より階下のホールにて高柳中將より奉天第二軍の行動と題する講話を、引續き獨立守備隊長高木歩兵中佐より「北陵の戰鬪に就て」と題しまた特務機關長鈴木少將より「東北四省の現勢」に就てそれ〲講話申上げたが、殿下には終始御熱心に陸大生と共に約二時間に亘り御聽取あつて四時百二號の御部屋に入らせられた、御晚餐後七時より日下課長、小倉所長、守田民會長、横山ヤマトホテル專務、滿蒙毛織會社技師、大矢信彥氏等の御說明で支那骨董その他、觀產品を台覽、お氣に召し四個御買上あり、その銀細工の七寶支那人形は殊のほか滿蒙毛織のポーランド毛布を御買上げ遊ばされたが、毛布は特に純滿洲產の毛のみで織つた方をお選び遊ばされた、妃殿下へのお土產に御相應しき品がなく撫順にて御求めと承はる、なほ奉天官民より支那緞子五疋、林[illegible]事より滿蒙毛織の毛布三枚獻上御嘉納あらせられヤマトホテルに奉天の第一夜を過ごさせられた

撫順御視察 十五日の御日程

目下奉天御視察中の秩父宮殿下には十五日八時奉天驛御出發、撫順に向はせられるが、十五日の御日程は左の如くである

午前七時五十分奉天ヤマトホテル御出發▲同八時奉天驛御出發(車中御說明、獨立守備隊第二大隊長)▲同九時十分撫順驛御着(驛ホーム)御途中在鄕軍人、青年訓練所員、學生、少年團等御奉迎▲同九時十八分炭礦事務所御成、山西炭礦長御說明▲十時四十分古城子露天掘御成、久保[illegible]長御說明▲同十一時八分製油工場御成、岡村調査役御說明▲午後零時八分御晝食(於炭礦事務所)▲同一時十分撫順驛御出發▲同一時五十五分孤家子驛御着、驛東方空地に御成、牛島少將御說明▲同二時五十五分孤家子驛御出發▲同三時二十分奉天驛御着▲同三時二十五分御假泊所ヤマトホテルへ御歸還

御道筋

一、御假泊所ヤマトホテルより浪速通りを經て奉天驛へ
二、撫順驛ホームより驛前停留場にて御乘車左折して中央大街を直線に事務所前停留所へ
三、炭礦事務所より電車にて東鄕停留場連絡驛、大山炭坑敷島町各停留場御通過高砂町停留場にて御下車古城子露天掘へ
四、露天掘より高砂町停留場にて御乘車右折して大和公園停留場を經て製油工場前停留場御下車製油工場へ
五、製油工場より工場前停留場にて御乘車大和公園高砂町大山坑連絡驛東鄕各停留場御通過炭礦事務所へ
六、炭礦事務所に御晝食後事務所前停留場にて御乘車中央大街を直線に驛前に出て右折して驛前停留場にて御下車
七、撫順驛より孤家子驛へ
八、孤家子驛より奉天へ

奉天に於る秩父宮
(上)奉天神社御禮拜の殿下(下)忠靈塔へ御參拜の殿下

志賀氏を告發

【東京十三日發電】賴母木氏を毆つた政友會志賀和多利氏を民政黨原、小久江、一松の三氏が告發人となり十三日夜東京地方裁判所に傷害罪として告發の手續きをとつた

中央卸賣市場の改善方法を調査
田中市長が近く上京

大連中央卸賣市場の買收問題は石本市長時代からの懸案であり既に成案を得て賠償金十萬圓限度とされてゐたが、この間種々の策謀が行はれ十五萬乃至二十萬等とも噂されてゐた、しかしこの賠償金は直接二十五萬市民に及ぼす利害關係が頗る密接なので充分愼重を要するが、嚴密に論議せば大正三年公布された中央卸賣市場規則により開設滿二年以上を經過せば市は毫も賠償の義務がない事になつてゐる、併しこの六月二十七日で滿二年であるから六月二十七日以後において單一制を斷行すれば石本前市長案の十萬圓もその支出を要せない事になるのでその場合における田中市長の態度は注目されてゐる、ソレかあらぬか田中市長は近々上京し拓務省、商工省方面の意嚮を探り且つ各都市における卸賣市場の實情を調査し最善の改正と妥當な方法を講ずるに至るらしい

慶應捷つ 二A―一で
對明決勝戰に

【東京十三日發電】今春六大學リーグの霸權を決定するものとして全國ファンの血を沸かせる慶明決勝戰は十三日午後三時五分より三萬人の觀衆を前にして池田(球)淺沼、藤田(壘)三氏審判の下に明大先攻で開始、結局二A對一で慶應優勝した得點

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
明大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
慶應	1	1	0	0	0	0	0	0	A	2A

バッテリー(明大)田部、井ノ川(慶大)宮武、岡田(明大)打數三〇、安打六、三振六、失策〇(慶大)打數廿八、安打七、三振二、失策二、閉戰同五時三分

宮內省皇宮警察部柔劍道戰

【東京十三日發電】宮內省皇宮警察部恒例の柔劍道大會は來る十七日(柔道)十八日(劍道)と兩日に分れて宮內省內[illegible]館道場で開催される事となつたが、出場者は各大學專門學校、警視廳、講道館その他地方高段者多數參加するので定めて壯觀を呈するであらうと見られてゐる、なほ殖民地官吏としては柔道六段石田信三(警察)同高野茂義(滿鐵)小[illegible]政(關東州)氏等が勝拔試合に出場する筈である

田山花袋氏逝く
きのふ代々木の自邸で

【東京十三日發電】危篤を傳へられた文士田山花袋氏は十三日午後四時四十分代々木山谷の自邸で逝去した享年六十歲(寫眞は田山氏)

ゆふべ永善舞臺を三十餘名が襲ふ
木戶を突かれたのを遺恨に 場內案內人を袋叩き

十三日午後十時五分、市內奧町支那芝居永善舞臺に某新聞社配達人三十餘名がそれ〲手に鐵棒、棍棒を持つて大擧喊聲を擧げて押しかけ、折柄觀劇滿員の中を木戶番の止めるも肯かず、中に雪崩れ入つて居合せた場內案內人何士林(三七)を屋外に引摺り出し袋叩きにし騷ぐ急を聞いて驅着けた奧町派出所巡捕の手によつて取鎭められた、何は全身に打撲傷を負ひ直ちに奧町普愛病院に擔ぎ込まれたが全治迄二週間を要する、原因は前日同新聞社配達人、市內東鄕町二七李洪州(三七)張玉文(三七)周乃有(三七)等數名が木戶錢を支拂はず入場せんとして被害者何に咎められ口論したが仲裁する者があつて十三日手打することゝなつて其場は收まつたもの丶當日宗教の八時半になつても芝居館から何の挨拶もないのを憤つて大擧して押掛けたものである

賴母木氏毆らる
ゆふべ衆議院休憩の際

【東京十三日發電】十三日午後八時三十五分衆議院休憩の際民政黨より議長席に押掛け島田俊雄氏より首相の出席なきにつき詰問したに對し、賴母木氏は「我黨の工藤君の發言中だから首相の出席なくとも差支へないではないか」と反駁交涉中、突然背後より志賀和多利氏はものをも云はずいきなり椅子に腰掛けてゐた賴母木氏の後頭部を毆打したので賴母木氏は不意を喰つて「何人に何をするか」と亢奮し飛びつかんとして守衞が驅つけ賴母木氏は醫務室にて應急手當を加へたが、氏は嘗て腦溢血を患つた病後のこととて憂慮ではあるが目下口が利けず絕對安靜を保つてゐる

英國三勝す
デ盃對波蘭戰に

【ターキー十二日發電】デ盃戰歐洲ゾーン二回戰英國對ポーランド第二日は左の如く英二勝し、結局三對零で英國勝ち三回戰でアイルランド對墺國の勝者に對するはず

シングルス
シャーペ(英)六―三 六―四 六―二 ストラロー(波)

ダブルス
ゼー・コリン(六―〇)イグナツタ
グレゴリー博士(六―〇)ツワインスキー
アイアン・ジー・コリンス(英)(六―〇)ブゼミスロー・ウオーミンスキ(波)

興行場の改築命令
愈よ本月末を期して發令
三期に分け明年夏迄に完成さす
違反せば興行停止

大日活、常盤座を除く帝國館以下大連市內に於ける全活動常設館及び劇場の改築命令は既報の如く過般來關東廳保安課當局と當業者間と折衝の結果興行場側も既に當局の主旨を諒とし約束通り最近夫々その陳情や條件つきで改築時期を回答して來たので、當課ではいよいよ本月末を期し目下秩父宮殿下御警衞のため沿線出張中の中谷警務局長の歸任を俟つて直に右改築命令を發することとなつた、而してその

順序は 先づ第一回に於て帝國館、歌舞伎座及び支那劇場の永善茶園、次に右各館の改築完成後第二回に浪速館及び高等演藝館を、最後に比較的優良なる常設館、大連劇場の兩者と前後三期に分ちおそくとも明年の夏までには全館の改築工事を完成させる豫定で、當局では先年の例もあり今回は命令に違反する館ある時は興行を停止するといふ斷乎たる處置に出づる筈であるといふ、殊に

第一期 の各館は何れも去る明治四十年頃の建築に成るもので防火、換氣、便所その他興行場たるの條件を殆ど具備せず、また第二回の兩館も前者は第一位置が惡く危險極まる常設館、後者は天井低くまるで穴藏同然の不良館であり、五館は一日も早く大改築を要するものとされてゐる、また第三期の常設館は周圍、便所、[illegible]等、大連劇場は

非常口 その他一部を改造するだけに助かる模樣であるが、更に寄席の遊藝館は頗る變態的な存在であるので現在の階上を階下に變更させる方針であると

錫製食器の改造を命ぜらる
含鉛量が甚だしく有害だと
支那料理店は大痛手

大連署衞生係では市內支那料理店で使用してゐる錫製食器の鉛分含有量につき豫て滿鐵衞生研究所に依賴分析試驗中のところ、この程[illegible]食器の殆ど全部が百分中九十五%乃至八十%といふ多量の鉛分を含有してゐることが發見され、公衆衞生上由々しき問題となつて來た、錫製食器に對する內務省令に依れば百分中二十%以上の鉛を含む材料で食器を作製することを禁ぜられ、また食器の內部は百分中五%以上の鉛分を以つて塗附することを禁じられてゐる、依つて大連署では內務省令に基き十二日午後二時市內支那料理店主百餘名を呼び集め大連衞生主任から向ふ二ケ月間以內に食器の改造方を命じたが、この種有害の錫製食器を使用してゐるは大連警察管內に止らず全滿に及んでゐるものと見られてゐるので近く關東廳から訓令を以つて一齊に改造方を命ずる模樣である

騎手の傷害
レースの縺れから
競馬俱樂部の態度が注目

去る四日星ケ浦競馬場での春季競馬最終日第十二回二千米突新抽籤馬優勝レースにおいて、田中[illegible]騎手の騎乘せる早風と、川合與一郞(二七)騎手の土佐が、決勝點前で大接戰の結果、川合騎手の土佐が首の差をもつて第一着となつた、田中騎手はその際決勝點前で川合騎手がレース內埒より妨害したと異議の申立てをしたが、審[illegible]の結果、つひに滿鐵寄贈の優勝カップは土佐の獲得するところとなつた、それから一週間を經た十一日午前六時半から星ケ浦[illegible]にて川合騎手より田中騎手に對し「先日は どうも濟まなかつた」と謝罪したところ、田中騎手は前記レースを根にもつて矢庭に所持せる鞭で川合騎手の頭部を毆打し、驅人取つ組合ひを演じたが、折よく驅けつけた岡野鎭一氏等によつてやうやく引分けられ、頭部に全治四週間の挫傷を負つた川合騎手は直ちに市內吉野町堀川病院に收容された、一方小河口署では十三日朝それを探知し

各關係者 を目下取調中であるも右事件に對する競馬俱樂部當事者の今後の處置は各方面より注目されてゐる

健康週間
體力測定會の入賞者決定
きのふ發表さる

健康週間に於ける體力測定會の入賞者は、關東廳[illegible]研究所に於て愼重審查の結果、十三日左の如く決定發表されたが、入賞者中住所不明の向あり、至急申出でられ度いと

第一組(十一歲より十三歲迄)被測定者二四一內男一三六、女一〇五)男子一等渡邊俊雄(旅順一中、握力左三八、右四二、肺活量三六三〇、背筋力一〇〇)二等小野原榮(旅順一中)三等、大平修(旅順一中)女子一等、濱田俱子(旅順高女、握力左一七、右二〇、肺活量一九八〇、背筋力六〇)二等佐藤淑子(大連大正校)三等[illegible]トシ子(大連大正校)

第二組(十四歲より十六歲迄)被測定者二〇六名、內男一九一女一五)男子一等浦島卓雄(大連實業社員、握力左六〇、右六〇、肺活量四二六〇、背筋力一九六)二等柿野宏夫(大連二中)三等竹內大三郎(大連一中)女子一等水原滿洲子(旅順高女、握力左三〇、右三四、肺活量二一二六〇)二等田中キヨ(旅順高女)三等山崎政子(大連生徒)

第三組(十七歲より十九歲迄)被測定者一七六、內男一六八女八)男子一等山田源市(御樹屯學生、握力左五七、右六八、肺活量五一三〇、背筋力一七五)二等忽川力(旅順工大)三等西村政平(大連會社員)女子一等守屋龍子(旅順高女、握力右三〇、左三〇、肺活量三七〇〇、背筋力九九)二等堀井とみ(旅順)三等佐々木末子(大連)

第四組(二十歲より二十九歲迄)被測定者數五六六、內男五五九、女七)男子一等山田胤雄(大連西通、會社員、握力右五一、左五七、肺活量五七〇〇、背筋力二一九)二等西澤豐行(旅順)三等佐々木昇(大連)女子一等山本タミ(大連沙見町、事務員、握力右四〇、左二六、肺活量二、九三〇、背筋力一一三)二等長濱洋子(大連)三等坂本タミ(大連)

第五組(三十歲より三十九歲迄、被測定者數三七〇、男三六六、女四)男子一等有田志朗(大連西通、會社員、握力右四五、五三、肺活量五三六〇、背筋力一八六)二等宮崎金三郎(大連)三等早川八十吉(不明)女子一等石田多子(大連月見町、握力右三三、左二六、肺活量二五三〇、背筋力八二)二等佐々木高子(大連)三等人見キヌ(旅順)

第六組(四十歲より四十九歲迄、被測定者數一八六、內男一八五女一)男子一等松原斧吉(大連市山吹町、聖德小學校長、握力右六七、左五[illegible]、肺活量四七〇〇、背筋力一九二)二等加島勳(旅順)三等川本又雄(大連)女子一等廣山カツ(大連北大山通、握力右二八、左二七、肺活量二、二六〇、背筋力七六)

第七組(五十歲より五十九歲迄被測定者數四八名、內男四七女一)男子一等玉城平次郎(大連天神町、會社員、握力右四五、左四四、肺活量三、七六〇、背筋力一九二)二等最上登一(旅順)三等佐々木敏(大連)三等山本千代(旅順松村町、握力右三二、左三一、肺活量一、四〇〇、背筋力九二)

第八組(六十歲以上の者、被測定者一八名、內男一六、女二)男子一等平[illegible]巳之吉(大連聖德街二丁目、水道職人、握力右四六、左三九、肺活量三、九〇〇、背筋力一三六)二等川越鉦之助(大連)三等田中勝太郎、女子一等小島シズ(大連久方町、握力右二八、左二七、肺活量二、〇六〇、背筋力五七)二等山口とよ(旅順)

(備考)右記錄に於ける各項の單位は握力を瓩、肺活量を立方糎、背筋力を瓩にて表現した

故神田男の長男に準禁治產の宣告

【東京十三日發電】我國英學界の先驅者故神田乃武男の長男神田金樹(三七)氏は、家產を蕩盡し三十萬五千圓の負債を生じたので叔父高木勇吉氏の申請により十三日東京區裁判所野田判事より準禁治產の宣告を受けた

同文書院記念式へ

十三日出帆天津丸で奉天盛京時報取締役染谷保藏氏奉天新聞社長佐藤善雄氏、滿鐵學務課囑託岩間德也氏、滿鐵參事三[illegible]義臣氏、哈爾賓成[illegible]東主席宗像金吾氏の一行は南支政狀視察旁々來る十八日上海同文書院の三十周年記念式に出席のため上海に赴いた、同院第一期院長根津氏の銅像除幕式にも參列すると

美貌の連れ子を義父が暴行

山東省泰安府生れ王昭孟(四七)は昨年九月妻を失つたが、妻の連れ子大琴(一七)の美貌に野心を抱き、去る十日の深更つひに無理矢理に目的を達した、大琴は義父の非行に恐怖を抱き實兄[illegible]在忠(二二)と共に許嫁の市內[illegible]町一番地闘慶喜(二三)方に潜伏してゐたが、王は十一日夜八時ごろ二十數名の苦力を引連れて闘方を襲ひ、大琴および實兄[illegible]を縛り上げ小崗子某所に監禁した、[illegible]は苦心の末同夜十一時ごろ同所を逃走し沙河口署にこの旨訴へ出でたので、同署では十二日朝王を逮捕し兄妹兩名の保護を加へてゐる

酌婦の雲隱れ

市內得勝街料理店新月樓へ酌婦十島こと坂田ツジエ(二三)は十二日午後大連婦人病院に入院中姿を晦まし行方不明となつたので樓主は十三日午後四時小崗子署へ搜索願を出した

州內公學堂長會議

關東州內公學堂長會議は來る十六日旅順水師營公學堂に於て開くと

水曜會講演會

市內敷島町基督教青年會社交部にては十四日午後六時より第二水曜會を開催御原農園主[illegible]政雄氏の「滿洲及南洋に於ける余が事業と目的」と題する講演があると

御嶽敎春季大祭

市內入船町御嶽敎關東大敎會にては來る十七日(午後七時より)十八日(正午より)の兩日春季大祭を執行し、參拜者には福引景品を呈するが一等入賞者は五寸の大黑天尊像

最上位稻荷大祭

市內春日町日蓮宗大蓮寺山內安置の最上位經王大菩薩の大祭は來る十五日に執行せらるゝが午後三時法話說敎後種々の餘興があると

古賀辯護士結婚

辯護士古賀元吉氏は今回岡野勇氏夫妻の媒酌により保田茂野孃と婚約成り來る十八日大連神社で華燭の典を擧げ同日午後六時半からヤマトホテルに於て披露の宴を張ると

品名	單位	價格
滿洲檢查特等米	一叺	八圓二十錢
一等白米	一叺	七圓四十錢
桐正宗	一升	八十五錢
サツポロビール	一本	二十七錢
ライオンサイダー	一本	十三錢
內地燒酎(寶印)	一升	一圓
ヘチブドウ酒	一本	八十八錢
キツコーマン醬油	一升	六十錢
同 景品付	一斗樽	四圓七十錢
キツコウ牛特等	一升	五十錢
うづら豆	一升	二十五錢
大納言(小豆)	一升	三十錢
日清サラダ油	一合	九錢
メリケン粉	百匁	六錢
角砂糖	一函	十錢
白砂糖	一斤	八錢
味の素	小かん	一圓十錢
同	中瓶	四十錢
花かつを	一[illegible]	十四錢
梅干	百匁	十錢
椎茸	十匁	十六錢
かんぴよう	百匁	二十五錢
上等のり	一帖	二十五錢
東京たくわん	百匁	九錢
手打玉うどん	五ツ	十錢
なら漬	百匁	三十錢
福神漬	百匁	二十錢
ホシブドウ	一函	十七錢
ロシヤアメ	百匁	十五錢
同	大かん	四十五錢
木炭小丸	一俵	一圓八十錢
朝鮮根別	一俵	一圓二十錢

夕刊 滿洲日報

(日刊)

昭和五年五月十四日　THE MANSHU NIPPO　(水曜日)　第八千六百二十八號　(一)

けふ大詰の特別議會

野黨最後の肉薄
藤澤議長巧に野黨の裏をかき 開會一分間で休憩

【東京十三日發電】政府與黨は絕對多數の力を以て豫算案、法律案全部を一氣に通過し三週間に亙る會期も豫定のプログラム通り進んで愈々十三日特別議會最終日を迎へた、この日衆議院は時に午前十時三十四分より本會議を開いた、野黨は最後の日まで追擊の手を緩めず三土前藏相を先陣に一騎當千の鬪士が經濟決議案に依つて掉尾の肉薄をなすはずでこの外十日から持越された懲罰問題、尾崎行雄氏の小橋問題決議案も引つかゝつて居り、議場は如何なる最後の波瀾を見せるやも知れぬ形勢である

藤澤議長 去る十日の本會議にて一身上の辯明中深澤豐太郎君に對し議長は度々注意を促し中止降壇更に退場を命じたが、之に服しなかつたので議長は深澤君を懲罰委員會に附します、寺田市正君外五名は一身上の辯明を取消されました、之より暫時休憩します

と休憩を宣しさつさと引揚ぐれば野黨側は裏を掻かれて啞然たるものがあつた、時に十時三十五分

合理化の方針は 統制と能率增進
俵商相、質問に答ふ けふの貴族院本會議

【東京十三日發電】最終日の貴族院本會議は午前九時十七分開議、流石に議場は八分通りの盛況を見せ宇垣陸相を除く各大臣も全部出席し緊張味を漂はせる、勝頭林博太郎伯(研)より日程變更の動議が提出され日程第二乃至第十五を先議する事となる、日程第二、請願委員報告、委員長清岡長言子の報告あり、次いで追加豫算案全部即ち日程、第三より第十七までを一括上程し林博太郎伯の報告あり次いで豫算案に對する質問に入り

田中館愛橘氏(無所屬) 政府は色々の合理化運動を企劃してゐる樣であるが單なる概念だけでは合理化は實現出來ぬこれが研究機關の設置とか學究の獎勵とかに關する政府の力の入れ方がどうも足りぬ樣に思はれると冒頭しローマ綴りの原稿を讀みながら人造絹糸、發動機、海軍研究、トーキー等を引例して各種研究機關の充實を力說して政府の所見を訊す

俵商相 政府の産業合理化計畫の根本は企業の統制物質方面の能率增進等であるがまだ學術方面の研究にまで及んでゐない將來は其處まで行きたい

井上藏相 帝大、文部省等の研究費は削つてゐない將來漸次增したいと思つてゐる

志水小一郎氏(研) 政府は統帥權問題に對し殊更に不得要領の態度を執つてゐるがこれは徒らに國民を憤激せしめ議事の進行を妨げるものである(とて同調案決定の經緯「憲法第十一第十二條等につき行はれた問答の內容を繰り返し」)政府は斯かる態度につき反省せぬか

と叱咤する

濱口首相之に對し殆ど從來屢々なせると同樣の答辯を試み要するに今回の協定については政府が全部責任を負ふと突き離せば志水氏なほも前回の質問を繰返して首相に迫り「首相は軍政と軍令との關係を知らぬものだ」と罵り「斯くては軍令部も參謀本部も不用と云ふことになる」と憤慨する

石渡敏一氏(交友) 私は豫算分科會で軍政と軍令との關係その他につき質問せんとしたが政府委員は答へることが出來ぬといふので首相の出席を求めたが、遂に出席せず、質問の職責を盡すことが出來なかつた、之は十二日のことであるが首相は之を如何に見るか

濱口首相 昨日宮中に參內したりした關係で出席出來ず遺憾であつた

宇垣陸相の登院

宇垣陸相は內閣側と政府委員と打ち合せの結果十二日午前初めて病後貴族院本會議に出席した、寫眞中央宇垣陸相(右)幣原外相(左)小泉[illegible]【貴族院本會議大臣席にて】

花井氏最後の 政府攻擊

花井卓藏氏(交) 首相は內閣成立當初の施政演說において軍縮問題に關し「單に軍縮制限にとゞまらず實質的縮小を期するに在り」と述べてゐるが、之は陸海軍共通のものであるから六年度の豫算に陸軍縮小の豫算を提出することを聲明するであらうと信ずる、尙ほ今回の海軍協定の結果どれだけの經費を節約し得且つこれを如何に使用するか

濱口首相 彼の時の軍備に關する分は主として海軍を指すものである、ロンドン協定の結果六年度において保有すべき我海軍は五萬噸を減ずる事になつてゐるがその結果どれだけの經費が減ずるか今申し上げられぬ、然しこの剩餘金は主として負擔輕減に當てる積りである陸軍整理に就ては目下軍政調査會で研究中であつて成るべく六年度豫算に計上したい意嚮である

花井氏 政府は統帥權と編成權に關し卑怯な態度を執つてゐるが何故勇敢に解決しやうとせぬのであるか憲法第十二條の編成權は明かに政府の權限內にあるこれを明確にする事は立憲內閣の責任ではないか(と鋭く本問題の解決を要求した上陸相の病氣缺席を擧げて)要するにこの內閣は軍部大臣が一人も居ない內閣と同樣である

と難ず

濱口首相 軍備に關する御希望は承つて置く憲法の解釋に就ては微妙な關係があるから判り申し上げられぬ

花井氏 統帥權と編成權に就ては學說が色々あるといつて明言せぬが私は立憲政治上の實際運用の事をいつてゐるのである首相が憲法上の解釋を避けねばならぬ苦衷には同情するが早くこの苦衷を取除き立憲政治本來の立場に立たねばならぬ

と意味深長な提言をなして質問を終り引續き

坂本俊篤男 登壇して同問題に對する政府の處置に對し遺憾の意を表しこれにて質問を終り追加豫算案全部を一括して起立に依り採決し大多數を以つて可決これにて現內閣最初の豫算の可決確定を見る次で日程第十六、昭和三年歲入歲出總決算同特別會計歲入歲出決算報告、第十七、昭和三年度國有財產增減計算書報告を一括上程委員長報告通り可決承認し零時十七分休憩

關稅協約實施期の 取消を日本に提議
王外交部長の失態越權を責め 立法院臨時會議決定

【南京十二日發電】本日立法院臨時會議は午前十時より開催、胡漢民氏議長となり日本關稅協定につき討議し、王正廷氏より協定中問題となれる諸點につき

一、協定調印全權の資格は國民政府から與へられた

二、效力發生期を調印後十日後とせるは支那側より提議せるもので實行期の遲れるのは支那側に不利である

三、批准交換の規定を設けなかつたのは予の今日まで締結せる條約は批准され居り今度も同樣と思ひ時に立法院に諮らず予の全權としての裁量で極めた

四、互惠稅品目は財政部と關係委員會で審議したもので支那に取つて不利でない

五、無擔保外債整理承認は國民政府の無擔保外債整理辦法に照らして處置した

と答へたが、立法院側は之に滿足せず

全權は條約調印權はあるも批准權はない、若し日本の批准なき時は支那はどうする

と純理論で王外交部長を追及し、立法院長胡漢民氏は

貴下の辯明は諒とするも貴下の今回の失態越權は立法院として承認し得ぬ、この事は追つて沙汰する

と宣告し、王部長は重ねて

自分の粗忽に對しては政府の命を待つ

と述べ陰惡なる空氣裡に十一時二十五分散會したが、午後「第五條調印後十日目より實施」の項の取消を協議し王部長に同條の改訂方を日本に提議するやう命令するに大體態度決定したと傳へられる

內部不統一暴露
蔣主席に裁斷を仰ぐ

【上海十二日發電】過日調印の日支關稅協定は胡漢民氏一派の王正廷氏攻擊から俄然國民政府の內部不統一を暴露し、立法院は王外交部長に交渉やり直しを命じたと傳へられるが、一部では協定はこのまゝとし王正廷氏の專斷につき引責辭職せしむることに主力を注ぐ立法院の策動と見られてゐるしかし協定全文は蔣介石氏の承認を得たものなので蔣介石氏の歸京するまでには辭表提出等のことはなく國民政府部內でも胡漢民氏等の策動に快からざる者もあるので暗鬪を續けたまゝ蔣介石氏の歸京を待ち最後の裁斷を仰ぐことゝなるであらう

議會通過の諸案と 政府の施行方針
院內閣議で大體決定

【東京十三日發電】政府は十三日の貴族院本會議を以て政府提出案は全部通過することになるので次の閣議にて通過案の整理をなすが十三日の院內閣議にても大體左の決定を見た

△五年度豫算、特別會計豫算の兩追加豫算案は六月一日より實施されるが、豫算を伴ふ法律案の施行にも關係するから速かに上奏御裁可の手續を執る

△豫算を伴ふ法律案

一、義務教育費國庫負擔增額案

一、關稅改正法案

一、製鐵所特別會計に關する法律案

一、賠償金特別會計改正法案

一、朝鮮私鐵補助法改正法案

一、輸出補償法案

の六法律案は追加豫算公布と同時又は公布後に公布すべきもの故五月末までに上奏御裁可の手續を執る

△豫算を伴はぬ法律案

一、盜犯等防止處分法案

一、北海道土功組合法案

一、汚物掃除法改正案

の三案は速かにその手續を執るべきが、盜犯防止案は特に施行期日の定めなきため直に公布の手續を執つても效力の發生は公布の日より二十日の經過を要すべくほゞ六月半ばの見込みである

財部全權あす出發
會議の書類整理も大體完了し 今後の方針をも決定

【ハルビン特電十三日發】議會は閉會し財部全權の希望するロンドン條約は幸ひ政爭の具とならず進むべきコースを辿つた、而して入日來滿鐵理事公館に籠城してゐた財部全權は一行と共に

明十四日 出發に決定したが軍縮條約が假令政爭には引つかゝらなかつたにせよ果して海相の責任を生むことなく圓滿に解決するだらうか、全權は出發に先立ち大體左の如く決意した模樣である

本問題の諸點は軍部と樞府方面の範圍に現在は縮小されたが若し軍令部長が最初の聲明の如く辭任するに至れば相當困難を來すので先づ軍令部長を說得したうへ海相としては歸京後直に元帥、軍事參議官會議の參集を願ひ今回の會議における經過と松平リード案、最後の回訓、日米比率等に海相が全權としての責任を說明し諒解を求める意思である

そのため北滿ホテルでは左近司中將、岩村大佐は全權の報告書を作成するため會議の報告整理を急ぎ連日連夜理事公館で協議を遂げ深更に及ぶこともあつたが

大體完了 した、全權は十

最終日の 議會風景
のんびりした空氣 何となく名殘惜氣

◆…【東京特電十三日發】今議會もいよいよ十三日最終の日になつた、今日を限りの傍聽人は未明三時、四時頃から早くも押しかけて貴衆兩院の外側に蜿蜒長蛇の列を作つた、その中入場を許された者は僅かに何分の一かに過ぎず、他の大部分は交替の幾人かゞ出て來るのを根氣好く待ちかまへて居る。

◆…慣例とあつて貴族院は午前九時、衆議院は同十時開議の豫定先づ貴族院では追加豫算の委員長報告に對し田中館ローマ字博士の例のいともへのんびりした質問が牛の涎のそれの如くだらだら續いて貴族院特有の氣樂さを漂はせる、今議會の最重要案を審議してゐる緊張味は何處にもなく、議場もさながら缺けた櫛の齒の如く纔に定員數を維持してゐるに過ぎない

◆…衆議院は去る十一日の混亂の後を受けて各派交渉はまだ開かれず、議事は果してどう進められるか見當もつかぬうちに、開議したが、藤澤議長はあつさり「政友派の深澤君を懲罰に附す」旨を宣して直ちに休憩、院內各派控室は流石に名殘惜げの漫談に變はし今議會のドタバタもどうやらこのまゝ無事に幕を下しさうな氣配だ

政友代議士會

【東京十三日發電】政友會は十三日午前九時半より院內に代議士會を開催、森幹事長より激勵演說の後、植原悅二郎氏より日支關稅協定につき緊急質問を、又大口喜六氏より英貨價借替につき政府に質す必要あるを述べ十時過散會した

今回は起たず代つて三土前藏相をして提案理由を說明せしめ東武、高山長幸、兒玉右二氏等の精鋭を選り賛成演說をなさしむる事となつた

民政代議士會

【東京十三日發電】民政黨は十三日午前十時代議士會を開き院內の駈引一切を院內總務に一任して最終日に臨むことゝし、次いで富田幹事長より十四日午後四時東京會館に最終議員總會を開く旨報告ありて散會した

附帶決議案文

【東京十三日發電】研究會常務委員並びに公正會特別委員は十三日午前十時義務教育費國庫負擔法中

附帶決議つきで 義教費案を可決
貴族院特別委員會

【東京十三日發電】貴族院の義務教育費特別委員會は十三日午前十一時二十分開會討論に入るや勝頭野村益三子(研究)より別項の如き附帶決議案文を朗讀し「附帶決議を附して承認することゝしたし」と提議し斯波忠三郎男(公正)賛成し他に異議なく遂に附帶決議を附して原案可決午前十時三十五分波瀾を極めた委員會も終に散會した

義教費案の
附帶決議趣旨

【東京十三日發電】研究會では十二日貴族院本會議散會後院內に政務審查部第一(大藏)第三(文部)の聯合會を開き[illegible]の後左の如き附帶決議を附して義務教育費增額案を通過せしむる事を申し合せその旨十三日の總會に報告する事となつた附帶決議の趣旨は左の如くである

一、貴族院は義務教育費國庫負擔法中改正法律案を認むるに當り全額負擔主義若しくは半額負擔主義等の主義を認むるものにあらず

一、政府は將來本案の實施に際し財政の緩急を圖るの要ありと認む

改正法律案に對する附帶決議案文を左の如く決定した

義務教育費國庫負擔法の改正は同法の精神に基き義務教育の完全を期すると共に地方費の輕減を圖るにあるを以てその使用方法及び支出に就ては特に嚴密なる監督をなし國庫負擔法の精神を有效適切に實現せられん事を望む

記者と會見し

余は佛伊間の協定は近く成立するものと確信する、兩國とも極めて厚意的意嚮を有してゐる

と述べた

東京市長辭職 承認

【東京十三日發電】東京市會は十二日午後四時より各派交渉會の後午後六時十五分開會、堀切市長の退職を滿場一致を以て可決し助役の辭任に關しては田中助役の辭任を認め、白上助役を市長代理として居殘らしめることを決議し同四十五分散會したが、引續き全員の協議會を開き各派市長銓衡委員の銓衡を協議するところがあつた

若槻全權
十二日佛國出發

【ネーブルス十二日發電】ロンドンより歸國の途にある若槻全權は十二日夜北野丸に[illegible]港を解纜日本に向つた出發に先立ち氏は新聞

河相外事課長 海相訪問

【ハルビン特電十三日發】關東廳河相外事課長は十二日財部全權を訪問し長官の代理として病氣を見舞ひ約二時間に亙り會談した、全權は同夜武藤野に入木、軍司氏等を招待し酒宴を張つた

豐田大佐等着哈

【ハルビン特電十三日發】財部全權は十四日午前九時十五分發列車で歸京の途に就く事に決定した、尙全權一行の豐田大佐外五名は十三日來哈した

六日京城に齋藤總督を訪問し軍部方面に對し先づ齋藤總督を通じて諒解を求める筈、尙一行に遲れて十五日歐亞聯絡で通過する千代田大佐、齋藤外務省情報部長は京城で全權と一緒になり一路歸京する

經濟決議案
三土氏が說明

【東京十三日發電】政友會は今議會の總決算として最終日の十三日に上程さるべき經濟決議案の提案理由の說明を犬養總裁自らこれに當るべき筈であつたが同總裁は既に議會開會劈頭國務大臣の演說に對する質疑演說に獅子吼したので

國際聯盟理事會
報告される重要問題

【ジュネーヴ十二日發電】第五十九回國際聯盟理事會はいよく本日會期十日間の豫定で開會せられた、今次の理事會は來る九月の聯盟總會を控へての最後の理事會であり前年の總會以來の成績を調査して總會に報告するもので頗る重要視されてゐる、今次の理事會で調査される事案は主としてイギリス勞働黨內閣の主唱になる計畫であるが、その經濟方面の物は大なる故障なく卽ち二年乃至三年の關稅休戰案は僅に一年の間現存の商業條約を安定せしむる協定を得たのみで葬られ、又國際勞働局を通じて全ヨーロッパの炭礦勞働時間を決定せんとの努力も全く失敗となつた、イギリス勞働黨內閣の提案に依る聯盟規約を不戰條約に適應するやう改訂する案は本日まで は兎も角も成功である、特別委員會は聯盟規約中平和解決の總ての努力が失敗に歸した際加盟國が戰爭し得るとの規定を削除し理事會の權限を擴大し戰爭排斥平和方法に依る紛爭解決及び調停的仲裁々判等の規約改訂を研究しこれを今次理事會に報告することになつてゐる

聯盟總會
九月十日開會

【ジュネーヴ十二日發電】國際聯盟事務局は來る九月十日開會の第十一回聯盟總會につき本日關係各

廿日前後に 南北兩軍主力戰
本月中に勝敗決せん

【北平十二日發電】閻錫山氏は十日附隴海線方面總攻擊準備令を發した、正式攻擊令は十五日に發せられる筈で山西軍五ヶ師團も濮氏の指揮下に隴海方面に集中しつゝあり南北軍の主力戰は二十日前後となるべく本月中には勝敗の數略明かとなるべし、尙濮玉祥、鹿鍾麟、孫良誠氏等の各總司令部は中央軍飛行機の爆彈投下を避ける爲め土穴の中に置かれてある

北平に中央黨部
新政府組織の第一歩

【北平十二日發電】反蔣介石各派代表は明日當地で緊急黨務會議を開き北方政府組織の第一步として先づ中央黨部を設立する事となつた、斯て兎角危ぶまれてゐた左右兩派の態度も討蔣の共同目的の爲め殆ど意見の一致を見るに至つた

天津海關の 對抗策
山西派の乘取に

【北平十二日發電】天津海關乘取に失敗した山西側は飽くまで目的を達成せんとしてゐるが海關側では右に對し海關制度維持のため斷然稅關を閉鎖し一時天津の輸入を杜絕せしめても可なりとの最後の對抗策を決定した

關に對し拒絕狀を發した

支那出征部隊 第二回行賞

【東京十三日發電】支那事變出征部隊の論功行賞については陸軍省と內閣賞勳局で慎重調査審議をなし漸く過般第一回(第六師團)の發表をなしたが、此程に至り天津部隊約一千五百名の調査を完了し十二日上奏の手續を執つたので十三日午後か十四日朝ごろ行賞第二回の發表を見ることゝなつた

人事

ばいかる丸 十四日午前八時半大連港外着の豫定

▲磯山愛[illegible]氏(軍縮會議顧問伯爵)十三日出帆香港丸にて內地へ

▲井上匡之助氏(工大學長)同上

▲河盛安之助氏(實業家)同上

▲長谷英夫氏(大連憲兵分隊長)同上

▲吳延請氏(金[illegible]行支配人)同上渡日便船にて米國へ

▲李鵬氏(北平大學敎授)同上

▲京都桃山中學校一行百三十名同上內地へ

▲德島女子師範一行三十名 同上

▲福山師範一行六十五名 同上

▲岩間德也氏(滿鐵囑託)十三日出帆大津丸にて上海へ

▲服部伍三氏(朝鮮銀行上海支店長)同上

▲シーベルズ氏(新任濟南獨逸領事)同上

▲旅順師範學堂一行十三名 同上

▲米國雜誌記者團一行十八名 十三日入港榊丸にて來[illegible]

▲染谷保藏氏(盛京時報副社長)十三日出帆の天津丸にて同文書院創立三十周年記念式へ出席のため上海へ

▲神野良隆氏(青島新聞取締役)同上

大觀小觀

政友會が經濟決議案を出す。大に宜し。ただ決議しただけでは、景氣は恢復せぬと知るべし。

◇

政府も、調査々々に名を藉り、時日を空過せば、飢ゆる者は死に至らん。若かず、何ンなりと經濟策を實行せよ。流儀は兎に角、仕上を拜見せん。尤も、何か事をせば、必ず文句あるは世の中。

◇

文句といへば南京政府、日支關稅協定に四の五のといふ。今に始めぬことながら、全權沙汰などといふに至つては沙汰の限り。

◇

完全な法規も存在せぬところに越權とかいふに至つては、事が支那だけに寧ろ滑稽。

◇

それよりも、南北の抗爭は軍閥の越權ではないか。何ぞ徹底的にこれを懲治せざる。北方聯合軍は徐州、鄭州、蘭[illegible]の線より南軍を驅逐し來るではないか。

天氣豫報

十四日(南西の風)晴後曇

滿潮 午前十一時十分 午後十一時十五分

干潮 午前四時三十分 午後五時四十分

屍山血河 沙河會戰の跡を つぶさに御研究
小丘に立たせられ講話御聽取 秩父宮の御動靜

【奉天特電十三日發】遼陽に御一泊あらせられた秩父宮殿下には十三日朝八時遼陽驛御發、日露戰役の最後の勝敗を決した沙河を挾んで日露兩軍が對峙した沙河會戰の戰蹟御研究のため特別列車にて同四十五分沙河驛に御着、機關銃の彈痕蜂の巣の如く殘る驛北端の建物を御覽あつて驛の東南附近の小丘に立たせられ驛附近の戰鬪につき三宅參謀長より第六師團の主力戰について香月少將よりそれぞれ御講話を御聽取、日露兩軍が屍山血河の跡である驛北岸の地藏村附近の松林を眺めさせられた、わが軍が苦戰した驛の東一里半の萬寶山戰蹟へのお成りはお取止めとなつたが同所より東に廣漠たる奉天平原の彼方、五月の空にみはるかす萬寶山々上の記念碑を眺めさせられつゝ增田砲兵中佐より萬寶山戰鬪につき御講話を御聽取、沙河會戰につき陸大生としての御研究を盡されて同十一時二十五分沙河驛御發、奉天に向はせられた

日支官民奉迎裡に 正午、奉天驛に御着
直ちに奉天神社、忠靈塔に御拜

【奉天特電十三日發】われ等が幾日かお待ち申しあげた秩父宮樣をこゝ奉天の地にお迎へする日は遂に來た、前日來の砂風も今十三日朝はハタとやみ、空は澄渡つて雲影も見ない、燃ゆるがやうな並木の新綠は和やかな初夏の陽に葉裏をひらめかして心ありてか今日の喜びを讃ふるが如くである、驛前より大廣場に至る

御道筋 の兩側には軍隊、在鄕軍人、將校夫人、篤志看護婦、赤十字社員、青年團および醫大、教專以下中、小學生徒、一般市民等實に五千名整然と堵列し、感激に溢れてひたすら鹵道を御待申し上げたが、お召車御到着十分前になれば奉天驛第三ホームには森岡總領事代理、鈴木、荒尾兩少將、村田州三聯隊長、小倉地方事務所長其他、支那側は張學良氏代理王樹常、省政府代表陳文學其他の要人通譯陶尚銘氏等續々入り來り御着車を御待ち申し上げた、殊に士官學校出身の支那武官十數名が殿下と御同窓といふので奉迎したのは特に

異彩を 放つた、かゝるうちを特別列車は靜々と進んで豫定の場所に止まつた、職員奉迎裡に殿下には御召列車最後部より市川鐵道部次長の御先導にて御下車、遼陽までお出迎へ申し上げた森島領事の御紹介にて王樹常以下支那側代表に握手を賜ひたるのち地下道より第一ホームに成らせられ、列立せる陸海軍將校、領事、小倉奉天地方事務所長以下、稻葉醫大學長以下各學校長、教授、野尻地方委員議長以下

二百名 の有資格者に列立賜謁あり、終つて貴賓室に歩を運ばせられ鈴木、荒尾兩少將に賜謁、午後零時七分驛を御出發、松井警部の前驅、中谷警務局長、二宮憲兵隊長、三宅參謀長等を隨へさせ本間御附武官の陪乘にて滿鐵差廻しの緊號ビツタ型自動車に召され浪速通りを奉天神社に向はせられた、折柄吹き起つた旋風の裡に奉迎堵列者は肅として御迎送申し上げた、かくて午後零時十分奉天神社に御着、山內神官御先導、森島總領事代理、守田民會長の御誘導にて

御參拜 を終らせられ、七十歲以上の高齡者に御會釋を賜ひつゝ同十四分御出發、ヤマトホテル前より右折して富士町を忠靈塔に成らせられ、小倉地方事務所長の御先導にて懇ろに英靈を慰められ小倉所長より忠靈塔建設の由來を聞し召されて御退出、再び富士町を經て同二十二分御假泊所ヤマトホテルに入らせられた

森島領事謹話

遼陽まで御出迎へ申上げた森島領事は殿下がヤマトホテルに御入りの後語る

沙河では一般陸大生と共に約二時間に亘り御起立のまゝ日露戰史を御研究遊ばされた、私は車中に伺候して十分間ほど在滿鮮人問題等を御説明申上げたが、殿下には車窓より奉天名物の砂塵を御覽あつて「奉天は埃の多い處だ」とのお言葉があつた

官有土地疑獄事件 大連市長らに波及か
小田澄道氏の召喚訊問により 俄然、檢察局が大活動

噂々傳へられた日華土地株式會社長吉村吉郎らに絡る官有土地拂下疑獄事件はその範圍頗る廣汎に亘り、加ふるに時の高官、有力者をめぐりデリケートな關係を有し幾多の土地疑獄中最大疑獄と見られ、大連地方法院檢察局では慎重な態度を持し、先づ吉村吉郎及び市內錦島町二二七番地錢鈔業中村德藏らを阿片小賣所設置に絡る詐欺被疑で收容爾來鋭意內偵の歩を進めつゝあつたが、十三日遂に檢察局の活動を見るに至り市內西廣場元□□主小田澄道氏を召喚、長時間に亘る證人訊問を行つた、この結果事件は急轉直下進展し前大連民政署長で現大連市長田中千吉氏を初め市內有力者數氏の身邊にも波及するものと見られてゐる

幽靈會社を創立 土地拂下の運動
問題は田中氏の言質

事件の內容を探聞するに、さきに別事件で收容中の吉村吉郎氏は昨年末まで大分縣に於て前關東長官木下謙次郎氏の勢力多分に加はれる大分日々新聞社長の椅子にあつたが、木下氏が關東長官として來任すると同時に新聞社長の椅子を蹴して來連、木下長官を賴つて利權獲得に

奔走し た結果、昨年一月頃、木下長官の□□を持參し當時大連民政署長たりし田中千吉氏と會見、州內における官有土地の獲得を懇願した、而して傳へられるところによれば、その際田中民政署長は吉村氏に對し「滿洲に因緣淺き吉村氏に官有土地を拂下げることは世人から利權運動と見られる恐れあり、幽靈會社でよいから有力者の名を連ねて土地建物會社を創立されよ、然らば適當の便宜を計らう」との言質を與へたと云はれ、依つて吉村氏は小澤太兵衛氏ほか數名の

有力者 を發起人に立て、資本金百萬圓、拂込金二十五萬圓の形式で日華土地建物株式會社と稱する幽靈會社を創立、事務所を目下收容中の市內錦島町二二七番地錢鈔業中村德藏方に置き、おもむろに利權運動に取りかゝつた

支那人に賣却 約十萬圓を利得

先づ土地拂下請願に當つては市內秋月町、王陽街方面の官有土地五千三百餘坪を物色し、日華土地建物會社の敷地名義でこれが拂下方を大連民政署長の手許に提出した、而して田中署長が如何なる理由の下に手續きを取つたか、裏面の消息は司直の取調べをまつより外なきも、兎も角拂下願書の提出されてから間もなく四月と六月の二回に分つて拂下げを受けたものである、目的を遂した吉村らは豫て計畫通り轉賣し漁夫の利を得んと企て、買手を物色中、小田澄道氏が逸早く聞き傳へ當時浪速ホテル滯在中の吉村氏を訪ね、買取方を交渉した結果、小田氏が官廳に納入すべき二萬圓を立替へ、前記拂下を受けた官有土地のブローカーをなす契約を行ひ、一坪十七八圓見當で全額約十萬數千圓で支那人某々等に賣却し詐欺的行爲により莫大の利益を收めたものといはれてゐる

檢察局の廊下で 窃盜被疑者が服毒自殺
犯した罪の呵責に耐へかねて 附添巡査の隙を窺ひ

犯した罪の呵責から檢察局の廊下で附添巡査の隙をうかゞひ毒藥を嚥下、自殺を圖つた犯人がある——市內對馬町松本淸吉（二）は窃盜被疑者として十二日午後五時庄司刑事の手で拘引檢察局において一應取調を行ひ

留置場 に拘留せんとして巡査附添ひの下に檢察局の廊下に出たところ、犯した罪の呵責からか、豫て用意の猫いらず一包を洋服のポケットから取り出し、巡査の目をかすめて嚥下し留置場に入るや「水々々」と訴へるので附添巡査が何氣なく冷水を與へたが、間もなく監房內で苦悶のうめきを洩らしつゝ「政子——假名——濟まぬ〱」と口走りつゝ顏色蒼ざめ苦悶してゐるを發見し、大騷ぎとなり、當直主任屋警部は直ちに香取警察醫を呼びせよ應急手當を加へ、大連醫院に收容したが既に手遲れで同夜七時十分ごろ「濟まぬ〱」と

妻の名 を呼びつゞけつゝ絕命した、急を聞いて驅つけた妻政子が變り果た夫の姿に取りすがりヨヨとばかりに泣き崩れたのも哀れであつた

ハフィス時計　感不動振　振つても落しても止らぬ時計　Hafis

妻の手前を 窃盜を働き繕ふ
徒食するをふかく恥ぢて 覺悟の自殺の淸吉

自殺を圖つた松本淸吉は四月初旬三越ほか數軒で窃盜を働き大連署に檢擧され、同月十二日送局と同時に宅下げとなり、爾來不拘束のまゝ大連地方法院檢察局春木檢察官事務取扱の手で取調べ中であつたが、罪狀明白となり十二日令狀を執行、檢前監刑務支所に收容されんとした矢先、覺悟の自殺を圖つたものである、同人は昨年九月某所を解雇され以來無職に

奔狂し たが思はしからず妻政子——假名——の働きで生計を立てゝゐたが妻の手前徒食するを深く恥ぢ焦燥し、遂に惡いとは知りながら窃盜を働き、得た金で妻の手前をつくろつてゐた淸吉が絕命の際「濟まぬ〱」と口走つてゐたのはこの間の消息を物語るものといはれてゐる

辻强盜 格鬪のうへ捕ふ

十二日午後九時二十分ごろ市內惠比須町四番地先を擧動不審の大男が金袋を擔ぎ暗を縫ふて走つてゆくを大連署の梅村刑事が追跡、格鬪のうへ逮捕し、本署に連行取調ると、この男は市內常盤町無職王吉丕（二）といひ同夜逮捕された現場から東方約三丁の處で通行中の小崗子□□番地雜貨商永盛興方店員王喜□（二）の金袋を强奪逃走中の辻强盜と判明した

米國雜誌記者團 賑々しく來連
華かな婦人を交へ一行十八名 けふ上海から榊丸で

米國著名雜誌記者團一行はレヴユー・オブ・レヴユー社主筆リンゼイ博士夫妻を初めとして十八名、華やかな婦人連も入り交り明るい旅の話材を撒きながら十三日入港の榊丸にて來連した、一行は去る四月十二日日本の櫻花に限りない憧れをもつて横濱に最初の一歩を印したものであるが、その後日本の山に川に數々の

思ひ出 を殘して七日長崎を出帆、八日に上海着、四日目に大連を目指して來たものである、一行中のリーダーとも見るべきリンゼイ氏は鼻眼鏡に晴れやかな微笑を絕えず浮べながら記者に語る 一行の目的は日本の風景人情、近代支那の世相を出來るだけ詳しく見るためで、日本においては春の好季節に惠まれしかも各方面であらゆる歡迎を受け一行は滿足し切つた、殊に

日本は 模倣國で諸外國文化の模倣に對し日本人獨特の國民生活があると聞かされてゐたが事實來て見てそれは巧くコンデンスして全く自分のものにしてしまつてゐるのは驚いた、それに美しい風土とやさしい人情は自國に好い土産が出來たと思つてゐる、上海においては期間が短かつたのであらかじめ打合せ政界、學界その他各方面の知名士に面會出來て結構だつた、新興支那の目覺しい活躍ぶりも一驚に値すると思ふ、支那に對し米國政府は同情をもつて見てゐるが、元來自分の考えとしては南北支那がどうしても統一されねばならぬやうな氣がする、國內戰爭で混亂してゐる際ではないと思ふ、なほ一行は奉天から北平に出る考へだ

一行は 今十三日一旦ヤマトホテルに入り、午後一時四十分埠頭ビルに至り屋上より館野案內係の説明で埠頭を視察、同二時半滿蒙物資館、三時半星ヶ浦ヤマトホテルにおいて宇佐美鐵道部長のテイパーテイに出席夜は七時より滿洲館における仙石總裁の歡迎宴に臨む筈で、十四日はヤマトホテルを午前十時發、龍王塘水源池を視察の後旅順に至り正午關東廳官邸における歡迎宴に出席、午後二時より

博物館 日露戰役記念館、戰蹟等を觀察のうへ歸連、午後六時半よりヤマトホテルにおける晩餐會及び舞踏會に出席、十五日は午前八時四十分ヤマトホテルを出て同九時發列車にて奉天へ向ふ筈である【寫眞は左端リンゼイ博士とその一行】

一行の氏名

▲レヴユー・オブ・レヴユー社リンゼイ氏夫妻▲ネーションビヂネスライター社メイ氏夫妻▲トラベル社フイリツプ氏夫妻▲ワールドトラベラー社ノークロラス氏夫妻▲辯護士會雜誌ロツクーヂ氏夫妻▲タウン・オブ・カントリー社パークリウス夫人▲ニユーヨークタイムス社パレラト氏夫妻▲パーパースマガヂン社フツトマン氏▲アトランチツクマンスリー社セジユイク氏夫妻▲アドラ社ホーラ氏夫妻

オートバイと衝突

市內西通り一二、室內裝飾技術者田中義信は十三日午前八時ごろ讚家屯大連運動場前停留場附近をオートバイにて疾走中、□方より來た自轉車乘り市內西通り渡邊商店職人李昌女（二）と正面衝突し、双方とも跳飛ばされて治療二週間を要する重傷を負ふた

松花江の 汽船引揚に
歐洲サルベーヂ 潛水夫ら來連

十三日入港榊丸にて上海における歐洲サルベーヂ會社のマーシイ氏ほか潛水夫三名が來連したが、彼等は松花江の防備艦隊司令アグライフ氏の依頼を受け今日まで松花江に沈沒した十八隻の大小汽船引揚事業に携はるためで、引揚機も持參し結氷期までには仕事を完成したいといつてゐた、なほ右沈沒船中には數百萬の銀塊を積載してゐるものもあり、これが引揚げに絡つて巷間種々の取沙汰が行はれてゐる

紀州蜜柑の 問屋筋狼狽
共同販賣所設置の阻止運動

大連に於ける紀州蜜柑の取引は從來大連市場組合員中の大手筋十一名が殆ど一手に引受けて取引してゐたが、原産地の卸元では今回取引の都合上大連に共同販賣所を設置しこれを直營するとの議起り目下準備中で今秋までには實現するやの模樣なので、これを聞知した大連の問屋筋では大いに狼狽し自衞上右設置の防遏かたく\大谷、吉田兩商店、協和洋行、金生祥、同昌福、同德號の七名は阻止運動のため七日秘密裡に紀州へ向け出發した、なほ前記原産地の共同販賣所の設置が實現すれば市場改善上に相當のショックを與へるものと觀られてゐる

多勢の苦力 邦人を傷く
きのふ北崗子で

大連管內甘井子北田某方山田任三（三）は、十二日午後八時ごろ市內北崗子海岸護岸工事場附近を通行中、同所で作業中の多數の苦力が同人を罵倒して投石したのに端を發してつひに大亂鬪を演じ、山田は石塊、棍棒をもつて毆打され全身十數ヶ所に打撲傷を受けた、一方山田はこれを防がんため所持してをつた小刀やうの刃物を振り廻し、苦力田忠芳（三）の胸部に刺傷を負はせたが、小崗子署では目下關係者取調中

慶大選手 出場に決定
極東大會豫選

【東京十三日發電】日本學生陸上競技聯盟豫選大會における慶大チームの出場停止によつて慶大の極東大會出場を危ぶまれ斯界の注視の的となつてゐたが、關東陸上競技會では慶大の山本、小野、津田、齋藤、板東の五選手に對し極東大會全日本豫選へ出場の資格を與へられたいと全日本陸上競技聯盟に推薦したので、同聯盟では十二日午後六時から開いた極東大會準備委員會に於て協議の結果、これを承認することに決定した、これによつて慶大からは既に關東豫選に通過せる北本、阿武二選手を加へた七名の優秀選手を全日本豫選に送ることが出來全國ファンの期待が酬いられたわけである

關西大學生 鮮滿踏破
大連着は廿日頃

關西大學山岳部々員山下八壽男、佐藤元一、石井三郎の三君は去る三月四日釜山を發し徒歩にて朝鮮半島を縱斷し四月十九日新義州に到着、再び徒歩にて奉天經由五月二十日ころ大連到着の豫定であるが、一行は一日行程約三十哩で釜山、京城、元山、金剛山、新安州、新義州を經て奉天より南下のコースをとり、當地關大同窓會では三君到着後歡迎會を催す由

艶色生膽秘譚（110）

伊藤松雄作　河原擧總太郎畫

品川沖（六）

「■佐……お仙？」

右近は怒るかと思ひのほか、聊かおちぬらしく眉をひそめた。

「追分泊でな、右近殿、よもや知らぬとは仰有るまいが」

「存ぜぬ喃」

ポンとつゝぱなしてニヤリと笑つた。

「え？」

「異なことを云はるゝ」

「いゝや淺沼屋へ泊られたことがござらうがな」

「おお、あの朝のことか！」

右近は膝さへたてゝクツクツと笑つた。

で、碓氷峠の權現前、休息茶屋あづまで聲かけられた女を想ひ出したのである。

「關川殿は其女の御縁邊かた？」

關川は不意をつかれて僞にもなく顔を赧めた。

「いま一度、芝山内にてめぐりあはれたこともござるよ、御存知かな、鶏籠の怪死が行はれた朝のことでな」

そこへ酒が運ばれた。

關川は唇をつぐむで考へこんだ

「右近の言葉を信ずるならば、お仙はいまだに左近をのみ戀慕ふて、しかもめぐり逢の日を求めてゐるに違ひない。ようし、この右近へ巧にとりいり左近の身代りとしてお仙を囚へてやらうか。しかも一方この右近の行方をつきとめたと波多野の娘妙香にしらせ、恩を賣るも上策々々、ふン、討つ討たれるは御勝手次第だ」

關川は急におちつきはらつて盃をとりあげた。

處が右近はまたから考へてゐた

「左近を知つてゐるからにはこやつ一通りならぬ男に違ひない。關川！とやら云つたな、おお、湯島あたりに住まふ阿闍陀醫者か、さすれば成程、兄左近が一味徒黨の一人であらうよ。よしこやつを巧に抱きこめば兄の住家は勿論、その消息も知れるに違ひない」

そこで二人は互の思惑をひたかくしにしつゝ酒を酌むだ。

程よく酔ひが廻つた頃である。

「右近殿、御存知かた？御兄上左近殿に命までと戀して居る女人のござるを」

「ほう、大層戀しはついて居る、幾度かそれがしを兄と見間違はれて居る女、それ先程申した」

「ふうむ！」

「おゝ、それ、お仙でござるよ」

「そこで御相談ぢや、右近殿、一芝居、濡れ場でござるが、おうちなさらぬか？」

「なんと仰ある？」

關川は聲を出して笑つた。

「お仙めを貴殿が思ふまゝ翫弄なさるのぢや」

「え？」

右近は左近の一味とのみ思いこんで居る關川の言葉だけにそのまゝは信じなかつた。

「お疑ひかな、さやう、それがし以前は御兄上左近殿とも志をひとしうした折もござつたがいまは敵

味方も同然でござるよ」

「ほう！」

右近は力負けがした形ちである

「敵味方と云はれるか？」

「左様！」

「では、それがしと兄左近との間柄を■存知でさう仰せあるか？」

「さゝう、よくは存じませぬが」

關川わざつと言葉を濁したが、妙香のことにふれてはならぬからであつた。

「これは愈々面白い、奇遇ぢや、それがしは■生兒とは申せ兄左近を仇敵とつけねらつて居る間柄である」

關川いよく右近が自分の思ふ壺にはまつて來たことをよろこばずにはゐられなかつた。

きのふ・けふ 昇之助の初日を聴く

遅れて昇光の「御所」から聴く、見受けた處十七八で、此の前來た■玉を思はせる様なタイプである。充分一杯に張つて、大きく語つて居た處大受けであつた。しかし、少し喉を痛めて居たらしく、幾分苦しさうで、きのどくであつた。

小登昇の「朝顔」前席で昇光の三味線小登昇、非常に達者なもの三味線を動めて、直ぐ太夫に早替り御苦勞千萬、ヤどくくした語り口殊に人形の語り分けは極めて巧みであつた、其の上大■新六の三味線に引き立てられ、一段と光彩を放ち、満場をウナラせたのは大出來。

放駒の「櫻田快擧」を聴く、有村次左衛門生ひ立ちの場であつたが義太夫と異り、浪曲である爲氣分が一轉して非常に面白かつた。最後に一語、言葉の異ひが有つたが誰も氣附かず、面白く聴いて居た。義太夫浪曲、今までにない面白い取合せである。

昇之助をきく、レコードでは深いナジミではあるが、實演は初めてである。吾々同好者としては嘗て接した事のない、本格的な淨瑠璃に接した感があつた。非常な力演で、クセやケレンのない、眞直ぐな處は、先きに來た■司、小仕一行とは又別な甘い味を持つて居た。

昇之助の十八番「太十」を期待する（ヤ）

梅若流謡曲會

梅若萬三郎氏の高弟、難喉權九郎天野米太郎兩氏の來連を機として梅若流岳颯會主催、同絲葉會、同丁々會、同白水會後援のもとに來る十七日午後六時から市内浪速町扇芳亭において謡曲演奏會を開催するが會費一圓、番組は

▲素謡＝蟬丸（渡邊三作、■■與三郎）頼政（久世哲三、長濱俊三）角田川（長濱五六、天野米太郎、難喉松樓、岩村楓處）山姥（天野梅径、難喉■九郎、■池如岳）▲仕舞＝清經（久世哲三）■の段（天野米太郎）附祝言

演藝日記

▲五月十一日　大連神社祭禮に遠慮して十一日から開演した歌舞伎座の昇之助一行、八時前に大入滿員、棧敷のドウスル連の間で盛んに二十年前の女義太夫盛なりし頃の江戸思ひ出話がはずんで居た■常盤座の「アスファルト」俄然好評を博して久しぶりにあのモダンな入口の柱に古風な大入の札が立てかけられて居る。

◇◇愛戀序曲◇◇

松竹蒲田作品、重宗務監督、柳咲子、八雲惠美子主演、島田嘉七、木村健兒、二葉かほる助演、戀に破れし美しく優しき乙女の、切なくも苦しき春宵桃色の物語り。帝國館上映中【寫眞は島田嘉七と柳咲子】

ラヂオ

大連　JQAK

五月十四日午後七時

▲英語講座、第四■■大連商業學校上村又一

▲トリオ　ハイドン作品三〇番ヴアイオリン岩■■、アレグロ・アンダンテー、セロフランツ・スカルスキー、ピバーセ、ピアノニコライペトロフ

▲新内「石川五右衛門雛子實の段」

▲脚本朗讀「或る日曜」田代賢二

▲彈語り原出しげ

▲料理献立

▲天氣豫報

▲ラヂオ體操

東京　JOAK

十四日午後六時二十五分

▲講演「狂犬病の豫防に就て」警視廳技師鎗甲林助

▲大角力觸太鼓東京大角力呼出連中

▲小唄一、五月雨二、わしが在所唄小唄幸兵衛三、緋鹿の子三味線同幸遊四、やくのは野暮同幸喜美五、神樂ばやし六、吉三

▲狂言「ロツレ」シテ多々良俊三、アト吉野徳三郎、コアト村田駒吉

▲常磐津「お染久松」淨瑠璃常磐津仲太夫、同■太夫、同兼喜太夫三味線同小和佐、上調子同都糸治

囁話

連鎖街常盤座では斷然洋畫主義を採る事に決定し、來週の呼物には怪奇映畫として内地で好評を博した「ザイレント・ハウス」か又はドイツの醫學的性映畫かを入れやうと計畫中▲その常盤座の樂■■はかねて内地で募集中であつたが、約二十名近く集まつたので、本月末か、おそくとも來月上旬には大連へ着く豫定▲「大忠臣藏」で驚倒的人氣を呼んで居る大日活では今度正式に全滿日活■■配給權を得たので、近日中に多數のプリントが到着する筈で▲其配給打合せの爲近日中に林氏が沿線へ出張するとの事▲青島、天津方面へ旅行中であつた南帝國館主、及び中野松竹事務員は昨日歸連したが再び今日出帆の天津丸で青島へ借金取立てに出發をした▲目下常盤座で好評中のアスファルトを持つて來たウーファー代理店の川喜田氏は今日出帆の香港丸で目出度内地に歸つて行つた▲十二日の市内各館は三業組合の爲に協定の上料金を割引し、慰安日のねーさん方を優待した

滿洲日報
（日刊）　（明治四十年十一月三日第三種郵便物認可）　昭和五年五月十四日　THE MANSHU NIPPU　（水曜日）　第八千六百二十八號　（一）

新綠のランデブーには！

好評嘖々 中間物選集

ぜひ、此の選集を忘れ給ふな。これはすべて、近代人の趣味と教養を現はす携帶本であり。最初の接吻に先だつて語らるべき知識の泉である。

著者	書名
柳澤健	巴里を語る
石川欣一	山へ入る日
淺原六朗	都會の點描派
新居格	近代明色
ささきふさ	或る斷層
下村千秋	月寒の女
林房雄	都會の論理
小島政二郎	場末風流
片岡鐵兵	彼女等と語る時
下田將美	東京と大阪
長田幹彦	女優部屋
酒井眞人	映寫幕上の獨裁者
丸木砂土	變な笑ひ顏で

携帶至便、各册三百頁以上 四六判並製 定價八十錢 送料內地六錢 滿鮮十二錢

東京丸ビル 中央公論社 振替東京三四番

宮內省監修

大日本雄辯會講談社編纂

題字 元帥海軍大將 東鄉平八郎閣下　題字 元帥陸軍大將 奧保鞏閣下　題字 樞密院議長 倉富勇三郎閣下　題字 元帥陸軍大將 上原勇作閣下　題字 侍從武官長陸軍大將 奈良武次閣下　題字 侍從長海軍大將 鈴木貫太郎閣下　題字 司法大臣 一戶兵衛閣下　序文 宮內大臣 一木喜德郞閣下　緒言 宮內次官 關屋貞三郎閣下　裝幀 帝室技藝員 川合玉堂畫伯

昭和天覽試合

（別卷大附錄）武道寶鑑

萬代に輝く國寶的大出版！ 無上の光榮に感激し、朝國の至誠を以て破天荒の大廉價提供！

見よ！日本精神の精華

修養錬膽、思想淨化の大寶籍！

痛快壯烈！血湧き肉躍る大試合大奮戰！

面白い！老若男女誰にも面白い

宮內省特別御貸下げの貴重寫眞數百葉、實況眞に見るが如し！

嘉納治五郎氏　範士高野佐三郎氏　九段山下義韶氏　範士中山博道氏　九段磯貝一氏　範士門奈正氏　六段栗原民雄氏　範士持田盛二氏　四段木原久夫氏　三段横山永十氏　少佐江口卯吉氏

本卷內容（概略）

試合第一日
○劍道指定選士試合解說 ○劍道府縣選士試合解說 ○柔道指定選士試合解說 ○柔道府縣選士試合解說

試合第二日
○劍道府縣選士準々決勝試合 ○劍道指定選士準々決勝試合 ○劍道府縣選士準決勝試合 ○劍道指定選士準決勝試合 ○劍道府縣選士決勝試合 ○劍道指定選士決勝試合 ○柔道府縣選士準決勝試合 ○柔道指定選士準決勝試合 ○柔道府縣選士決勝試合 ○柔道指定選士決勝試合
○名士の感想（二十五名家） ○武道家の感想（十六名家） ○役員の感想（十一名家） ○審判員の感想（二十名家） ○出場選手の感想

回顧座談會
大官名士、武道大家出席 柔道の部・劍道の部、宮內省

血湧き肉躍る！ 美談逸話
○痛快無比、門奈範士六十八人斬 ○この父にこの子、高橋赳太郎氏 ○咽喉を突かれて發奮、高野範士 ○三橋三郎の一人川崎善三郎氏 ○中山博道氏技心兩道の惱み ○檜山義質氏苦心修行物語 ○師を倒した小川金之助氏 ○日本晴の大試合、山下義韶氏 ○一瞬の法悅境、永岡秀一氏 ○同門勝負の綾へ、佐村氏 ○首切りの稽古、飯塚國三郎氏 ○先立つ者の苦心、磯貝一氏 ○講道館の名を、村上邦夫氏 ○最初の挑戰、中野正三氏 ○折れし肋骨、橋本正次郎氏 ○二十七歲で教士湘田捨次郎氏 ○警察の三原鐵近江氏 ○今武藏こと大島治喜太氏 ○國粹士佐犬の如き千頭直之氏 ○武術の畏影江口河野兩少佐 ○花も實もある村治清次郎氏 ○白虎隊の若者の話に村松力氏 ○阿部兄弟合せて實に二十段 ○福岡右衞門こと古澤勘兵衞氏
○亡き母の一言、後藤素直氏 ○試合の錦、山口孫作氏 ○上州武道の建設、宮澤傳八氏 ○移變の一語、佐藤幸平氏 ○雙手突の達人、納富五雄氏 ○生死岸頭に開く心眼渡邊淨氏 ○若肉の策、岡野裕雄氏 ○竹刀割りし手ら、堀正平氏 ——外金玉篇澤山

譽れの選士 出世講談
粒々苦心になる不朽の大講談！
○持田範士と高野範士 ——桃川如燕演 ○栗原六段と牛島五段 ——神田伯龍演 ○畑生選士と本多選士 ——松林伯知演 ○横山選士と北見選士 ——大島伯鶴演 ○木原選士と山川選士 ——昇龍齋貞丈演 ○島崎選士と吉田選士 ——一龍齋貞山演

別卷內容（概略）

○日本帝國劍道形 高野佐三郎・中山博道 ○柔道古式の形 嘉納治五郎・山下義韶
○日本精神と武道…頁堅宗三郎 ○武勳則武道…小笠原長生 ○文武兩道…澁谷溫 ○心の鍊つき…丸山鶴吉 ○處世と武道…瀧澤榮一 ○武道の鍛錬…本郷房太郎
○武藝上達の秘訣 ——古今名人達人の秘錄公開 ○武藝極意の歌 ——古今名人達人の秘傳公開
○劍道稽古の心得 ……高野佐三郎 ○劍道試合の心得 ……中山博道 ○劍道指導の心得 ……小川金之助 ○劍道審判の心得 ……齋野・中山・齋村
○柔道稽古の心得 ……永岡秀一 ○柔道試合の心得 ……飯塚國三郎 ○柔道指導の心得 ……磯貝一 ○柔道審判の心得 ……山下・永岡・村上
▲劍道家及柔道家分布圖 折込 ▲劍道及柔道各流派系圖一覽 別表 ▲武道家寶鑑（三段以上壹萬餘人 全國調査）

彪然實に壹千六百頁（本卷壹千四十餘頁 別卷四百六十餘頁 —外に口繪寫眞數百葉） 本卷別卷とも菊判（タテ七寸五分 ヨコ五寸） 天金函入、表紙金箔押、厚綠布裝壯麗

優に拾圓以上の價値 大奉仕參圓八十錢

送料 內地五十四錢 滿鮮樺太八十五錢

全國書店にあり！

◎機會は今！一家一册即刻お求めあれ！ 東京本郷 大日本雄辯會講談社 振替東京三九三〇

ライオン齒磨

新品進呈 ライオン齒磨煉チューブ入の總容量十三ミリを購買されたる方は…（以下不鮮明）

ライオン齒磨の比類無き近代性は、
その效果に
その香氣に
その味はひに
その色あひに
その齒ざはりに
現代の若き方々の此上も無き愛好を受く。

ライオン齒磨本舖 株式會社 小林商店

33—4.5

最新刊

著者	書名	定價・送料
內山賢次譯	グレートラブ	實價一圓五十錢送料六錢
和田軌一郎著	若き（ソヴエートと彼女）	實價一圓二十六錢送料六錢
里見岸雄著	日本前史を総（るを）	實價一圓五十七錢送料八錢
頭山滿著	幕末三舟傳	實價一圓八十九錢送料十二錢
服部信光著	世の母に答へて	實價一圓五十七錢送料十二錢
エス・コ・ウイッテ著 荒川實譯	さればロシヤは敗れたり	實價一圓二十六錢送料八錢
リンゼク著 原田實譯	友愛結婚	實價一圓八十九錢送料十二錢
群司次郎著	ミスニツポン日本孃	實價一圓六十八錢送料十錢
小笠原長生著	擊滅	實價一圓八十九錢送料十二錢
里見岸雄著	國體に對する疑惑	實價一圓五十七錢送料八錢
三井甲之著	手のひら療治	實價一圓五十七錢送料八錢
里見岸雄著	天皇とプロレタリア	實價一圓五十七錢送料八錢
村田孜郞著	支那の左翼戰線	實價一圓五十七錢送料八錢
福永渙著	ガンヂーは叫ぶ	實價一圓五十七錢送料八錢
藤村作編	日本文學聯講（第三期）（近世）下	實價一圓六十七錢送料八錢
北尾鐐之助著	小型映畫の研究	實價三圓六十七錢送料十六錢
關正著	解剖學	實價六圓三十錢送料二十錢

大連市大山通 滿書堂書籍部

最新刊

著者	書名	定價・送料
鈴木貞山著	滿鮮巡り（ゴルフの旅）	實價一圓十錢送料十錢
小林行昌	關稅と物價	實價二圓六十二錢送料十六錢
カルヴァート著	處女なき國	實價一圓二十六錢送料六錢
山田親郞著	模型の面白い設計と工作	實價一圓五十七錢送料八錢
野中雅士著	鐘紡の解剖	實價一圓十錢送料八錢
小島八平著	山東案內	實價一圓送料六錢
服部第二郎著	榮養と合理料法	實價二圓九十四錢送料十錢
橋本良平著	現代の株式會社	實價一圓八十九錢送料八錢
尾崎關太郎著	生活の合理化	實價一圓送料六錢
藤森成吉著	何か彼女をそうさせたか	實價五十二錢送料四錢
山川獸原著	原色貝類圖	實價一圓七十八錢送料六錢
權友會著	合作品の選擇及榮養價計算早見表	實價一圓五十七錢送料六錢
小堺宇市著	圖畫の鑑賞教育	實價二圓四十一錢送料十四錢
北尾鐐之助著	小型映畫の研究	實價三圓六十七錢送料十四錢
小川格重著	めでたき風景	實價一圓五十七錢送料六錢
鐵道省著	日本案內（朝鮮滿洲 中國 東）	實價四圓六十二錢送料十錢
鐵道省著	同（東北篇）	實價一圓八十九錢送料六錢

大阪屋號書店

餅は……餅屋へ

煖房 衛生 工事の御用命は

大連市西通 高石商會 電話（……）

一、資本金 二百萬圓（拂込濟）

大連市西通

株式會社 大連商業銀行

電話

一般銀行業務滿貫に御取扱可申候

塗料

パインペイント

滿洲

顔料

大連　上海　天津　哈爾濱

社説
外客招致策 相當に設備せよ

不景氣風の吹き荒む砌り、日本內地でも、外客招致といふことに力を入れ、鐵道省に觀光局なるものが出來たほどである。わが大連、旅順でも、徒らに不景氣、不景氣と喞つてゐるより、外客招致の施設でもしたら、景氣挽回策としても面白かるべしとの議論もある。無論、旅順、大連で外客といふ場合いはゆる西洋人ばかりでなく大に支那人をも招致するとに努力せねばならぬ、が、さて然らば如何なる施設をなすべきか。それは、相當の研究なり、調査なりを必要とする。が併し、遷延しては時期を失し、また不景氣挽回の効能など期すべくもないことになる大方針さへ決定せば、善は急げで手ッ取り早く、この夏期からでも相當の施設をなすことは、面白いことではあるまいか。

◇

旅順と大連、滿蒙、否、北支那を通じての勝地である。山あり海あり、この勝地、多はとにかく、春から夏、秋にかけて、この天然の勝地を利用し、この旅大の地に定住者以外、外來客を招致することに努力することは、この旅順、大連を繁榮に導く所以となる。併し、如何に山水の景勝に富んでゐるとしても、そこに何らの施設がないならば、外客を招致することは不可能に屬する。適當の娛樂機關境を出現せしめて、それに外客を誘引することに努力せねばならぬ。かくて外客が、この旅大において、夏期の大部分を銷消するやうになれば、經濟上の取引なども次第に增加し、經濟都市としての發達向上を促進する助けともなることと、信ぜられる。

◇

上海に競馬場あり、哈爾賓の夜が話の種子になる。が併し、日本には取締りの法規があり、カフエー一ッ許可するにも、相當の手續を要する。餘りに射倖心を挑發するやうなこと、また餘りに淫蕩氣分を煽るが如きことは、いかに旅大が繁昌するからとて、これを差し許すこともならず、そこにデリケートな苦心を必要とすることになるが、角を矯めんとして牛を殺すやうなことに陷つては相濟まぬ寬嚴、よろしきを得ねばといふがそれが實際問題になると、なかなか困難。だが、この關東州は日本內地と異つたところであり、その邊に特に考慮すべき餘地の存するのではあるまいか。取締りは嚴重にせねばならぬ。が、寬大にすべきところは出來るだけ寬大にせねばならぬ。

◇

旅順、大連は景勝の地であるだけに、要塞地帶に編入され、殊に旅順の如きは、その市內にも廣大なる軍用地が殘されてある。その全部を開放せよなどといふことは申さぬが、何とかもう少し開放的に取扱はれぬものであらうか。何も、必ず永久的とはいはぬが、夏場だけにても、とにかく一時的の解除といふやうなことが出來ぬものか。軍隊の方には軍隊の方で、いろいろの都合もあり、また機密もあるであらうが、市街の眞ン中に草ぼうぼうなる空地の存するなどは、如何のものにや。一時、一般に開放しても、また必要とあらばこれを强制徵收するの辦法も存するのであるから、出來ることなら狹い關東州の地面を、成るべく一般に開放するやうな手續を採つて貰ひたいものである。

◇

この旅順、大連の地に、一人も多く外客、歐米人は更なり、お隣りの支那人でも、成るべく多く招致せんとするには、現狀のままでは問題にならぬ。勿論、まづ第一に交通機關を整備すると。而して旅館、その旅館も、相當の設備のあるものなるとを必要とする。ところで、その旅館、旅館附屬の設備を、如何の程度で許可するやといふやうなとは、特別に研究を要することとして、とにかく自然そのままで今日の外客、物質文明とやらに生活してゐる外客を招致することは不可能である。海老で鯛といふのではないが、何らかの設備を以て、不景氣なる昨今、一人でも多く外客を招致することは、結局、旅順、大連を繁榮に導く所以とはなるのであるまいか。

目下の方法以外には外國にも良策なし
失業問題に關して安達內相答ふ
十二日午後の貴族院本會議

【東京十二日發電】貴族院本會議は午後二時再開、與平昌恭伯登壇したが同伯の質問は日本共產黨に關連するものであり且つ安達內相の要求ありたる爲め德川議長 之れより秘密會と致します と宣し直ちに秘密會に入る、而して秘密會は二時四十分終了午前に引續き

金杉英五郞氏 小久保君の首相に對する大義名分に反する云々の言は不穩當と思はれる、議長に於ても左樣思はれるならば取り消させるが至當である

と念を押した上國民の保健問題につき訊し

安達內相 保健機關の擴張に就ては一層努力する積りであるが最も大切なるは衞生思想の普及であると信ずるから鋭意之れが普及に努めてゐる

高橋琢也氏(交) 幾多の國難の中失業、思想、國防、疑獄經濟の五國難が最も重大であるが政府は之れに對して如何なる策を有するか(と冒頭し)幣原外相はロンドン會議が決裂すれば建艦競爭が起るだらうと云つたがそんな事はあるまい(と述べ)更に勞働省の設置、社會政策其の他數多の問題を蒸し返した上)政府は失業問題が出ると直ぐ策がないと云ふが、今回增額の一千萬圓の義務敎育費は寧ろ失業對策に用ふべきではないか と絡んで一時間以上に亙るダラダラの質問を終る

安達內相 失業問題は濱口首相や文相から答へた通りであるが之れは却々六ケ敷い問題で目下政府が執りつゝある方法以外には外國も良策がない樣である若し政府の對策が不可なれば方策を御示し願ひ度い、思想問題に就ては思想を以つてするのが適當と思ふ

高橋氏 外國と我國とは事情を異にする(と威丈高となり)對策がないと云ふが無いのではなく作らないのだ

安達內相 高橋君は外國の例に於て失業問題と救護法とを混同してゐる

と應酬したほか矢吹海軍、林山商工、永井外務各政務次官より夫々答辯する處あり、高橋氏更に金解禁問題を持ち出せば德川議長「質問の範圍外に亙らぬ樣に」と注意する

代つて

加納治五郞氏(同和) 文相にお尋ねする、今日の敎育狀[illegible]は實際[illegible]策を懸け離れてゐる、文部省は敎育の根本的立て直しのため國立敎育研究所を設置する意思なきや、又大學始め各學校の監督方法を監督する意思なきや、文理科大學は眞の敎育者養成の最高學府として始めて意義あり、現在の如き大學令に依る帝大の文科理科の如きものでは何等存在の意義がない、之れを改革して眞の敎育大學又は師範大學となす意思なきや、尙ほ高等學校制度統一の意思なきや

田中文相 一、國立敎育研究所設置は希望してゐるが其の內容を申し上ぐる程度に達してゐない

二、文理科大學に就ては同感であつて今後其の方針に向つて努力する

三、但し學內に高等學校を併置する事に就ては明確に意見を述べ難い、高等學校制度に就ても十分研究して見たい

と逐條的に答辯をなし六時十三分散會を宣す

全國御陵に勅使御差遣
代拜せしめられ給ふ

【東京十二日發電】祖宗御崇拜の念篤く在します天皇陛下には今回天皇、皇后陵百八十八陵に向つて勅使を御差遣代拜せしめられ給ふことに御決定、十三日午前十時土屋侍從が奈良方面に出向、神武陵外二十三方の御陵參拜を第一回に、第二回は八名の侍從が今年中に全國御陵に參拜することゝなつた

秩父宮殿下 鞍山製鐵所御成り

婦人公民權案 審議未了

【東京十三日發電】貴族院の婦人公民權特別委員會は十三日午前十時十五分開會、阪本釤之助、金子元三郞、塚本淸治、高橋琢也氏等と齋藤、野村兩政府委員間に問答あり午前十一時二十分休憩したが本日中再開の運びに至らぬに決定し、結局同案は審議未了にて貴族院で握り潰しの運命となつた

少年禁酒法案 握潰し

【東京十三日發電】衆議院の未成年者禁酒法改正特別委員會は十三日午前十時半開會、質問應答あり十一時半一旦休憩再開後討論終結原案可決され同五十分散會したが本會議には上程するに至らず握り潰しの運命となつた

不景氣對策の建議案提出
超黨派的の見地から 十三日貴院本會議に

【東京十二日發電】深刻化しつゝある財界不況並びに失業問題の重大化に鑑み貴族院研究會、交友俱樂部方面に超黨派的見地より財界恢復失業救濟に關し政府をして何等かの對應策を講ぜしむべしとなし十三日の本會議に緊急決議案を上程せしめんとの運動が續けられてゐたが、研究會では十二日午後院內に常務委員會並に協議員會を開き協議の結果決議案よりも寧ろ各派を纏める上から建議案として提出するに決し、西尾忠方子をして各派に交涉せしめた、提案者は各派交涉委員とし十三日早朝事務局に提出本會議に緊急上程さるゝ筈で建議案は「中小產業者並びに失業者に關する建議案」とし右提案理由說明者は研究會林博太郞伯と決定した

追加豫算案を原案通可決
貴族院の豫算總會

【東京十二日發電】貴族院豫算總會は十二日午後一時五十一分開會各分科主査の報告ありて後

[illegible]谷芳郎男(公) 米穀法の運用に關する政府の對策如何

町田農相 米穀法は從來のまゝで運用困難である、米穀調査會の答申に基く新米穀法の成立を欲する

阪谷男 滿洲に於ける朝鮮人迫害問題に對する政府の對策如何

幣原外相 在滿朝鮮人の小作人と地主とが經濟上の問題で軋轢を生じてゐるが夫れに就て我領事が仲裁してゐる

阪谷男 蒙古の阿片[illegible]の現況如何

松田拓相 一層取締りを嚴重にし之れが防止の完璧に努めてゐる

斯くて午後三時二十五分より四時十分まで休憩、再開討論に入り次で採決の結果全會一致第一分科提出の希望決議を附し昭和五年度追加豫算案を原案通り可決し午後四時三十七分散會

義務敎育費增額案の附帶決議文內容
十三日貴院を通過すべき

【東京十二日發電】貴族院を通過すべき義務敎育國庫負擔增額案に對する附帶決議文に就ては、提案者たる研究會並びに公正會にても折衝を續けてゐるが、其の骨子たるは「地方費の膨脹を防ぎ義務敎育制度の改善を圖り適當の施設をなすべし」「全國支辨主義を認めて本案を通過せしむるものでない事を明記する事」の二點にあり又其の恒久財源なき事に對しては豫算案第一分科會の附帶決議があるので決議文には觸れないものゝ如くである

附帶決議協議

【東京十二日發電】貴族院の義務敎育費國庫負擔法案は十三日朝特別委員會を通過することゝなつた

が、本案に附すべき附帶決議は研究所關係特別委員より提案さるゝ筈で、研究會常務委員會は十二日午後三時より附帶決議案の骨子につき協議した

兩省追加豫算案可決

【東京十二日發電】貴族院豫算第三分科會は十二日午前午後に亙つて質問討議の末、外務文部兩省所管の五年度追加豫算案を全部可決した

三大原則は不變
軍縮隨員 中村大佐談

【東京十三日發電】ロンドン會議海軍側隨員にし、最初の歸朝者軍令部參謀中村龜三郞大佐は十三日午前八時半東京驛着直ちに軍令部に入つたが車中往訪の記者に大要左の如く語つた

海軍隨員としてその專門的立場から最初の三大原則貫徹に努めたが思ふやうに行かなかつたのは遺憾であるが、然し三大原則を以つて國防の最少限たるの信念に就ては今日も變りはない、今回は日本はアメリカに對し遙かに有利な立場にあるので一九三五年の會議にはアメリカが日本より有力な立場に置かれ日本はその主張貫徹に一層困難を感ずるであらう、然し我々は出來るだけ準備に努め日本の立場を有利に導く樣にせねばならぬ、ロンドン會議は日本の成功か不成功かに就てはそれぞれの見解があらうが日本の領土に着いてから日本の成功を日本人の口から屢次聞いたのは意想外な氣がした

と語つたが最後の點は財部全權、幣原外相が大局論より日本の成功を吹聽してゐる折柄特に注目を惹かれる

貴族院の義務敎育特委員會

【東京十二日發電】貴族院の義務敎育國庫負擔增額案特別委員會は十二日午前九時入分より開會南弘氏より質問ありて答辯の後質問終了一旦休憩、午後一時半再開、討論に入らんとしたが南弘氏の動議で十三日午前十時より本委員會を開き討論採決を了することゝし直に散會した

各派交涉會

【東京十三日發電】衆議院各派交涉會は十三日午前十一時より開催先づ政友會より本日の議事は尾崎氏提出の決議案の次に政友會の經濟決議案を上程しその他法律案、建議案は成るべく圓滿に進行せしむるやう協議して行くを提議したが民政黨は一應代議士會に諮り返答する旨を述べ十一時半散會した

日程通り邁進
民政幹部會決意

【東京十三日發電】民政黨は十三日朝の各派交涉會直後幹部會を開き情勢一方有志代議士會にて「この際政友會に讓步せず飽く迄日程通り押し進むやう幹部を鞭撻す」との決議を爲し院內行委員より幹部に要求したので幹部も結局大體日程通り邁進する方針を內定次で午後零時二十分代議士會を開いた結果政友會の希望を容れず强硬な態度にて日程通り進むに決し午後[illegible]時散會した

汪駐日公使
十三日歸國の途に

【東京十二日發電】支那公使汪榮寶氏は十二日午前十時半[illegible]

議會ゴシップ

◆…【東京特電十二日發】金杉英五郞博士はユーモリストである、十二日の貴院本會議で、現時の世相を默し難し、とあつて分厚な原稿を前にくどくど論じたてたのは良いが德川議長に注意され「私まことに妙な所で飛び出したものだ、では後五分間」と愈くどくど、たまりかねた濱口首相そつと席を外す、當の博士は一向御存じなくなほも盛んにメートルをあげた末政府の所見如何、と見得を切り總理席を振り返つたので滿場どつと笑ひ崩れた

◆…博士の名言、珍句を少しく紹介すると、不偏不黨公正な私の見た政界は丁度ゴム風船を弄んでゐる樣なものだ、政友は膨張するまでに脹らまさうとしてゐる又他の一方、民政は萎縮して一向脹らまない」等その一つ、又例の議會中心主義について「國體を無視した不逞の徒の言ふ樣な主義だ」と言ひ、或は「我濱內閣とよく言ひたがるが之又け、からぬこと無智蒙昧な徒の言草だ」と斷じて更に現內閣の緊縮振りを評して宛かも桃太郎が鬼ケ島の鬼の首を切る樣な遣り方だと言ふ

◆…小久保喜七氏が小樽事件に就て濱口總理は大義名分を誤つたのに何故適當の處置をとらぬ、小久保君を狂人扱ひにしたのか、それとも答へる能はず事實を承認するのか」等々議場はその都度、博士の顏を見て失笑、苦笑、喫笑このところ或意味で博士大當り

印度人巡捕不穩
ガンヂー氏逮捕に憤慨し 英租界工部局警戒

【天津特電十二日發】ガンヂー氏逮捕さるの報を得た當地英租界工部局の印度人巡捕は大に憤慨し去る十日から屢次秘密に會議を開き協議するところあつたが硬派は即日全部の能業を斷行すべしと叫び軟派は上海と行動を一にすべしと主張した爲め遂に能業を見るに至らなかつたが之を知つた英人側では細心の注意を拂つて警戒を加へつゝある一方硬派は職を賭してもガンヂー氏に聲援すべしとて逐次排英氣分を煽りつゝある若し上海の巡捕が起てば當地にも波及するものと見られてゐる

軍事輸送會議

滿鐵に於ける六年度の軍事輸送會議は來月三日から三日間本社に於て開會の筈

印度のシ市遂に暴徒の手に歸す
市內商店何れも閉鎖

【ボムベー十三日發電】ショラプール市は全く暴徒の手に歸し市內商店は掠奪を恐れて開店する事を拒絕した

印度總督の聲明書

【ロンドン十二日發電】本日印度事務省の發表に依れば印度總督アーウイン卿はボンベイにて聲明書を發し「印度人が現在の如く徒らに法律を破る行爲に出づる時はその熟望せる自治領の資格を得るは延期されるであらう」と斷言した尙政府は九月末にロンドンに印度議會を開き印度の將來につき協議する筈

ガ氏の後繼者捕はる

【ボンベイ十二日發電】ガンヂー氏逮捕後その後繼者として反英運動を指導してゐたアッパス、チアブジ氏は本日ダラサナ鹽貯藏所を襲ふべく示威行列を開始した爲五十九名の義勇隊と共に逮捕された

後繼者に女詩人

【ボンベー十二日發電】ガンヂー氏の後繼者アッパス、チヤブヂノ氏が本日逮捕されたゝめ有名な女詩人サロジユ、ナイヅ女史がその後繼者となつた

立法院の反對は協定に影響無し
わが外務省は樂觀

【東京十三日發電】日支關稅協定が國民政府立法院にて重大問題となり王外交部長が苦境に立つたにつき外務省ではまだそれがため新協定をやり直すべしとの決議をしたとの公電には接してゐないといつてゐる、問題の立法院を通過する前に正式調印を了し調印後十日目より效力を發する旨協定せる日は不法なりとの點につきては王部長は蔣主席に全權を委任され中央政治會議を經た協定に調印したのであるから越權でないとなしてゐるので目下の國民政府組織法にては何れを是とも非ともし難く問題は蔣介石氏が如何に裁くかにあるしかし外務當局では蔣主席は冷[illegible]

十二年ぶりに見る奉天の發展ぶり
十二日渡奉した 大倉男語る

【奉天特電十一日發】本溪湖煤鐵公司の二十周年祝賀式に參列のため來滿した大倉喜七郞男は十二日午後一時安奉線急行にて來奉、驛頭には大倉組奉天支店[illegible]保素、小倉地方事務所長其の他實業家、支那側から張學良氏代理張學銘氏等多數の出迎へを受け驛長室に小憩の後北陵別邸に向つたが、語る

用件は皆先づ御承知の通り日支合辦の此の煤鐵公司が二十年間圓滿に經營した爲め亡父の命日を期し二十周年祝賀式を擧行する事となり、視察かたがた來滿したまでゞある滿洲には十二年ぶりで奉天の發展には今更の如く驚いてゐる、以前は淸鳴館があるのみで辻强盜の頻出で困らされたものである、廿二日の祝賀式に列席したいが都合により二三日滯在の上赴連し、大連發の便船で歸國するつもりである

[illegible]等支那として重大交涉案件を前にして全權が正式調印したものを覆へし延いて列國の信用を失ふごときことはあるまい、今回の問題も國民政府內部の胡漢民氏一派の王正廷氏追出運動で日本としては問題とするに足らぬと見らる

哈府赤衞軍
市街攻擊演習

【ハルビン特電十三日發】ハバロフスクの赤衞軍は十一日午後六時から市街の破壞を目的とした空中戰を開始、飛行機より電線に爆彈を投下、毒瓦斯を投げるなど目覺しい攻防演習をなし活動寫眞に撮影して民衆に赤軍の空軍の威力を宣傳した

露領沿黑龍州の產業五ケ年計畫
本國から委員を派遣 哈府で極東代表と協議

【ハルビン特電十二日發】露領沿黑龍州における產業五ケ年計畫の成立遂行を遂げしめるためモスクワ政府は本月十日廿七名から成る產業計畫委員をハバロフスクに派遣し極東局代表四十六名と各部門に亙り廿日から專門的協商を行はしめることになつたが、四十六名中には廿三名の各種の實驗勞働者が參加してゐる、この會合の結果沿黑龍州のコルホーズを完成する意向であるが、コルホーズ銀行金融、石炭鑛山工業の發展森林、漁業、牧畜、農業に亙り研究される模樣である、ロシヤ政府は露支正式會議の結果當然通商條約が成立するものと考へ對支經濟進出の策源地をハバロフスクに設け全滿洲及び南北支那主として上海、天津、口漢、廣東に主力を注ぐプランを立てゝあると

中央卸賣市場の改善方法を調査
田中市長が近く上京

大連中央卸賣市場の賠償問題は石本市長時代からの懸案であり既に成案を得て賠償金十萬圓限度とされてゐたが、この間種々の策謀が行はれ十五萬乃至二十萬等とも噂されてゐた、しかしこの賠償金は直接二十五萬市民に及ぼす利害關係が頗る密接なので充分監督を要するが、[illegible]に論議せば大正三年公布された中央卸賣市場規則により開設滿二年以上を經過せば市は毫も賠償の義務がない事になつてゐる、而しこの六月二十七日で滿二年であるから六月二十七日以後において唯一戰を斷行すれば石本前市長案の十萬圓もその支出を要せない事になるのでその場合における田中市長の態度は注目されてゐるが、ソレがあらぬか田中市長は近々上京し拓務省、商工省方面の意嚮を探り且つ各都市における卸賣市場の實情を調査し最善の改正と妥當な方法を講ずるに至るらしい

馮派兩代表
奉天に駐在決定

【奉天特電十二日發】一度來奉した馮玉祥氏代表門致中氏は濟軍前師長富占魁氏同伴此程再び北寧線で來奉した、馮、閻兩代表は半永久的に奉天に駐在して馮派と東北側との聯絡の任に當る筈

船舶無電設備狀況
日本は第三位

最近ベルン萬國電信聯合事務局の調査に依る世界各國の船舶無線電信電話の數はイギリスの四千十九隻を筆頭としフランスの一千四百七十八隻之に次ぎ日本の一千三百七十五隻は第三位を占め以下ドイツの八百七十八隻、伊太利六百二十一隻、イスパニヤ四百五十隻、オランダ四百四十五隻、スエーデン三百三十二隻の順序になつて日本の三位は海運國として大いに誇りとする處であるが更に當地遞信局で我國における船舶無線電信電話の累年增加狀況を調査した處に據ると大正五年までは百隻以下であつたのが、同六年には百三十九隻になり同十年には三百七十七隻、同十五年には七百三十八隻、昭和四年には一千三百七十八隻に激增し頗る目覺ましい普及發達を遂げてゐる

ばいかる丸船客

【門司特電十二日發】十四日大連入港豫定定期船ばいかる丸船客 福田定助、原田隆平、林啓吉、坂根準三、小竹鎌之助、志田文雄、佐島仁作、原正平、豐田靖加藤長止[illegible]

人事

▲矢野耕治氏(鞍山製鐵所製造課長代理)十二日二十時三十分着列車にて來連ヤマトホテルへ

▲服部佐三氏(朝鮮銀行上海支店長)同上

▲山本義章氏(兵庫縣特高課長)十二日入港貴州丸にて來連

安興胡子

▲財部全權夫妻の[illegible]せる滿鐵理事公館には支那巡警が[illegible]徹宵して警備してゐる▲新聞記者連も朝の九時頃から控室に詰めかけて財部全權の動靜を一口漏らさじとの競爭、午後の三、四時頃までは頑張つた▲菅原軍醫大佐「ナニ別に重態といふほどのことではないが、良いと言へば老人無理をするからネ」と▲財部全權「おいどんはちつともかまはんと思つちよるが、用心せいと醫者がいふもんでノウ」しは醫者の言ふこと[illegible]んとノウ」▲こゝらが政爭の渦[illegible]を避けた[illegible]者の[illegible]加減

特產

定期後場(銀建)

▲大豆(粒?)單位圓

限月	寄付	高値	安値	大引
五月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 九十一車

▲普通大豆 出來不申

▲豆粕 出來不申

▲豆油(强調)單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
六月限	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇
七月限	—	—	—	—
八月限	二〇一〇	二〇一〇	二〇一〇	二〇一〇

出來高 一千箱

▲高粱(保合)單位圓

限月	寄付	高値	安値	大引
五月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 三十四車

▲包米 出來不申

現物後場(銀建)

	寄付	大引
混保(袋込)	七〇二〇	七〇一〇
大豆(裸物)		
出來高	四十車	
普通(袋物)	六九二〇	六九三〇
大豆(裸物)		
出來高	十車	
豆粕	二二七〇	二二七五
出來高	一萬枚	
豆油	一九八〇	一九八〇
出來高	二千箱	
高粱	出來不申	
包米	出來不申	

錢鈔

定期後場(單位錢)

期	寄付	高値	安値	大引
近	六〇五	六〇五	六〇五	六〇五

出來高 期近 六百六萬圓

現物後場(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	六〇五	一三〇	一八三五
二時半	六六〇	一三五	一八三五
三時半	六六〇	一三五	一八三五

出來高(銀對金 一萬二千圓)(銀對洋 一萬圓)

商品

後場(出來不申)

神戸特產(十三日)

	後場
大豆現物	六一〇
先物	五一五
豆粕現物	一六八
先物	三五〇
滿洲小麥	五一五
豆油現物	一九〇〇

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株	六三〇〇	六三〇〇
大新	四八〇〇	四八二〇
[illegible]	一六八一〇	一六八九〇
新	七六六〇	七六七〇
鐘紡	不申	不申
日郵	不申	不申
東新	九三一〇	九三八〇

東京株式(長期)

銘柄	後場寄	後場引
東株	一〇八四〇	一〇八六〇
新株	九四五〇	九四五〇
品	七一〇	七一〇
中	不申	不申
先	七四〇	七四〇
五	不申	不申

東京株式(短期)

銘柄	後場寄	後場引
豆信(中)(先)	不申	不申
新	一二〇〇	一二〇〇
中	不申	不申
先	一一九〇	一一九〇

大阪綿糸

	後場	東新
寄値	不申	九四一〇
引値	不申	九五〇〇
高値	七一〇〇	九五五〇
安値	七一〇〇	九四〇〇

東京期米

限月	後場寄	後場引
五月	一五五三〇	一五四三〇
六月	一五六六〇	一五六〇〇
七月	一五八一〇	一五七九〇
八月	一六〇二〇	一六〇一〇
九月	一六一六〇	一六一五〇
十月	一六一九〇	一六一八〇
十一月	一六一六〇	一六一九〇

橫濱生糸

限月	後場寄	後場引
五月	二七七三	二七七〇
六月	二七八九	二七八八
七月	二八一六	二八一二

限月	後場一節	後場二節
五月	一一六〇〇	一一六〇〇
六月	一〇五一〇	一〇五五〇
七月	不申	一〇三七〇
八月	不申	一〇一九〇
九月	一〇一三〇	不申
十月	一〇〇四〇	一〇〇四〇

家庭とコドモ

尊き母性愛
(上)『母の日』の教訓
高崎能樹

五月中の行事に、男の子を祝福する意味の「お節句」と、母親の慈愛を感謝する意味の「母の日」とが定められてゐることは、全く美しい對照の繪を見るやうな感がいたします。……「男の子の立身と母親の慈愛」……とは何處までも相呼應した、切るに切られぬ堅き因果のある問題であることは、誰方も御承認下さるでありませう。

▲童詩▼
ヂヨン
大廣場二年　西村靜子

トナリノチヨンハ、
ウルサイヨ
ザツカヤニイヤヤ
トウフヤニイヤガクルト
ワンワンホエテ
ウルサイヨ
ワタシガ
ペンキヤウシテルトキ
ワンワンホエテ
ウルサイヨ

昔から偉人、聖人の背後に**立派な母親**のあつた事は誰しも認むる所で、人の子の生ひ立ちは父の力を受くるよりも、母の力を受くることが甚大であることは否み難き事實であります。すべて子供の「善くなると惡くなるとは母親次第」と云ふことは過言ではありません。女は母たることに依つて世界を創造する……と云つた人がありますが、實際世界の活舞臺に立つて働き、次から次へと新世界を開拓し行く偉人は母の手に依つて養成せられるのであります。又「女は男を生む」と申した人もありますが、たしかに男の中の男をも優れたる母がこれを生みもし育てもするのであります

御覧下さい　あの鯉幟を！大きな親鯉を先頭に、幾つもの小鯉がこれに從つて青空目がけて勇ましく昇り行くではありませんか？この先驅者たり、教導者たり模範者たる親鯉こそ母親でなくて何でありませう。茲にも又無限の理想へ、永遠の榮光へ、子女を從へ行く母親の尊き使命が表徴されて居ります。靜かに搖籃を動かす手、この母の手こそ世界を動かす手ともなる事を思ふ時、母親の心には云ひ知れぬ歡びが湧き起るでありませう。實に榮えある母の任務よ！……と申すべきではありませんか？、然しながら偉大なる人物を育て得し時は必ず偉大なる母親の任務にのみ果されたものと斷定することは大なる誤りであります。母親の

尊き使命は　子供の運命の一切に係つてゐるのでありまして、不幸にして病弱な子供、精神的異常兒、その他不具不幸の子供に至るまで、一人一人に最善を盡し、慈愛を注ぎ、生命を賭して行く所に母親の尊き働きが在るのであります。實に母親は子供の為めに生き、子供の為めに死し、子供を己が一部として終始するのでありまして、子供に取つて是ほど有難いものは無いのであります。而も其の勞苦は多く報いられず、只管犧牲を擁ふのみにて終るはむしろ氣の毒の至りであります。にも拘らず、母親に於ては飽くまでも愛と眞實とを貫徹し、最後まで背かれても背かずに通すのでありまして、全く神の御心をその儘身に表はしてゐるのであります。されば世の母も

母の恩愛に　酬ゆる子心を表示すべき為めに五月第二日曜を期して「母の日」が設けられたのでありまして此の日子女は母親の為めに慰安の途を講じ、又教會の集會に於ては特に母性の胸に撫子の花を飾り、又家庭に於ては故人となりし母親の記念館及び墓參を營み、單獨生活せる青年に於ては郷里の母に慰問の手紙を送ることが常となつてゐるのであります。斯く愛と犧牲とに終始一貫する母親の恩愛に對して、心からの感謝をなし、且つ深く記念して忘れまじとすることは、人間の尊い道であるばかりでなく、

力強い慰め　であり、與へる人の幸は百倍であります……昔から「孝は百行の本」とも申されて居ります様に、實際人間の善行はすべて親の恩に感激して、それに酬いやうとする良き態度から生れ出て來るのであります「愛すべく、感謝すべき母を有する者は幸ひである。その首に取つき、足下にひれ伏し、足跡に口つけ、神の如く崇めよ。汝の為めに合掌して祈禱する母の手に接吻せよ。汝の心より、思念より、瞬時も母を放つ勿れ。母の愛より新しき

生命の力を　吸ひ、天上の力を取り、母によりて汝の生命を潔め、汝と人類との罪を祓へよ。天上地下に於て母の名は崇められ、境界を通じて世界の果より果まで、あらゆる時間と空間を通じて永遠にその名は響き渡る。母の叫びは神の耳に達り、保護と報復のために神を天の玉座より呼び下ろさしめる。母の地位は最も優れたる地位であり最も神聖なる地位である母はその子の救主であり、又人類のための天來の代理者であり代辯者である。全く他人を信じ得ぬ者も、己の母を堅く信じ、何物をも愛し得ざる者もなほ己が母を深く愛する」と母を讚美した人がありますが、實に同感であります。そして

人間は母親　に對する態度が親ふ時に、周圍に對する態度も又親ふのであります。斯うして人生は親心に對して子心が共感し又子心に對して親心が共感する事に於て平和と歡喜とが得られ地上も全く天國化するのであります

大チャンノ モウジウガリ (101)
ハルミチ作　ジラウ畫

チンパンヂー ハ カナシイコエデ サケビナガラ ジドウシヤ ノ ナカ ヲ カケマハツテキマシタガ シマヒニ ジドウシヤノ スミニ クツツイテ シマヒマシタ「ドウモ オカシイナ」ヲヂサンハ フシギサウニ アタリ ヲ ミマハシマシタ シカシ ナニモ カハツタヤウスガアリマセン。

「ヲヂサン ドウシタノデセウネ」大チヤン モ フシギニ オモツテ ジドウシヤ ノ ナカ ヲ ノゾクト チンパンヂー ハ ジドウシヤ ノ スミ デ フルヘテキマス シカシ ブル ハ ウレシサウニ ヲ ヲ フツテキマス ソノトキ ヒトリノ ドジン ハ「キヤツ」ト サケビマシタ。

ラヂオ英語講座
(大連放送局五月十四日午後七時放送)
講師　大連商業學校　上村又一
(第三回)

Pan Pacific Progress.

Pan Pacific Progress aims faithfully to chronicle the main events of Pan Pacific countries. It is the open forum for a candid expression of opinion of contributors on all subjects pertaining to Pan Pacific affairs but the editor is not responsible for the opinions expressed by the individual writers.

Service Bureau—Linked with Pan Pacific Progress is a Service Bureau which is prepared to give expert advice on Foreign Trade Financing. Market Building, Special Surveys Abroad and General Travel Imformation, at reasonable rates.

Correspondents wanted of prominent people, officials, points of interest, industries, etc.

Subscription Rates—$2.50 per year in the U.S. A.: $3.00 (Gold) elsewhere. Single copies 25c.

Advertising Rates on application.

Address all communications to Pan Pacific Progress. Copy must reach us by the 5th of the month preceding the month of issue.

カメラ遍歴「大連放送局の巻」—その二—

現在のJQAK加入者は全滿で約三千、その二分の一は大連在住者である、最初は鑛石式が大部分であつたが、此の頃ではファンの頭が發達したのと、セツトが安く買へるやうになつたのとで、鑛石は年々姿をひそめ、四球五球が大部分を占めるやうになつた、

◆　◆

大連放送局は御存じの通り大山通りの電話局内にあるが、こゝには受話裝置があるだけで、こゝで接受した談話なり音樂なりは電話線で沙河口にある發振所に送られこゝで始めて無線電波となつてアンテナからブロードキヤストされるのである、

◆　◆

JQAKには、三名のアナウンサーが居る、「JQAK、こちらは大連放送局であります、只今からニユースをお知らせいたします……」原稿片手にマイクロフオーンの前に立つて、それを讀みさへすればいゝのだからまことに呑氣な商賣の様だが、眞夏の頃、裸體になつてゐてさへ汗の流れるやうな放送室にじつと居ずまひを正して長たらしい講演を聞かされたりすることを思ふとアナウンサーも傍で考へるほど樂なものではないやうだ、「アナウンサーもこれで中々骨が折れます何しろ放送される種目はあらゆるものを網羅してゐるのですからアナウンサーは色々のことを廣く知つてゐなければなりません、音樂上の知識は無論のこと、藝術上のこと、醫術上のこと、それに雜な知識まで持たねばならないのですから中々容易でありません、ところが、この放送局には無粹な者ばかりが揃つてゐるので時々トンチンカンなことを言つて笑はれたりします、此の前もプログラムに「小唄、奴」とあるのをアナウンサーが「只今から小唄を放送いたします、曲目は奴さんであります」と聽者さんの名をすつかり曲目にしてしまつたりして大恥をかいたりしたことがありました、それから落語などの放送の時傍に居るアナウンサーが話の弓合に出されたりするのはまだいゝとして、腹の皮がよれるほどおかしい時でも笑聲をグツと嚙み殺して居なければならないのですから、アナウンサーも中々つらい商賣ですよ」と、アナウンサーとなる赤鬆い說である、

◆　◆

次はラヂオドラマなどに使はれる擬音の種明しをしやう、

◇汽船の汽笛、長方形の箱の笛を力一ぱい吹くと汽船の汽笛そつくりな太い音が「ボー」と出る、

◇犬の吠聲、ワンワンと口で言つた位では容易に犬の吠聲にはならない、そこで鼓詰の空罐のやうなものに穴をあけて麻絲を通し、その糸を松脂をつけた皮でキユツ〳〵と扱くこすると、犬の吠聲そつくりの音が出る、テレビジヨンではないからいゝやうなものゝ、やつてゐる格好はまるで犬の聲とは似てもつかないものだ、

◇波の音、これはどこでもよくやる奴で、小豆を罐の中で動かすのである、

◇風の音、ヒユーッといふ颶風の音は小さな笛を吹くことによつて案外簡單に出る、

◇馬の足音、寫眞にあるやうに木の椀のやうなものを兩手に持つてテーブルの上を交互にパツカパツカやるのである、笑つちやいけない、

◇機關銃の音、バラ〳〵〳〵と連續的に發する機關銃の音はバネで押へた木製の齒車をぐる〳〵廻轉することによつて自由自在に出すことが出來る、

◇その他自轉車のラツパの音や鳥の鳴き聲などは小さなラツパや笛でまことに簡單に眞似ることが出來る、

◆　◆

擬音の說明はこれで終りました放送局についてのお話はこれで終りであります、では皆さんおしづかにご飯をお上り下さい、JQMN、こちらは滿日編輯局であります、

寫眞說明　(上)=パカ〳〵と馬の蹄の擬音　(下)=「ボーボー」と港に響き渡る汽船の汽笛の擬音

探偵小説 女妖（88）

江戸川亂歩 作
横溝正史
伊藤幾久造 畫

古塔の老婆（八）

澄子は宿へ歸るとがつかりした。お利枝婆さんの後始末をし、一先づ小夏を引取る事になつて、宿へ歸るともう短い冬の日は暮れてゐた。最初彼女は謄本さへ見ればその日にもパリーへ歸るつもりだつたのだけれど、意外な事に暇どつて、到頭汽車を取逃して了つた。止むなく彼女はもう一晩この村に泊らなければならなくなつた。

小夏は寢臺の上にすや〳〵と眠つてゐる。さし當り困るのは、この少女の始末であつた。他に引取り手とてないので、澄子は例の俠氣から、自分が引取つて世話をしやうと言つたものゝ、まだ六つや七つの少女である。彼女の手一つで世話が出來るかどうか、甚だ心もとない事である。

澄子は椅子の中にうづくまつてつく〴〵と今度の事件を考へ廻らせてゐた。

總ては河内兵部の遺した財産を中心に、死のやうな爭鬪が演ぜられてゐる事だけは間違ひない。河内兵部の子孫の一人が、この莫大な財産を獨占せんために、邪魔になる他の子孫を次から次へと殺してゐるに違ひない。

惡魔術の被害者然り、安藤婆さん然り、そして今又お利枝婆さんである。かくして河内兵部とこの兇惡無殘な犯人との間に立つてゐる人物は、悉くその同じ運命に陥されてゐるものと思はれる。とすれば、この犯人とは何者ぞや。

無論彼も亦河内兵部の子孫の一人に違ひない。澄子はそれを知るために、河内兵部一家の謄本を見やうと思つたのだ。さうすれば、その子孫の中、或は思ひ當る人物があるかも知れない。いや〳〵それから系圖を手繰つて行くやうに、探つて行けばこの兇惡なる犯人も正體が分つたかも知れないのだ。

然も、相手もさる者、さう易々と尻尾を掴まれるやうな眞似はしなかつた。最後のどたん場に於てまんまと澄子を出し拔いてゐる。それぱかりか、行きがけの駄賃として、同じ河内兵部の子孫の一人たるお利枝婆さんをやつつけて行つたではないか。

その大膽さ、巧妙さ、到底探偵小説などの敵すべくもない惡辣さだ。

河内兵部にはまだ〳〵澤山の子孫があるに違ひない。そして、彼について知るところはないのだ。從つて、恐ろしい惡魔が自分たちを狙つてゐるなどとは夢にも知らないだらう。惡魔はそこへつけ込んで、傍若無人に、恐るべき殺人行爲を行つて行くに違ひない。

さう考へると、澄子は肌の粟立つのを感ぜずにはゐられなかつた。

此の眼に見えざる惡魔——これ程世に恐ろしいものがあらうか。から言ふうちにも彼の毒手は自分の背後に迫つてゐるかも知れないのだ。

何故ならば、綾小路澄子も亦、河内兵部の子孫の一人なのだ。

沿線御見學中の秩父宮殿下

滿洲問題に對して深く御興味を寄せ給ふ

對翠閣に御學友成田氏を召されて種々の御物語り

【奉天特電十二日發】十一日夜、滿鐵千賀對翠閣の秩父宮殿下の御部屋にて御晩餐を共にして約二時間に亙り御就寢前まで御話の御相手を申上げた御學友の成田正彥氏は謹んで語る

殿下の思召で背廣服で伺候しましたが宮にも御寛ぎあつて珍しく四、五杯の

御酒を召され　御料理の話から始まり、殿下には御食膳の初鮎を內地の物だと仰せられ又鰻も滿洲產はその他の魚と共に大味だ、との御言葉があつた最近は御好きなテニスも陸大生としての御作業のため餘り遊ばさぬとのことで其他御讀書も御時間が無く今後一年は陸大生として過らせらるゝと承つた、今回の御來滿に際しても豫じめ滿洲に關する書籍をお讀みあつて今回の御來滿を御喜びで今後更に一度御來滿の御希望であらせられる、滿洲問題に對し御興味深くあらせられ借款鐵道につき近く市川次長に御下問ある筈である、日々滿日から獻上の新聞を御覽あり、小日山理事の辭職にも御留意あらせられた、其他

滿鐵に關する　雜誌其他の記事に就いて御下問があつたので滿鐵のパンフレットを獻上したところ、今後も獻上せよとの有難い御言葉を拜した、殿下には滿洲事情に態々御興あらせられ、御愛用の御煙草、デューク、ターキッシュを御吹かし遊ばされつゝ滿鐵各種事の御批評の御言葉から、總裁に會ひたいとの恐れ多い御言葉まで拜しました、妃殿下への土產品は十四日夜御覽に入れる筈であるが、殿下には純滿洲の生產品御望みで毛皮、寶石、織物を御覽に入れることになるでせう、殿下は大連で支那の織物の中に福井の絹紬があつたと御笑ひになつてゐらせられた、又連鎖商店の御話から

前の空地を何　とかせねば連鎖商店は繁榮せぬとの專門的御意見を御洩らし遊ばされた最後に、滿鐵少壯社員に元氣があることは滿洲のために喜ばしいとの恐れ多い御言葉を拜した

妃殿下へのお土產物親しく御選擇

二時間にわたり講話を聞召さる　奉天御假泊の宮殿下

【奉天特電十三日發】ヤマトホテルに入らせられた秩父宮殿下には御小憩後午後二時より陸大生としての御勉學につかせられた、此日り「奉天會戰より見たる奉天附近地勢觀察」に對する附近の地形を御指示申上げ二時廿分より階下のホールにて高柳中將より奉天第三軍の行動と題する講話を、引續き獨立守備隊長高木步兵中佐より「北陵の戰鬪に就て」と題しまた特務機關長鈴木少將より「東北四省の現勢」に就てそれ〴〵講話申上げたが、殿下には終始御熱心に聽取あつて四時百二號の御部屋に入らせられた、御晩餐後は御學友の成田正彥氏を御相手に奉天地方事務所がお集め申し上げた支那の骨董織物などを台覽、妃殿下への御土產物を親しく御選擇遊ばされてヤマトホテルに奉天の第一夜を過ごさせられた

高松宮兩殿下　ペナンに御着

【鹿島丸十日發電】鹿島丸は豫定より遲れて十日午後一時五十五分ペナンに入港、高松宮兩殿下には午後二時十五分御上陸總督別莊にならせられ、御展望の上護謨植物園にならせられ午後六時五分御歸船遊ばされた、在留邦人代表者ら奉迎申上げた

も朝來風强きためホテルルーフにおける講話場を變更してルーフにおいては特務機關秦岡步兵少佐よ

撫順御視察　十五日の御日程

目下奉天御視察中の秩父宮殿下には十五日八時奉天驛御出發、撫順に向はせられるが、十五日の御日程は左の如くである

午前七時五十分奉天ヤマトホテル御出發▲同八時奉天驛御出發(車中御說明、獨立守備隊第二大隊長)▲同九時十分撫順驛御着驛頭(驛ホーム)御途中在鄕軍人青年訓練所員、學生、少年團等御奉迎▲同九時十八分炭礦事務所御成、山西炭礦長御說明▲同十一時八分製油工場御成、岡村調查役御說明▲午後零時八分御晝食(於炭礦事務所)▲同一時十分撫順驛御出發▲同一時五十五分孤家子驛御着、驛東方空地に御成、牛[illegible]少將御說明▲同二時五十五分孤家子驛御出發▲同三時二十分奉天驛御着▲同三時二十五分御假泊所ヤマトホテルへ御歸還

御道筋

一、御假泊所ヤマトホテルより浪速通りを經て奉天驛へ
二、撫順驛ホームより驛前停留所にて御乘車左折して中央大街を直線に事務所前停留所へ
三、炭礦事務所より電車にて東鄕停留場通絡驛、大山炭坑敷島町各停留場御通過高砂町停留場にて御下車古城子露天掘へ
四、露天掘より高砂町停留場にて御乘車右折して大和公園停留場を經て製油工場前停留場御下車製油工場へ
五、製油工場より工場前停留場にて御乘車大和公園高砂町大山坑連絡驛東鄕各停留場御通過炭礦事務所へ
六、炭礦事務所に御晝食後事務所前停留場にて御乘車中央大街を直線に驛前に出て右折して驛前停留場にて御下車
七、撫順驛より孤家子驛へ
八、孤家子驛より奉天へ

波斯の大地震　死者二千百餘名

【テヘラン十一日發電】ペルシャ西部アゼルバイジャン州知事は昨週の大地震に關し左の如き報告を政府に爲した

今回の强震は昨年コラサン地方に起つたものより激しくサルマス、コーイ、ウルミヤ、ジルマジャンの各地に亙り判明せる死者二千百五名に上り他に負傷者無數、田舍家屋及燒失に依り住宅を失へる者一萬人を超え死傷

盛會を豫想される　南滿洲醫學大會

來る廿四、五日撫順て

第十八回南滿洲醫學大會は來る二十四、五兩日に亙り撫順新公會堂に於て開かれることゝなつたが、撫順に於て開催されるのは本年が最初で會長たる滿鐵撫順醫院長內藤博士は既に準備委員を督勵して目下諸般の準備に忙殺されてゐるが本年度大會には特別講演者として內地より外科醫學の權威者眞大[illegible]田醫學博士、九大の新撰[illegible]學者下田光造教授等の各有徒なる研究の發表あるほか朝鮮、臺灣方面及び北平、ハルビン、上海方面より多數の中國醫界の名士が來會として出席の筈で、地元會員の研究發表と相俟ち極めて盛會を豫想されてゐると

早大軍勝つ　立教との決勝戰

【東京十二日發電】六大學リーグ戰早立決勝戰は十二日午後三時十四分より新田、横澤兩氏審判立教の先攻にて開始五A對〇にて早大の勝利に歸した防戰五時十分

バッテリー、立教(山崎、辻、福岡、西瀨)早大(山田、伊達)

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
立教	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
早大	3	0	0	0	0	0	1	1	A	5A

北陵北方に大飛行場

張學良氏の計畫

張學良氏は過般の露支紛爭に鑑み航空隊擴充の必要を痛感し現在の飛行場が狹隘なるを以て新たに北陵北方の三臺子に一大飛行場を建設することとなり既に土地の測量を終へ目下地價の評價報告書提出方を訓令中であ〔奉天特信〕

者中には多數アルメニア人も含まれて居る

帝都入りの印度選手

極東オリムピック大會もいよ〳〵近づいた、今度新しくインド選手の參加を許した結果、同大會は文字通り全東洋競技大會を實現することになつたが、早くもインド選手は十一日午前十時半東京驛着の列車で入京した(寫眞は東京驛にて)

三十六名中　三名釋放　奉天共產黨員

一ヶ月來憲兵司令部偵緝處で檢擧した共產系反帝同盟黨員は三十六名に達したがその內釋放された者三名でその餘の卅三名は全部十日憲兵司令本部に護送された之が處

柔道進級試合　京都武德會で

大日本武德會今期柔道進級試合は八日京都本部に於て開催されたが關東廳關係出場者はうち一名を除き左記の通り優勝した(〇印勝)

兵庫縣(〇×)小川初段
旅順刑務所　入交同
靜岡縣(〇×)小西
鏡子高署(〇×)鈴木
鹿兒島縣(〇×)林
大連小崗子署　山根
朝鮮(×)佐々木
警官練習所　白土

置に就ては目下陳憲兵司令より張學良氏に請訓中である(奉天特信)

てゐる、なほ植民地官廳としては柔道六段石田信三(豪灣)小關敎政(關東州)同高野茂義(滿鐵)氏等が模範試合に出場する筈である

英國三勝す　デ盃對波蘭戰に

【ターキー十二日發電】デ盃戰歐洲ゾーン二回戰英國對ポーランド第二日は左の如く英二勝し、結局三對零で英國勝ち三回戰でアイルランド對墺國の勝者に對するはず

シングルス
シャーペ(英)六―三、六―四、六―二　ストラロー(波)
ダブルス
グレゴリー博士・コリン(英)六―〇、六―〇、六―〇　イグナツク・ロツイン、スキー・ブゼミスロ
アイアン・ジ・コリンス(英)(六―〇)ミンスキー・ウオー(波)

宮內省皇宮警察部柔劍道戰

【東京十三日發電】宮內省皇宮警察部恒例の柔劍道大會は來る十七日(柔道)十八日(劍道)と兩日に分れて宮內省濟寧館道場で催される事となつたが、出場者は各大學專門學校、警視廳、講道館その他地方高段者多數參加するので定めて壯觀を呈するであらうと見られ

騎手の傷害　レースの縺から　競馬俱樂部の態度が注目

去る四日星ヶ浦競馬場での春季競馬最終日第十二回二千米突新抽籤馬優勝レースにおいて、田中善造騎手の騎乘せる早風と、川合與一郎騎手の土佐が、決勝點前で大接戰の結果、川合騎手の土佐が首の差をもつて第一着となつた、田中騎手はその際決勝點前で川合騎手がレース內枠より妨害したと異議の申立てをしたが、審判員協議の結果、つひに滿鐵寄贈の優勝カップは土佐の獲得するところとなつた、それから一週間を經た十一日午前六時半から星ヶ浦競馬場にて川合騎手より田中騎手に對し「先日はどうも濟まなかつた」と謝罪したところ、田中騎手は前記レースを根にもつて矢庭に所持せる鞭で川合騎手の頭部を毆打し、兩人取ッ組合ひを演じたが、折よく駆つけた岡野熊一氏等によう やく引分けられ、頭部に全治四週間の挫傷を負つた川合選手は直ちに市內吉野町滿洲病院に收容された、一方沙河口署では十三日朝これを探知し

各關係者　を目下取調べ中なるも右事件に對する競馬俱樂部當事者の今後の處置は各方面より注目されてゐる

東久邇宮　滿蒙博お成り

滿鐵主催の滿蒙博覽會は目下東京上野松坂屋において開催中であるが、東久邇宮盛厚王殿下には去る十日、同博にお成り會場くまなく御巡覽あらせられた【寫眞は御臨場の東久邇宮(上)と蒙古風俗模型】

田山花袋氏危篤に陷る

【東京十三日發電】小說家田山花袋氏は一昨年腦溢血を起し半身不隨に陷つて以來一切の執筆を絕ち東京府下代々木山谷の自邸で靜養中のところ、昨年夏咽頭癌を併發し本年四月以來病勢昂進したので家人、門下生等專ら看護に努めたが花袋氏は「どうせ死ぬ者は死ぬ」とて一切の醫藥を口にせず佐多主治醫を手古摺らしてゐたが十二日夜危篤狀態に陷つた

廣信公司倒產を免る

左前へとなつた黑龍江省の財政を預る廣信公司は既報の如く官帖の印刷機を官廳の手で封鎖した爲めに多少は官帖の市價を維持したが最近鮮銀との融通成立し資金を貸出すことになつたので勿論倒產するやうなことはないと云はれてゐる【哈爾賓特信】

錫製食器の改造を命ぜらる

含鉛量が甚だしく有害だと　支那料理店は大痛手

大連署衞生係では市內支那料理店で使用してゐる錫製食器の鉛分含有量につき豫て滿鐵衞生試驗場に依賴分析試驗中のところ、この程錫製食器の殆ど全部が百分中九十五%乃至八十%といふ多量の鉛分を含有してゐることが發見され、公衆衞生上由々しき問題となつて來た、錫製食器に對する內務省令に依れば百分中二十%以上の鉛を含む材料で食器を作製することを禁ぜられ、また食器の內部は百分中五%以上の鉛分を以つて鍍附することを禁じられてゐるに依つて大連署では內務省令に基き十二日午後二時市內支那料理店主百餘名を呼び集め大津衞生主任から向ふ二ヶ月間以內に食器の改造方を命じたが、この種有害の錫製食器を使用してゐるは大連署管內に止らず全滿に及んでゐるものと見られてゐるので近く關東廳から廳令を以つて一齊に改造方を命ずる模樣である

市民運動會　參加規定と心得

準備委員會で決定

大連市役所主催、本社後援の第四回大連市民運動會はいよ〳〵六月一日大連運動場に於て舉行されるが第一回準備委員會で決定した參加規定、心得左の如し

綱引　團體より出場人員二十五名(內一名をリーダーとす)組合せは抽籤に依り決定し三回勝負とす

假裝行列　團體より出場人員二十名以內と[illegible]猥褻なる言動行爲、扮裝ある者は出場を謝絕し、等級は全役員の投票により決定、一等五十圓、二等三十圓三等二十圓を授與することになつた、尙綱引假裝行列の申込は本運動會申込規定に依る外一、團體名二、代表者氏名三、出場人員を名記することになつた

本溪湖神社の移轉問題解決

豫て高等法院に控訴までして紛糾に紛糾を續けてゐた本溪湖の神社移轉問題は今般偶々秩父宮殿下の御成を仰ぐことゝなつた爲め、急轉直下雙方兩者の妥協成立既に十二日まで移轉工事を終つて十四日は町を擧げて盛大なる遷座祭を、又十六日は例年大祭を執行するこ

宮崎中學見學團

來る十四日入港ばいかる丸にて宮崎中學校職員四名生徒八十二名の滿鮮見學團が來連するので宮崎縣人會並に同校出身者よりなる宮洋會では同日午後零時四十分(時間勵行)滿鐵社員俱樂部大食堂に於て歡迎會を開催、出席希望者は左記へ申込まれたしと(會費一般縣人九十錢)

本社人事課庶務係、淺井(電二〇二一三一)本社電氣課强電係落合(電三〇二三七五)

美貌の連れ子を義父が暴行

山東省濰縣安府生れ王昭柔(四七)は昨年九月妻を失つたが、妻の連れ子大琴(一七)の美貌に心を抱き、去る十日の深更つひに無理矢理に目的を遂げた、大琴は義父の非行に恐怖を抱き實兄王在忠(二二)と共に許嫁の市內沙河口一番地閻慶喜(二三)方に潜伏してゐたが、王は十一日夜八時ごろ二十數名の苦力を引連れて閻方を襲ひ、大琴および實兄兩名を縛り上げ小崗子某所に監禁した、兩人は苦心の末同夜十一時ごろ同所を逃走し沙河口署にこの旨訴へ出でたので、同署では十二日朝王を逮捕し兄妹兩名の保護を加へてゐる

酌婦の雲隱れ

市內得勝街料理店新月抱へ酌婦千鳥こと坂田フジエ(二三)は十二日午後大連婦人病院に入院中姿を晦まし行方不明となつたので樓主は十三日午後四時小崗子署へ搜查願を出した

二審判者決定

來る二十五日旅順グラウンドに於て擧行される奉天醫大對工大の定期野球戰に大連審判協會より二神武(球審)平田次郎永澤武夫(壘審)三氏を派遣することに決定した

渡邊家のおめでた

渡邊八郞氏長男芳男氏は今關山勝三、岡田徹平兩氏夫妻の媒酌により來る十五日大連金光敎會に於て華燭の典を擧げ、午後六時より大連ヤマトホテルに於て披露の宴を張ると

古賀辯護士結婚

辯護士古賀元吉氏は今回岡野勇夫妻の媒酌により保田茂野孃と婚約成り來る十八日大連神社で華燭の典を擧げ、同日午後六時半からヤマトホテルに於て披露の宴を張ると

最上位稻荷大祭

市內春日町、日蓮宗大蓮寺山內安置の最上位經王大菩薩の大祭は來る十五日に執行せらるゝが午後三時法要說敎後種々の餘興があると

御嶽敎春季大祭

市內八幡町御嶽敎關東大敎會にては來る十七日(午後七時より)十八日(正午より)の兩日春季大祭を執行し、參拜者には福引景品を呈するが一等入賞者は五寸の大黑天尊像

水曜會講演會

市內敷島町基督敎青年會社交部にては十四日午後六時より第二水曜會を開催し榊原農園主榊原政雄氏の「滿洲及南洋に於ける余が事業と目的」と題する講演があると

善導大師遠忌法要

善導大師千二百五十年遠忌大法要は來る十六日午後一時より市內攝津町明照寺に於て催されるが、當日、參拜團の一行に加つて淨土宗敎學部長、柴田玄鳳師、總本山智恩院布敎師護法信隨師等も內地から來連し午後四時より協和會館にて兩師の講演がある

第十四回州內軟式庭球大會

五月廿五日午前九時から大連北公園滿鐵コートで

申込　五月二十日までにメムバー及び申込金一圓を添へ本社運動部宛に申込むこと
規定　明治神宮競技庭球規定に依る
使用球　丸菱ボール

主催　滿洲日報社